

令和5年度

北海道立近代美術館

HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

年報

目次

1 運営基本方針・計画.....	2
2 事業実施状況	
2－A 収集・保管	
2－A－1 美術作品の収集	
作品収集状況.....	3
新収蔵作品目録.....	4
2－A－2 美術作品の保存・修復	
美術作品の保存・修復.....	11
2－B 展覧会	
2－B－1 展覧会一覧	17
2－B－2 展覧会出品目録	19
2－B－3 美術作品の貸出	51
2－C 教育普及活動	
2－C－1 教育普及活動一覧	52
2－C－2 資料・情報関係	
特別観覧・情報資料.....	55
刊行物	56
2－D 調査研究.....	57
2－E 地域との協力事業.....	67
2－F 滞在環境.....	70
3 評価.....	71
4 リニューアル.....	77
5 名簿・沿革.....	78

1 運営基本方針・計画

【基本方針】 北海道立近代美術館は、北海道立三岸好太郎美術館とともに、多様な人々が互いを受け入れ、活かし合う、創造性と活力にあふれる社会の実現を目指し、美術館としての活動に取り組んでいきます。		
---	--	--

基本的運営方針		取組項目	事業実施計画
A 優れた作品の収集と適切な保管	5つの収集方針に基づいて、優れた作品を計画的に収集し、系統的で個性的なコレクションを形成します。併せて関連資料の整備を進めます。また、IPM(総合的有害生物管理)の進展や当館施設設備の特色と老朽化をふまえながら、保存環境を整備するとともに、作品の修復を計画的に行うなどしながら、作品を適切に保管します。	優れたコレクションの形成	●美術の調査研究と収集方針に基づいて、美術史の視点からコレクションの欠けた部分や手薄な部分を洗い出し、それらをリストアップした収集計画を作成・更新する。 ●リストアップされた作品の入手可能性に関する情報を収集し、購入や寄贈により計画を実現する。
		所蔵作品の適切な保管	●IPM(総合的有害生物管理)に関する研究の進展に学びながら、ひと月に1回程度の収蔵庫内清掃や虫トラップの設置・観察・分析などを通し、適切な展示・保存環境を保持する。 ●保存と活用のために修復が必要な作品のリストを更新し、計画的に修復を進める。 ●事務室、図書室等の狭隘化に伴い、図書の整備及び映像資料、過去の展覧会資料のデジタル化・整理に努める。 ●二次資料の幅広い活用と公開を目的とするアーカイヴ(記録・資料保管システム)のあり方について研究する。
		コレクションの効果的な活用	●前年度に新たに収蔵した作品を、「新収蔵品展」により道民に紹介するほか、「この1点を見てほしい。」では1点に焦点を当てて作品の魅力を深く掘り下げる。また、年間を通じて近現代のガラス工芸を展示する。
B 多彩で特色ある展示活動の充実	収蔵作品を紹介する「近美コレクション」展では、当館の個性を強く発信するとともに、コレクションをすべての人々に向かって開く最も重要な機会と位置づけ、コレクションの魅力や調査研究の進展を伝えます。また、「特別展」では、様々な鑑賞のニーズに応えるとともに、人間と文化の多様性について理解を深める機会となるように、幅広い時代と分野のアートを紹介します。併せて、個性の異なる誰もがアートに親しむことができる展示について研究を進めます。	多様なニーズに応える展覧会の開催	●国内外の優れた作品を紹介する「特別展」については、江戸時代の浮世絵、近現代の油彩・日本画・陶芸、アイヌアート、メディア・アートなど、幅広い時代・地域・分野に渡る6つの展覧会を開催する。 ●「近美コレクション」については、2018年から調査を始め2022年に受け入れを完了した526点に及び友田多喜雄コレクションをまとまった形で展覧する「友田コレクションの精華 魅惑の版画と詩」や、アートギャラリー北海道事業として倶知安町にある小川原脩記念美術館の所蔵作品の紹介、近現代のガラス工芸の展示などを行う。
		観覧者拡充のための工夫	●チラシやポスターなどの紙媒体のほか、道立美術館ポータルサイト、ホームページ、ツイッター、フェイスブックを通じて、展覧会情報や見どころを丁寧に発信する。 ●アイヌ民族文化財団、札幌国際芸術祭実行委員会との共催展においては、各団体との連携により広報の充実やインバウンド対応の強化に取り組む。 ●人気のある「だまし絵」を取り上げた「トリック×イリュージョン」展や、近美コレクションにおけるワークシートの配布などによって、子どもたちにも美術に親しむ機会を提供する。 ●障害者、子どもを対象とした展示について研究を深める。
		館外における鑑賞機会の提供	●道内外の美術館からの作品借用希望に協力し、当館来館者以外にもコレクションの鑑賞機会を提供する。主な貸出予定は、道立帯広美術館「見えない音を描く」展に20点、道立釧路芸術館「ももちゃん出道立美術館のCATS&DOGS」展に25点など。
C 学習の場と情報提供の充実	展示やコレクション、調査研究と関連させた、美術館ならではの教育プログラムを実施します。鑑賞学習支援ツールやオンライン・プログラムなど、近年の新たな手法も活用しながら、幅広い層に多様な学習機会を提供します。	教育普及活動の充実	●平成23年度から実施してきた「ぐるっと三館鑑賞ツアー」を、スマートフォンのアプリを利用したテキスト、音声、動画ガイドによる自由参加型のツアーへと変更し、時間、場所、参加人数等の制限なく参加可能な事業として新たに展開する。 ●設備修繕工事に伴うコレクション展の本数減少により、ミュージアム・トークの実回数が例年より減る見込みだが、コレクションの展示も含んだ特別展において学芸員による「見どころ解説」の回数を増やすことで、道民の学習機会を確保する。 ●特別展に関連した外部研究者によるトーク、美術館の雰囲気を活かしたホールでのコンサート等を実施する。
		情報提供の充実	●設備修繕工事による休館中に、次回展覧会の出品作品や美術関連情報について、SNSを通じて積極的に発信する。 ●一般のインターネット利用者に向けた展覧会紹介動画「北海道リモート・ミュージアム」の新規コンテンツを作成する。 ●ARSコーナーで上映している「北海道リモート・ミュージアム」のアーカイブ動画について、最新動画を加えて内容を更新し、提供情報をいっそう充実させる。 ●コレクションのデータベースを着実に整備し、所蔵作品に関する基本情報を公開する。
D 活動の基礎となる調査・研究の推進	美術及び美術館に関する調査研究を、これまでの蓄積と新たな知見の上に立って推進するとともに、学芸員の資質向上を目的とした研修を行うことにより、活動全般の信頼性や企画における創造性を向上させます。また、調査研究の成果を、様々な形で発信し社会に還元します。併せて、リニューアルに向けた活動、施設、運営等に関する調査研究を進めます。	調査・研究の推進	●来年度以降開催が検討されている「高山寺展」や「三の丸尚蔵館展」及び再来年度以降の自主企画展、あるいは作品収集について、調査・研究を着実に進める。 ●コレクション研究を推進し、成果をわかりやすく示すため、「この一点をみてほしい。」では、研究と直結した展示を行う。リニューアルに向けて他館のリニューアル事例の情報収集や視察を進める。 ●新しいLED照明、展示ケースなど展示用具や設備について情報収集を行い、見やすさや作品保全機能の向上のための研究を進める。 ●主に新採用学芸員を対象とした研修を行う。
E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上	地域の文化活動や学校の教育活動と連携・協働することで、美術に対する関心を高め、美術館の利用促進を図り、地域のアートの活性化に寄与します。	多様な機関との連携・協力	●北海道美術館協会及びボランティアとの取り組みを継続し、図録や美術関連グッズの販売、ギャラリー・ツアー、アート・レファレンス・サービス、資料整理、美術講座など、きめ細やかで幅広い普及活動に協力する。 ●北海道の中核的美術館として、北海道美術館学芸員研究協議会等と協力して道内美術館のネットワークを強化する。 ●北海道内にある多様な美術館などが相互に連携し、本道全体がアートの舞台となることを目指す「アートギャラリー北海道」事業として、倶知安町の小川原脩記念美術館のコレクション展の実施、来年度以降の展示の企画、ネットワーク参加館への様々な協力などを行う。 ●アイヌ民族文化財団及び札幌国際芸術祭実行委員会との共催による展覧会を実施する。 ●札幌国際芸術祭のイニシアティブ・パートナーとなる企業と協力し、展覧会会場の造作における環境への配慮の向上に取り組む。
		学校等の教育機関との連携・支援	●児童生徒の自主研修や職場体験の要望に応じた細やかな教育プログラムの提供や鑑賞学習支援ツールの貸出を行う。学校との連携を促進するため、利用案内チラシを配布して積極的な広報を行う。 ●実施2年目を迎えた「オンライン・アート教室」について、児童生徒の学習段階に合わせた効果的なプログラムを作成し、学校現場と連携して実施する。 ●道立図書館と連携し、特別展ごとに関連図書の閲覧コーナーを設け、来館者の学習意欲向上に資する。 ●学校教育における美術館活用を促すため、指導者研修を実施する。 ●道内外の大学からの要請により、博物館実習を実施する。 ●「学芸員インターンシップ制度」によって、学芸業務に携わる実務研修生を広く募集し、受け入れる。
F 安全で快適な滞在環境の提供	道立近代美術館を、くつろぎの空間としての魅力を向上させるよう環境の整備・充実に努めます。	施設の適切な維持管理	●来館者が安全・安心に過ごせるよう、施設・設備の点検を実施し、計画的な工事の実施に努めるほか、必要な補修を速やかに行う。 ●前庭にある倒木の可能性のある樹木を伐採するなど、自然環境を活かしながら、植栽の適切な維持管理に努める。
		施設の快適性の向上	●来館者アンケートの方法や内容を工夫し、より多くの方々から意見等を知ることができるよう努めるとともに、アンケート結果を館内職員で共有し、ホスピタリティの向上に努める。また、アンケートに対する回答を定期的に掲示する。 ●カフェやミュージアム・ショップが利用者にとってより魅力あるものとなるよう、事業者と協働した取組について検討・実施する。 ●三岸好太郎美術館、知事公館を含むエリアを、魅力ある空間としてよりいっそう楽しんでもらえるよう、情報発信に努めるとともに、都心の緑の中にある美術館として、各館との連携事業や野外彫刻の適切な管理を行う。 ●ユニバーサルデザインの視点を取り入れながら、館内表示等の工夫を行う。 ●来館者の利便性向上のため、関係機関や事業者と連携しながら、キャッシュレスサービスの運用拡大に向けた検討を行う。

2 事業実施状況

2-A 収集・保管

2-A-1 美術作品の収集 作品収集状況

・分野別

区分	令和5年3月末 現在作品収蔵数		令和5年度作品収集数		作品総数（点）	
油彩	831	14.1%	3	(購入0) (寄贈3) (管理換0)	834	13.7%
日本画	282	4.8%	1	(購入0) (寄贈1) (管理換0)	283	4.7%
水彩・素描	371	6.3%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	371	6.1%
版画	2,288	38.7%	0	(購入0) (寄贈0) (登録変更5)	2,288	37.7%
彫刻	113	1.9%	1	(購入1) (寄贈0) (管理換0)	114	1.9%
工芸	1,731	29.3%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	1,731	28.5%
デザイン	231	3.9%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	231	3.8%
写真	61	1.0%	156	(購入0) (寄贈156) (管理換0)	217	3.6%
合計	5,908	100.0%	161	(購入0) (寄贈160) (管理換0)	6,069	100.0%

・地域別（作家のゆかり等）

地域	令和5年3月末 現在作品収蔵数		令和5年度作品収集数		作品総数（点）	
北海道	2,939	49.7%	159	(購入1) (寄贈158) (管理換0)	3,098	51.0%
日本	1,561	26.4%	2	(購入0) (寄贈2) (管理換0)	1,563	25.8%
海外	1,408	23.8%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	1,408	23.2%
合計	5,908	99.9%	161	(購入0) (寄贈160) (管理換0)	6,069	100.0%

・特色別

特色		令和5年3月末 現在作品収蔵数		令和5年度作品収集数		作品総数（点）	
北海道の美術		2,937	49.7%	159	(購入1) (寄贈158) (登録変更0)	3,096	51.0%
日本近代の美術		505	8.5%	0	(購入0) (寄贈0) (登録変更0)	505	8.3%
パスキン と エコール・ ド・パリ	パスキン	223	3.8%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	223	3.7%
	エコール・ ド・パリ	85	1.4%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	85	1.4%
	小計	308	5.2%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	308	5.1%
ガラス 工芸	北海道	4	0.1%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	4	0.1%
	日本	542	9.2%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	542	8.9%
	海外	713	12.1%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	713	11.7%
	小計	1,259	21.4%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	1,259	20.7%
現代の美術		58	1.0%	2	(購入0) (寄贈2) (管理換0)	60	1.0%
その他		841	14.2%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	841	13.9%
合計		5,908	100.0%	161	(購入1) (寄贈160) (登録変更0)	6,069	100.0%

*各項目間で重複するものもある。
*各特色ごとのパーセントは所蔵総点数に対する比率をあらわす。

新収蔵作品目録

〔購入〕（作品）

所蔵品番号	分 野	特 色	作 品 名	作 者 名	生 没 年	制 作 年	材 質 形 状	寸法（縦×横cm）	出 品 歴
2023002	彫刻	北海道の美術	Singing of the Needle	藤戸 康平	1978(昭和53)～	2021（令和3）	鉄、アクリル絵具、鹿の頭骨	高さ210.0×直径210.0	Exposure : Native Art and Political Ecology

〔受贈〕（作品）

所蔵品番号	分 野	特 色	作 品 名	作 者 名	生 没 年	制 作 年	材 質 形 状	寸法（縦×横cm）	出 品 歴
2023001	日本画	北海道の美術	面構 一休さま	片岡 球子	1905(明治38)～2008(平成20)	2000(平成12)	紙本彩色	150.3×300.5	第85回再興院展
2023003	油彩	北海道の美術	追分保線区	富田 幸衛	1932（昭和7）～2022（令和4）	1964（昭和39）	油彩・キャンバス	72.7×91.0	
2023004	油彩	現代の美術	婦人像	福田 美蘭	1963（昭和38）～	2000（平成12）	アクリル絵具、パネル、額縁、CPU（コンピューター）、モーター、リニアレール	118.7×108.5×14.7	
2023005	油彩	現代の美術	F100号の肖像画	福田 美蘭	1963（昭和38）～	2000（平成12）	アクリル絵具、木枠、キャンバス	162.0×130.3	
2023006	写真	北海道の美術	伊達・1946 「あたいの大事な服がこんなに なになっちゃったア」	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1946(昭和21)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023007	写真	北海道の美術	伊達・1948 「おじいちゃん、上手だね」	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1948(昭和23)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023008	写真	北海道の美術	襟裳・1949 山間のスケートリンク	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1949(昭和24)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023009	写真	北海道の美術	伊達・1951 荷馬車が通る	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1951(昭和26)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023010	写真	北海道の美術	伊達・1953 お面をつけて	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1953(昭和28)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023011	写真	北海道の美術	伊達・1953 メンコあそび	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1953(昭和28)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023012	写真	北海道の美術	襟裳・1953 バスを待つ人々	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1953(昭和28)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023013	写真	北海道の美術	室蘭・1954 古雑誌を売る女の子	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1954(昭和29)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023014	写真	北海道の美術	豊浦・1954 紙芝居	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1954(昭和29)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023015	写真	北海道の美術	伊達・1954 吹き矢	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1954(昭和29)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023016	写真	北海道の美術	伊達・1954 冬のバチラー夫婦記念堂	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1954(昭和29)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023017	写真	北海道の美術	白老・1954 薪ストーブの前でお留守番	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1954(昭和29)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023018	写真	北海道の美術	札幌・1955 冬のラジオ体操	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1955(昭和30)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023019	写真	北海道の美術	伊達・1955 伊達高校、雪の校庭のフットボール	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1955(昭和30)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023020	写真	北海道の美術	札幌・1955 雪まつり会場の群衆	掛川 源一郎	1913(大正2)～2007(平成19)	1955(昭和30)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	

2023021	写真	北海道の美術	札幌・1955 雪まつりの広場で	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1955(昭和30)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023022	写真	北海道の美術	室蘭・1956 姉弟	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1956(昭和31)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023023	写真	北海道の美術	豊浦・1956 「少し考えさせてください」	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1956(昭和31)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023024	写真	北海道の美術	壮瞥・1956 昭和新山初登頂の記念撮影	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1956(昭和31)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023025	写真	北海道の美術	長万部・1956 雪原に行く	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1956(昭和31)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023026	写真	北海道の美術	長万部・1956 地中から掘り出した根株の山は、巨大な城砦のようだった	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1956(昭和31)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023027	写真	北海道の美術	室蘭・1957 冬の夕景の旧室蘭駅舎	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1957(昭和32)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023028	写真	北海道の美術	伊達・1957 「この時化ではどうもならない」	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1957(昭和32)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023029	写真	北海道の美術	長万部・1957 開拓地の兄妹	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1957(昭和32)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023030	写真	北海道の美術	伊達・1957 蒸気機関車が往く	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1957(昭和32)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023031	写真	北海道の美術	長万部・1958 「ボクはひとりで滑るんだ」	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1958(昭和33)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023032	写真	北海道の美術	豊浦・1958 子守をされていて	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1958(昭和33)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023033	写真	北海道の美術	伊達・1958 吹雪を避けて物陰で待つ女	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1958(昭和33)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023034	写真	北海道の美術	伊達・1958 見物に夢中なおばあちゃんの背中で	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1958(昭和33)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023035	写真	北海道の美術	豊浦・1958 「ちょいと一服」	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1958(昭和33)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023036	写真	北海道の美術	伊達・1958 重いなあ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1958(昭和33)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023037	写真	北海道の美術	豊浦・1958 ドブ板の通り	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1958(昭和33)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023038	写真	北海道の美術	伊達・1958 負けるな負けるな、陣取り合戦	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1958(昭和33)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023039	写真	北海道の美術	今金・1959 吹雪く渡し船	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1959(昭和34)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023040	写真	北海道の美術	伊達・1959 重い弟を背負って、平気よ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1959(昭和34)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023041	写真	北海道の美術	伊達・1959 流木を背負う女	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1959(昭和34)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023042	写真	北海道の美術	長万部・1959 馬耕する仲宗根氏	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1959(昭和34)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023043	写真	北海道の美術	壮瞥・1959 昭和新山「火祭り」	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1959(昭和34)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023044	写真	北海道の美術	長万部・1959 一家7人楽しいお昼	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1959(昭和34)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023045	写真	北海道の美術	伊達・1959 長馬あそび	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1959(昭和34)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023046	写真	北海道の美術	長万部・1959 ボクも手伝うよ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1959(昭和34)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023047	写真	北海道の美術	白老・1959 往診に出かける高橋房次医師	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1959(昭和34)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023048	写真	北海道の美術	伊達・1960 砂と遊ぶ子	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	

2023049	写真	北海道の美術	様似・1960 お昼寝	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023050	写真	北海道の美術	伊達・1960 流木を拾って帰る。「急げ や急げ」	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023051	写真	北海道の美術	室蘭・1960 昆布干し	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023052	写真	北海道の美術	襟裳・1960 「どっこいしょ」	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023053	写真	北海道の美術	伊達・1960 冬の海岸に流木を拾う黒い 人影	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023054	写真	北海道の美術	寿都・1960 「ボクも拾ってるんだ」	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023055	写真	北海道の美術	長万部・1960 隣同士、幼なじみの男女	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023056	写真	北海道の美術	伊達・1960 考え込む	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023057	写真	北海道の美術	寿都・1960 のんびり行こう	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023058	写真	北海道の美術	室蘭・1960 にわか雨の社宅街	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023059	写真	北海道の美術	長万部・1960 「それもそうですが」	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023060	写真	北海道の美術	長万部・1960 消石灰を撒く	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023061	写真	北海道の美術	長万部・1960 坊主頭に無精ひげの仲宗 根海祥氏	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023062	写真	北海道の美術	豊浦・1960 よく見てごらん	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023063	写真	北海道の美術	浦河・1960 アイヌ民族の墓標	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023064	写真	北海道の美術	伊達・1960 兄弟	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023065	写真	北海道の美術	様似・1960 「重いなァ」。オンブし て、おまけに雨だわ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023066	写真	北海道の美術	襟裳・1960 我は海の子	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023067	写真	北海道の美術	伊達・1960 バチラー八重子の横顔	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023068	写真	北海道の美術	伊達・1960 聖書を抱くバチラー八重子	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023069	写真	北海道の美術	伊達・1961 ヒトデを肥料に	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1961(昭和36)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023070	写真	北海道の美術	室蘭・1961 トッカリシヨの漁家	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1961(昭和36)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023071	写真	北海道の美術	室蘭・1961 トッカリシヨの漁師	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1961(昭和36)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023072	写真	北海道の美術	伊達・1961 年輪を刻む顔の老漁師が、 沖模様に眺めていた	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1961(昭和36)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023073	写真	北海道の美術	伊達・1961 有珠海岸海水浴場風景	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1961(昭和36)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023074	写真	北海道の美術	留萌・1961 冬の海に採る	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1961(昭和36)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023075	写真	北海道の美術	伊達・1961 赤子を背負って	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1961(昭和36)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023076	写真	北海道の美術	伊達・1961 日曜学校に来た女の子	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1961(昭和36)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	

2023077	写真	北海道の美術	伊達・1961 茶の間の日曜学校	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1961(昭和36)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023078	写真	北海道の美術	長万部・1961 ワタシの居場所	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1961(昭和36)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023079	写真	北海道の美術	伊達・1961 流木拾い。ボクのが重いぞ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1961(昭和36)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023080	写真	北海道の美術	伊達・1962 居ない居ないバー！	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1962(昭和37)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023081	写真	北海道の美術	白老・1962 子守のフチ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1962(昭和37)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023082	写真	北海道の美術	白老・1962 客待ち顔のエカシ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1962(昭和37)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023083	写真	北海道の美術	白老・1962 器用な仔グマがいた	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1962(昭和37)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023084	写真	北海道の美術	瀬棚・1962 かつての千石場所	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1962(昭和37)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023085	写真	北海道の美術	今金・1963 「吹雪いてきたね」	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1963(昭和38)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023086	写真	北海道の美術	長万部・1963 開拓農家に夕陽が差す	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1963(昭和38)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023087	写真	北海道の美術	長万部・1963 ある日のアイヌコタン	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1963(昭和38)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023088	写真	北海道の美術	伊達・1964 絵本を読む子	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1964(昭和39)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023089	写真	北海道の美術	伊達・1964 手鏡する少女	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1964(昭和39)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023090	写真	北海道の美術	静内・1964 凜々しい少年	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1964(昭和39)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023091	写真	北海道の美術	長万部・1964 冬の開拓地	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1964(昭和39)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023092	写真	北海道の美術	神恵内・1964 漁師町にて	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1964(昭和39)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023093	写真	北海道の美術	長万部・1964 「ボクも手伝っているんだ」	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1964(昭和39)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023094	写真	北海道の美術	礼文・1965 冬の浜の子ら	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1965(昭和40)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023095	写真	北海道の美術	寿都・1965 ニシン漁の船着き場跡	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1965(昭和40)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023096	写真	北海道の美術	伊達・1965 左手だけでもなんでもやれるわ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1965(昭和40)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023097	写真	北海道の美術	平取・1965 輪投げあそび	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1965(昭和40)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023098	写真	北海道の美術	伊達・1966 ちょっと気取って	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1966(昭和41)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023099	写真	北海道の美術	伊達・1966 白鉢巻きの海の男が私のカメラを見た	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1966(昭和41)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023100	写真	北海道の美術	伊達・1966 勘ねている子	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1966(昭和41)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023101	写真	北海道の美術	長万部・1966 姉と弟	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1966(昭和41)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023102	写真	北海道の美術	長万部・1966 「ボク、とっても眠いんだ。そっとしといて！」	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1966(昭和41)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023103	写真	北海道の美術	斜里・1966 海から切り立つ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1966(昭和41)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023104	写真	北海道の美術	長万部・1967 「ボクのうちにも、やっとテレビが来たよ」	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1967(昭和42)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	

2023105	写真	北海道の美術	白老・1967 独りぼっち	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1967(昭和42)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023106	写真	北海道の美術	白老・1967 マタンブシ（鉢巻き）を締めたフチ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1967(昭和42)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023107	写真	北海道の美術	伊達・1967 縄跳びあそび	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1967(昭和42)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023108	写真	北海道の美術	伊達・1967 噴火湾に浮かぶ駒ヶ岳	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1967(昭和42)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023109	写真	北海道の美術	伊達・1967 パチラー夫婦記念堂前で	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1967(昭和42)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023110	写真	北海道の美術	平取・1967 お祭り騒ぎのイヨマンテ会場	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1967(昭和42)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023111	写真	北海道の美術	平取・1968 沙流川	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1968(昭和43)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023112	写真	北海道の美術	白老・1968 シヌイエ（入れ墨）	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1968(昭和43)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023113	写真	北海道の美術	阿寒・1968 湿原のカムイのように踊ろう	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1968(昭和43)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023114	写真	北海道の美術	阿寒・1968 フチは陽気に踊る	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1968(昭和43)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023115	写真	北海道の美術	平取・1968 小川もまたカムイ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1968(昭和43)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023116	写真	北海道の美術	伊達・1968 仲間はずれ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1968(昭和43)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023117	写真	北海道の美術	豊浦・1969 長男の嫁と息子	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1969(昭和44)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023118	写真	北海道の美術	豊浦・1969 仲良く抱き合って	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1969(昭和44)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023119	写真	北海道の美術	長万部・1969 旧コタン冬景色	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1969(昭和44)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023120	写真	北海道の美術	喜茂別・1969 沃野にそびえる尻別岳	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1969(昭和44)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023121	写真	北海道の美術	豊浦・1969 礼文華の名物漁師	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1969(昭和44)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023122	写真	北海道の美術	豊浦・1969 孫を連れて浜へ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1969(昭和44)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023123	写真	北海道の美術	豊浦・1969 逞しい面魂の陶さん	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1969(昭和44)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023124	写真	北海道の美術	阿寒・1969 キツネ踊りと観衆	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1969(昭和44)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023125	写真	北海道の美術	阿寒・1969 湖上で釣りをする山本多助エカシ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1969(昭和44)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023126	写真	北海道の美術	伊達・1970 見守る人たち	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1970(昭和45)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023127	写真	北海道の美術	伊達・1970 資材の荷揚げにシュプレヒコール	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1970(昭和45)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023128	写真	北海道の美術	伊達・1970 海上の攻防戦	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1970(昭和45)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023129	写真	北海道の美術	伊達・1970 建設予定地付近を、反対派住民が歩く	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1970(昭和45)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023130	写真	北海道の美術	阿寒・1970 日蝕の魔除けの儀式	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1970(昭和45)	ゼラチン・シルバー・プリント	50.8×61.0	
2023131	写真	北海道の美術	阿寒・1970 日蝕の魔除けの儀式	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1970(昭和45)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023132	写真	北海道の美術	白老・1970 民族の誇る貌。森竹竹市エカシ	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1970(昭和45)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	

2023133	写真	北海道の美術	平取・1970 エカシふたり	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1970(昭和45)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023134	写真	北海道の美術	寿都・1971 小屋掛けの見物席・寿都町の運動会	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1971(昭和46)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023135	写真	北海道の美術	余市・1972 謎のフゴッペ洞窟刻画	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1972(昭和47)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023136	写真	北海道の美術	白糠・1973 鯨踊り	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1973(昭和48)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023137	写真	北海道の美術	阿寒・1973 小春日和	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1973(昭和48)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023138	写真	北海道の美術	阿寒・1973 踊りくらべで「負けてたまるか」	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1973(昭和48)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023139	写真	北海道の美術	静内・1974 シャクシャイン祭り	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1974(昭和49)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023140	写真	北海道の美術	風蓮湖・1975 氷原帯に行く	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1975(昭和50)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023141	写真	北海道の美術	様似・1975 重いほど明るい笑顔	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1975(昭和50)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023142	写真	北海道の美術	阿寒・1975 タクサで仔グマから魔物を追い払う	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1975(昭和50)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023143	写真	北海道の美術	豊浦・1977 雪中に漁網を解く	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1977(昭和52)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023144	写真	北海道の美術	伊達・1977 小噴火つづく有珠山	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1977(昭和52)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023145	写真	北海道の美術	壮瞥・1977 有珠山大爆発の降灰	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1977(昭和52)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023146	写真	北海道の美術	平取・1978 早春のアイヌコタン	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1978(昭和53)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023147	写真	北海道の美術	長万部・1978 家族全員で記念写真を撮った。飼馬もいっしょ。	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1978(昭和53)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023148	写真	北海道の美術	伊達・1978 銀沼火口	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1978(昭和53)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023149	写真	北海道の美術	伊達・1978 新火口原	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1978(昭和53)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023150	写真	北海道の美術	伊達・1978 旧火口原	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1978(昭和53)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023151	写真	北海道の美術	伊達・1979 ここにも噴火の創造があった	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1979(昭和54)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023152	写真	北海道の美術	伊達・1979 噴火後の有珠山新火口原	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1979(昭和54)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023153	写真	北海道の美術	長万部・1980 夏草茂る開拓地の一本道	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1980(昭和55)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023154	写真	北海道の美術	伊達・1980 チャランケする岩	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1980(昭和55)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023155	写真	北海道の美術	登別・1980 アイヌ伝説を伝えるクジラ山	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1980(昭和55)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023156	写真	北海道の美術	苫小牧・1982 トーチカの残骸	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1982(昭和57)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023157	写真	北海道の美術	弟子屈・1983 湖のカムイを祀る	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1983(昭和58)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023158	写真	北海道の美術	弟子屈・1983 コタン・コロ・カムイ(集落の守り神)は雄々しく羽ばたいた	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1983(昭和58)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	
2023159	写真	北海道の美術	弟子屈・1983 別れの踊り	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1983(昭和58)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	

2023160	写真	北海道の美術	幌加内・1984 湖底に沈んでいた数千の切り株が出現した	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1984(昭和59)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5	
2023161	写真	北海道の美術	伊達・1986 噴火という名の芸術	掛川 源一郎	1913(大正2)～ 2007(平成19)	1986(昭和61)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9	

2-A-2 美術作品の保存・修復

分野：彫刻

作家名：伊藤隆道

作品名：回転螺旋・1月

制作年：1978(昭和53)年

寸法（径×高さ）：440.0×700.0cm

技法・材質：ステンレススチール（電動）

修復年月日：2023(令和5)年6月15日

修復者：(株) アークスタジオ

修復状況：

本作品は、当館前庭に設置されている野外彫刻である。経年劣化によって台座に隙間が生じたため、内部の機械に水が入り、動作しない状況が発生した。

処置にあたって、防水仕様のモーター、ギア、コンデンサーに交換した。また、新規モーターが設置出来るよう、既存のモーター取り付け金具の一部を削った。

分野：彫刻

作家名：安田侃

作品名：無何有

制作年：1983（昭和58）年

寸法（幅×奥行×高さ）：192.0×12.0×195.0cm

技法・材質：ブロンズ

修復年月日：2023(令和5)年8月5日～9月1日

修復者：認定NPO法人アルテピアッツァびばい

修復状況：

本作品は、当館正面玄関横に設置されている野外彫刻である。経年劣化により全体が腐食に覆われるとともに、腐食の具合が均一ではなくまだら模様となっていた。台座には全体的に細かな亀裂が見られたほか、後方には最大幅3～4mmの長い亀裂があり、また後方左足には縦方向に割れが生じていた。加えて、作品を上部から支えている金具のネジに腐食が見られた。

作品本体の処置は、まず門型クレーンによって作品を取り外し、作家のアトリエに引き下げて作業を行った。から研ぎによる色落としを行った後、プロパンバーナーを用いた熱による着色、色止めおよび保護のためのウレタンコーティングを施した。台座の処置は、現地にて作業を行った。まず石材用ボンドに大理石粉等を混ぜた充填剤によって、亀裂を充填。また、石材用ボンドで足の割れの接着と補強を行った。その後、作品取り外しの際に心棒落下によって生じた欠けを接着、充填した。台座表面はハイラップにて研磨を施した。全作業完了後、作品を再設置。その際、腐食していたネジを交換した。

分野：彫刻

作家名：安田侃

作品名：意心帰

制作年：1990（平成 2）－1991（平成 3）年

寸法（幅×奥行×高さ）：295.0×210.0×130.0cm

技法・材質：大理石

修復年月日：2023(令和 5)年 8 月 30 日－31 日

修復者：認定 NPO 法人アルテピアッツァびばい

修復状況：

本作品は、知事公館の庭園に設置されている野外彫刻である。周辺の泥などにより全体が汚れていたほか、約 1～5mm の穴が多数あり、過去の修復で施した充填剤には変色や剥離が生じていた。また、作品前方には鋭利な物で叩いたような傷が見られた。

処置にあたっては、まず高圧洗浄機により水洗いをした後、P-6A を用いて除菌洗浄を行った。この洗浄でも落ちなかった汚れは、医療用メスを用いて除去した。続いて、約 90 カ所にわたり充填作業を行った。その後、アクアクリア（水性保護コーティング剤）を全体に塗布した。

分野：彫刻

作家名：安田侃

作品名：対話

制作年：1974（昭和 49）年

寸法（幅×奥行×高さ）：100.0×130.0×31.0cm

技法・材質：大理石

修復年月日：2023(令和 5)年 12 月 23 日－2024（令和 6）年 1 月 9 日（うち作業日数 1 日）

修復者：認定 NPO 法人アルテピアッツァびばい

修復状況：

6 点からなる本作品のうち 1 点に、約 2mm の小さな欠けおよび約 8mm の欠けが生じていた。

処置にあたって、まず小さな欠けについては、から研ぎペーパーで研磨することにより周囲と馴染ませた。もう一方の欠けについては、大理石の粒子を接着することで充填したのち、から研ぎペーパーで研磨した。

分野：油彩

作家名：神田日勝

作品名：飯場の風景

制作年：1964(昭和 39)年

寸法（縦×横）：113.5×183.5cm

技法・材質：油彩、板

修復年月日：2024(令和 6)年 1 月 20 日－1 月 25 日

修復者：有限会社修復研究所 21

修復状況：

本作品は、画面に亀裂が散在し、釘の周りやパネルの接合部に絵具の剥落が生じていたほか、ところどころに浮き上がりも見られた。支持体は2枚の合板パネルを釘で接合したものであり、その接合部に隙間があいていた。また、裏面上辺には、作品と仮縁を固定するためのガムテープが貼られていたが、接着剤が劣化し、動かすと落ちてくる状態であった。この他、パネルの棧と絵が描かれている板を留める釘が外れており、画面が反っていた。

処置にあたっては、収蔵時の写真を元に亀裂や絵具の浮き上がりを接着し、画面の固着を強化した。その後、裏面の清掃および殺菌を行った。そして支持体であるパネルの接合部にコースレッドを打ち込み、四つ角はL字金具で固定することで、パネルを強化した。その後、ポリカーボネート板を裏面に取り付けた。続いて、画面に付着していた汚れを除去し、絵具が欠損している箇所に充填剤を詰め、補彩を施した。

分野：油彩

作家名：神田日勝

作品名：人と牛 (D)

制作年：1968(昭和43)年

寸法（縦×横）：163.0×223.0cm

技法・材質：油彩、板

修復年月日：2024(令和6)年1月20日－1月25日

修復者：有限会社修復研究所 21

修復状況：

本作品は、画面全体に亀裂が生じており、ところどころに剥落や擦傷、絵具の浮き上がりが見られた。支持体は3枚の合板パネルを接合したものであり、接合部には隙間があいていた。

処置にあたっては、収蔵時の写真を元に亀裂や絵具の浮き上がりを接着し、画面の固着を強化した。その後、精製水を使用して画面全体の汚れを除去したほか、裏面の清掃および殺菌を行った。そして支持体であるパネルの接合部にコースレッドを打ち込み、四つ角はL字金具で固定。最後にポリカーボネート板を裏面に取り付けた。

分野：版画

作家名：ヤーコブ・アガム

作品名：深海(1)

制作年：1971年

寸法（縦×横）：26.2×38.0cm

技法・材質：リトグラフ、アクリル板・紙

修復年月日：2024(令和6)年1月20日－1月21日

修復者：有限会社修復研究所 21

修復状況：

本作品は、ウィンドウマットと作品が、ガムテープを用いて固定されていた。

処置に当たっては、ガムテープをピンセットによって除去。その後、消しゴムとメスを用いて、作品に残った接

着剤を取り除いた。

修復完了後、ウィンドウマットと額を新調した。

分野：版画

作家名：ヤーコブ・アガム

作品名：深海(2)

制作年：1971 年

寸法（縦×横）：26.2×38.0cm

技法・材質：リトグラフ、アクリル板・紙

修復年月日：2024(令和 6)年 1 月 20 日－1 月 21 日

修復者：有限会社修復研究所 21

修復状況：

本作品は、ウィンドウマットと作品が、ガムテープを用いて固定されていた。

処置に当たっては、ガムテープをピンセットによって除去。その後、消しゴムとメスを用いて、作品に残った接着剤を取り除いた。

修復完了後、ウィンドウマットと額を新調した。

分野：版画

作家名：ヤーコブ・アガム

作品名：ギャラクシー・フェスティバル

制作年：1980 年

寸法（縦×横）：35.5×35.5cm

技法・材質：リトグラフ、アクリル板・紙

修復年月日：2024(令和 6)年 1 月 20 日－1 月 21 日

修復者：有限会社修復研究所 21

修復状況：

本作品は、ウィンドウマットと作品が、ガムテープを用いて固定されていた。

処置に当たっては、ガムテープをピンセットによって除去。その後、消しゴムとメスを用いて、作品に残った接着剤を取り除いた。

修復完了後、ウィンドウマットと額を新調した。

分野：版画

作家名：池田良二

作品名：アントニ・タピエスに捧げる Nobody Knows my mind

制作年：1981（昭和 56）年

寸法（縦×横）：59.0×89.0cm

技法・材質：エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント・和紙

分野：版画

作家名：池田良二

作品名：The stage on the parting point

制作年：1988（昭和 63）年

寸法（縦×横）：40.0×55.6cm

技法・材質：銅版・紙

対応年月日：2024(令和 6)年 2 月 27 日

保存処置状況：

上記 2 点のグレージングは通常のアクリル板であったが、低反射防止フィルムの貼られたアクリル板に交換した。

分野：油彩

作家名：上野山清貢

作品名：鶴

制作年：1943（昭和 18）年

寸法（縦×横）：59.0×82.0cm

技法・材質：油彩・板

対応年月日：2024(令和 6)年 1 月 30 日

保存処置状況：

額に付属していた金属製の吊り金具が劣化していたため、額を交換した。

分野：日本画

作家名：片岡球子

作品名：面構 一休さま

制作年：1943（昭和 18）年

寸法（縦×横）：150.3×300.5cm

技法・材質：紙本彩色

対応年月日：2024(令和 6)年 1 月 30 日

保存処置状況：

本作品の額には裏板がなかったため、新たにアーカイバルコロプラストによる裏板を取り付けた。

分野：写真

作家名：掛川源一郎

作品名：伊達・1946 「あたいの大事な服がこんなになっちゃったァ」他 30 点

制作年：1946（昭和 21）年－1986（昭和 61）年

寸法（縦×横）：35.5×35.5cm

技法・材質：ゼラチン・シルバー・プリント

対応年月日：2024(令和 6)年 3 月 27 日

保存処置状況：

まくりの状態であった 30 点全てにブックマット装を行った。

2-B 展覧会

2-B-1 展覧会一覧

（1）常設展（ 近美コレクション ）

展覧会名		内 容	会場	開催期間	主催・後援・協力	日数	実 施 状 況	
							観覧者数	一日当たり観覧者数
令和5年度 第Ⅰ期	シャガール・イン・プリント	詩情と民族性、そして独自の色彩感覚に満ちた芸術世界を作り上げたマルク・シャガール(1887-1985)。当館が所蔵する『死せる魂』『ダフニスとクロエ』『出エジプト記』のシリーズ全点を展示し、彼の版画の魅力に迫ります。	展示室A	令和5年 2月11日（土） ～4月 9日（日）	主催：北海道立近代美術館 後援：札幌市、札幌市教育委員会	8	1,507	188
	戦時下の北海道美術	日中戦争の開戦（1937年）から太平洋戦争の終結（1945年）にいたる戦時下の時代。北海道出身の美術家も報道や記録のため戦地に赴きました。彼らは戦地で何を見、何を表現したのか、収蔵作品により紹介します。						
	この1点を見てほしい。	当館コレクションの中から1点を選び、多角的な研究を通して作品の奥深い魅力を紹介します。 伊藤隆介《こんなことは無かった》2012/2022年						
第Ⅱ期	友田コレクションの精華	詩人・児童文学者の友田多喜雄氏（1931-）は、西洋と日本の近現代版画を収集、その2000点近いコレクションを当館に寄贈したことから、令和4年度の北海道文化賞を受賞しました。本展ではそのコレクションの精華とともに、文学者としての友田氏の業績を紹介します。	展示室A	令和5年 4月22日（土） ～ 6月11日（日）	主催：北海道立近代美術館 後援：札幌市、札幌市教育委員会	44	7,489	170
	昭和のガラス工芸	明治以降、産業中心の道を歩んだ日本のガラスでは、昭和に入ると造形芸術として模索する動きが始まりました。独創的な表現の可能性を切り開いた岩田藤七、各務鑛三、小柴外一、藤田喬平他の秀作を紹介します。						
	新収蔵品展	令和4年度、当館が新たに収蔵した作品を展示します。						
第Ⅲ期	越境者バスキン	ブルガリアに生まれ、ルーマニアで育ち、ウィーン、ブタペスト、ミュンヘンで学び、パリに移住したジュール・バスキン（1885-1930）。異国の地に自由を求め、貧しい者や社会の周縁に生きる者への共感を持って描いたエコール・ド・パリの画家の世界を巡ります。	展示室A	令和6年 3月23日（土） ～6月16日（日） 「この1点を見てほしい」は 令和6年 3月23日(土)～5月12日(日)	主催：北海道立近代美術館 後援：札幌市、札幌市教育委員会	8	1,147	143
	現代ガラスのオノマトペ	現代ガラスの多彩なかたちは、わたしたちに様々イメージを喚起します。「ゆらゆら」「くねくね」「もぐもぐ」といったオノマトペ（擬音語、擬態語）をキーワードに、創造性豊かな現代ガラスの世界を探ります。						
	片岡球子「面構」シリーズ	令和5年度に新たに収蔵した片岡球子《面構 一休さま》等を紹介しします。						
	この1点を見てほしい。	当館コレクションの中から1点を選び、多角的な研究を通して作品の奥深い魅力を紹介します。 山口蓬春《向日葵》1955年						
計						60	10,143	169

（２）特別展

(令和6年3月31日現在)

展覧会名		内 容	会 場	開 催 期 間	主催・後援・協力	日数	実 施 状 況	
							観覧者数	一日当たり 観覧者数
貸館	サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史	2020年に創業60周年を迎えたサンリオ。450以上のキャラクターを生み出したその歩みは、今や世界で通用する「カワイイ」文化の歴史そのものです。本展ではグッズや出版物、デザイン画などによりサンリオの歩みを紹介します。	展示室B	令和5年 2月11日（土） ～4月 2日（日）	主催：ＳＴＶ札幌テレビ放送、北海道立近代美術館 後援/：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会 特別協力：ＳＴＶラジオ 企画制作：サンリオ展製作委員会 制作協力：ＴＭエンタテインメント	2	7,071	3,535
貸館	トリック×イリュージョン！	見る者の目を惑わす「だまし絵」は、古くから人々に親しまれてきました。本展では様々な手法による錯覚や幻想的イメージに着目し、絵画や彫刻などを紹介します。不思議で楽しいトリックとイリュージョンの美術をご覧ください。	展示室B	令和5年 4月22日（土） ～ 6月11日（日）	主催：北海道新聞社、HTB北海道テレビ、北海道立近代美術館 後援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会	44	41,137	934
道単	揺さぶる絵 変貌する日本画のイメージ	三上誠や中村正義、片岡球子の作品など、観る者の心ばかりか、日本画の枠組みそのものさえ揺さぶるインパクトをもった1960年代以降の日本画の数々を、豊橋市美術館と道立美術館・芸術館のコレクションを中心に紹介します。	展示室A	令和5年 9月16日（土） ～11月12日（日）	主催：北海道立近代美術館 後援：札幌市、札幌市教育委員会 協力：豊橋市美術館 助成：芸術文化振興基金	51	9,094	178
	アール・ヌーヴォー 自然を映しだすガラス	自然をインスピレーションの源泉としていたエミール・ガレ（1846-1904）が活躍したアール・ヌーヴォー期を中心に、多様な自然を映しだしたガラス表現を紹介します。						
	アートギャラリー北海道 小川原脩記念美術館コレクション展	北海道洋画壇に大きな足跡を残した小川原脩（1911-2002）。故郷であり戦後、終生の制作の地とした倶知安には小川原脩記念美術館が立ち、画家の画業を伝えています。本展では同館コレクションを中心に代表作を展覧します。						
実行 委員会	足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展一和の美、再発見。	日本画や陶芸など、2,000点に及ぶ優れたコレクションと、5万坪もの日本庭園で知られる足立美術館（島根県安来市）。竹内栖鳳、上村松園、川端龍子らによる近代日本画の名品と北大路魯山人の書・陶芸を紹介します。	展示室B	令和5年 9月16日（土） ～11月12日（日）	主催：北海道立近代美術館、STV札幌テレビ放送株式会社、北海道新聞社 後援：札幌市、札幌市教育委員会 特別協力：公益財団法人足立美術館 協力：STVラジオ、日本海テレビ 協賛：一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局	51	38,649	757
共催	AINU ARTーモレウのうた	アイヌ文様の特徴のひとつであるモレウ（渦巻き文）をキーワードに、アイヌアートの多様性とデザイン性に富んだ造形力に注目します。貝澤徹、西田香代子、藤戸康平らの近作、新作とともに、先人たちが残した木工芸、染織の優品を展覧します。	展示室A	令和6年 1月13日（土） ～ 3月10日（日）	主催：北海道立近代美術館、公益財団法人アイヌ民族文化財団 後援：国土交通省、公益社団法人北海道アイヌ協会	50	9,556	191
共催	札幌国際芸術祭2024 SIAF2024	3年に1度の札幌国際芸術祭、今回のテーマは“LAST SNOW”です。当館会場では「フラジャイル（こわれやすい、取扱注意）」をキーワードに据え、現在活躍中のアーティストたちと当館のコレクションを交えながら、1924年から現在までのアートに焦点を当てます。	展示室B	令和6年 1月20日（土） ～ 2月25日（日）	主催：札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市、北海道立近代美術館	32	13,679	427
貸館	第90回記念独立展 北海道展	6年ぶりの北海道巡回展。今、美術界の第一線に立つ代表的な会員作品と受賞作品、活発な展開をみせる道内在住者の作品をあわせ、200号クラスの大作を中心に80余点を展観します。	展示室B	令和6年 3月23日（土） ～ 3月31日（日）	主催：独立美術協会、北海道新聞社	8	2,215	276
計						238	121,401	510

※日数・人数等は、会期にかかわらず令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

美しいものとの時間

友田コレクションの精華

魅惑の版画と詩

2023（令和5）年4月22日[土] —6月11日[日] 【展示室A 1階】

I 『ミセレーレ』から始めて

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵	寸法(cm)
1	ジョルジュ・ルオー	『ミセレーレ』	1922-27（刊行:1948）	エリオグラヴィール、シュガー・アクアチント、アクアチント、ドライポイント、バーニッシャー・紙 58点組	当館蔵（友田コレクション）	67.0×51.0

II 文学者として 詩人、児童文学者…

2	友田 多喜雄	冬の旅前後	1958（昭和33）	書籍	北海道立図書館
3	友田 多喜雄	詩集 友誼果樹園	1966（昭和41）	書籍	北海道立図書館
4	友田多喜雄	詩法 ベトナム反戦と愛の詩集	1969（昭和44）	書籍	北海道立文学館
5	友田多喜雄／編	わたしの詩 詩にめざめる北海道の女性	1972（昭和47）	書籍	北海道立図書館
6	友田多喜雄／編	わたしの詩 続 詩にめざめる北海道の女性	1973（昭和48）	書籍	北海道立図書館
7	友田 多喜雄／著	新装復刻版 ズボンについて草の種子	1981（昭和56）	書籍	北海道立図書館
8	友田多喜雄／詩 清水敦／画	詩画集 ちいさなものたち	1978（昭和53）	書籍	札幌市中央図書館
9	友田 多喜雄／著 香川軍男／画	仔馬／羊たち	1979（昭和54）	書籍	北海道立図書館
10	友田 多喜雄／著 園房江／画	サイロのそばで 友田多喜雄少年詩集	1989（平成元）	書籍	北海道立図書館
11	友田 多喜雄／著 岩野勇三／絵	光多が生まれたとき	1984（昭和59）	書籍	北海道立図書館
12	友田 多喜雄／著 磯見美智子／絵	光多とともに	1985（昭和60）	書籍	北海道立図書館
13	友田 多喜雄／著 清水敦／版画	オリジナル版画集 野の花 II	1985（昭和60）	書籍	札幌市中央図書館
14	友田 多喜雄／作 梅田俊作／絵	ぶたのここぶた13びき	1988（昭和63）	書籍	北海道立図書館
15	友田 多喜雄／作 渡辺三郎／絵	ぼくちんのすてきなともだち	1991（平成3）	書籍	札幌市中央図書館
16	友田多喜雄／著 セレナード／音楽の愉しみ		1993（平成5）	書籍	札幌市中央図書館
17	谷川 俊太郎 // [ほか述著]	北の時間 谷川俊太郎対談集	1996（平成8）	書籍	北海道立図書館
18	ふるさと文学館 第1巻 北海道		1993(平成5)	書籍	北海道立図書館
19	ふるさと文学館 第2巻 北海道 2		1995(平成7)	書籍	北海道立図書館
20	谷川 健一／責任編集 鶴見俊輔／責任編集 村上 一郎／責任編集	ドキュメント日本人 戦後北海道の開拓 第5 棄民	1969（昭和44）	書籍	北海道立図書館
21	戦後北海道農民運動史編纂委員会／編	戦後北海道農民運動史	1968（昭和43）	書籍	北海道立図書館
22	友田多喜雄	展覧会チラシ		印刷物	友田多喜雄氏
23	友田多喜雄／詩、画	花 詩画集	1994（平成6）	書籍	札幌市中央図書館
24	友田多喜雄／詩、画	花 2 詩画集	1995（平成7）	書籍	札幌市中央図書館
25	友田多喜雄／詩、画	花 3 詩画集	1997（平成9）	書籍	札幌市中央図書館
26	友田多喜雄	抽象画		クレヨン、水彩・紙	友田多喜雄氏

III 美術愛好家として 美しいものとの時間

27	フランシスコ・ゴヤ	『戦争の惨禍』	1810-20頃	エッチング、ラヴィ、ドライポイント、ビュラン、バーニッシャー 80点組	当館蔵（友田コレクション）	15.7×20.6
28	オノレ・ドーミエ	できごと	1842、刊行：1842-56	リトグラフ・紙	当館蔵（友田コレクション）	20.0×24.3
29	オディロン・ルドン	『聖アントワヌの誘惑』（第3集再版）	1896	リトグラフ・紙（ヴェラン・ドゥ・マレ） 22点組	当館蔵（友田コレクション）	21.8×13.2
30	アンドレ・ドラン	マルティグ風景	1908	油彩・キャンバス	当館蔵	100.0×81.0
31	アンドレ・ドラン	『パンタグリユエル挿画集』	1941-43(刊行:1943)	木版・紙 挿絵本	当館蔵（友田コレクション）	34.3×28.0
32	パブロ・ピカソ	『A Los Toros avec Picasso』	刊行:1961	リトグラフ・紙 4点組	当館蔵（友田コレクション）	24.4×31.6
33	パブロ・ピカソ	『メタモルフォーズ』	1930-31（刊行:1931）	エッチング 30点組	当館蔵（友田コレクション）	32.5×25.5
34	フェルナン・レジェ	『イリュミナシオン』	1947（刊行:1948）	リトグラフ、彩色・紙 挿絵本	当館蔵（友田コレクション）	33.0×24.8
35	アンリ・マティス	『アポリネール』	刊行:1952	リトグラフ・紙 挿絵本	当館蔵（友田コレクション）	33.0×24.9
36	マルク・シャガール	パリの空に花	1967	油彩・キャンバス	当館蔵	148.0×140.0

37	マルク・シャガール	『聖書』のための挿絵	刊行:1956	リトグラフ・紙 (アルシュ) 版画集	当館蔵 (友田コレクション)	35.5×26.2
38	マルク・シャガール	『聖書』のためのデッサン	刊行:1960	リトグラフ・紙 (アルシュ) 版画集	当館蔵 (友田コレクション)	35.4×26.2
39	マルク・シャガール	『ポエム』	1962-68 (刊行:1968)	木版・紙 (ヴェラン・ド・リーヴ) 版画集	当館蔵 (友田コレクション)	36.6×28.8
40	ジョルジュ・ルオー	聖なる顔	1939	油彩・板に貼った紙	当館蔵	56.0×41.0
41	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刷された14図 悪魔Ⅱ	1926 (刊行:1966)	エリオグラヴィール、シュガー・アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、バーニツシャー・紙	当館蔵 (友田コレクション)	44.5×34.0
42	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刷された14図 悪魔Ⅲ	1926 (刊行:1966)	エリオグラヴィール、シュガー・アクアチント、ドライポイント、スクレイパー、バーニツシャー・紙	当館蔵 (友田コレクション)	44.5×34.0
43	マリー・ローランサン	婦人像	1920	油彩・キャンバス	当館蔵	73.5×61.0
44	マリー・ローランサン	『マリアナ』	刊行:1932	リトグラフ・中国紙 4点組	当館蔵 (友田コレクション)	29.1×21.1
45	ジョアン・ミロ	『デリエール・ル・ミロワール Nos. 125-126』より	刊行:1961	リトグラフ・紙	当館蔵 (友田コレクション)	38.0×114.0
46	ジョアン・ミロ	『デリエール・ル・ミロワール No. 169』 HAÏ-KU	刊行:1967	リトグラフ・紙	当館蔵 (友田コレクション)	38.0×28.0
47	ジョアン・ミロ	『デリエール・ル・ミロワール No. 169』 FEMMES	刊行:1967	リトグラフ・紙	当館蔵 (友田コレクション)	38.0×28.0
48	ベルナール・ビュッフェ	『植物誌図集』 パンジー	1966	リトグラフ・紙	当館蔵 (友田コレクション)	49.2 ×37.1
49	ベルナール・ビュッフェ	『幻想旅行』	不詳	ドライポイント・紙 版画集	当館蔵 (友田コレクション)	40.8 ×32.7
50	アントニ・クラヴエ	『吟遊詩人』	1970	リトグラフ・紙 挿画本	当館蔵 (友田コレクション)	50.3×38.0
51	アントニ・クラヴエ	『カルメン』	刊行:1945	リトグラフ・紙	当館蔵 (友田コレクション)	11.2×10.8
52	マリノ・マリーニ	(不詳)	1972	リトグラフ・紙	当館蔵 (友田コレクション)	39.0×52.0
53	マリノ・マリーニ	『ミケランジェロ讃』	1975、刊行:1975	エッチング、アクアチント・紙	当館蔵 (友田コレクション)	58.8×42.1
54	マリノ・マリーニ	(不詳)	不詳	エッチング・紙	当館蔵 (友田コレクション)	34.0×39.8
55	クロード・ワイズバッシュ	襟付きの道化師	1961	リトグラフ・紙	当館蔵 (友田コレクション)	75.6×55.0
56	神田日勝	室内風景	1970 (昭和45)	油彩・板	当館蔵	227.3×181.8
57	岩田藤七	水差・上野の動物	1976 (昭和51)	ガラス:型吹き	当館蔵	13.7×20.5×23.8
58	北岡文雄	羅臼岳錦秋	1989 (平成元)	木版・紙	当館蔵	49.0×63.2
59	バーナード・リーチ	掻き落とし壺	不詳	陶磁	当館蔵	径15.5×高さ26.7cm
60	田中忠雄	空の鳥を見よ	1959 (昭和34)	油彩・キャンバス	当館蔵	112.2×145.5
61	高山辰雄	『唐詩選リトグラフ集』 岑参 「送人環京」	刊行:1968 (昭和43)	リトグラフ・紙 版画集	当館蔵 (友田コレクション)	56.3 ×38.3
62	棟方志功	善知鳥版画巻 夜訪の柵	1938 (昭和13)	木版・紙	当館蔵 (友田コレクション)	31.0 ×32.0
63	エミール・ノルデ	二匹の空想の動物 (黒と白)	1910	木版・紙	当館蔵 (友田コレクション)	5.0×11.4
64	米坂ヒデノリ	呼ぶ	1961 (昭和36)	木 (シナ、青シナ)	当館蔵	42.0×52.0×127.0

IV 美術家たちとの交流 詩画集の制作

65	清水敦	北の詩	1987 (昭和62)	メゾチント・紙 12点組	当館蔵 (友田コレクション)	13.9×20.6
66	友田多喜雄／詩 清水敦／画	『詩画集 野の花』	不詳	書籍	札幌市中央図書館	
67	清水敦	詩画集 野の花	刊行:1980 (昭和55)	メゾチント・紙 8点組	当館蔵 (友田コレクション)	28.0×19.0
68	友田多喜雄／詩 清水敦／画	『ふるさとの詩—日本の玩具』	不詳	書籍	当館蔵 (友田コレクション)	
69	清水敦	ふるさとの詩—日本の玩具— オリジナル銅版画集	刊行:1989 (平成元)	メゾチント・紙 12点組	当館蔵 (友田コレクション)	31.3×23.8
70	友田多喜雄／詩 一原有徳／版画	デ・プロフィンディス	1996 (平成8)	書籍	当館蔵 (友田コレクション)	
71	一原有徳	Ka5	1985 (昭和60)	金属凹版・紙	当館蔵 (友田コレクション)	9.6×8.6
72	友田多喜雄／詩 一原有徳／版画	雨煙別通信 (1990年3月～8月)	1998 (平成10) 2月	書籍	札幌市中央図書館	
73	一原有徳	(不詳)	不詳	金属凹版・紙	当館蔵 (友田コレクション)	11.9×13.8
74	友田多喜雄／詩 一原有徳／版画	詩画集 冬の底へ	2000 (平成12)	書籍	札幌市中央図書館	
75	友田多喜雄／詩 一原有徳／版画	銅のメモ	2000 (平成12)	書籍	当館蔵 (友田コレクション)	
76	一原有徳	(不詳)	1990 (平成2)	モノタイプ・紙	当館蔵 (友田コレクション)	8.9×9.9
77	一原有徳	(不詳)	不詳	モノタイプ・紙	当館蔵 (友田コレクション)	9.8×20.0
78	一原有徳	ZONc	1960 (昭和35)	モノタイプ・紙	当館蔵 (友田コレクション)	24.4×18.3
79	一原有徳	RIW (59) b	1971 (昭和46)	アルミニウム版腐蝕・紙	当館蔵 (友田コレクション)	39.6×32.6
80	一原有徳	LY (9)	1988 (昭和63)	金属凹版・紙	当館蔵 (友田コレクション)	15.1×11.9
81	一原有徳	(不詳)	1987 (昭和62)	トタン板腐蝕、電気サンダー・紙	当館蔵 (友田コレクション)	22.5×25.6

82	一原有徳	(不詳)	不詳	モノタイプ、金属凹版・紙	当館蔵(友田コレクション)	紙寸：46.2×35.6
83	友田多喜雄／詩 大井戸百合子／版画	『詩画集 市場の女達』	不詳	書籍	札幌市中央図書館	
84	大井戸百合子	(不詳)	不詳	エッチング・紙	当館蔵(友田コレクション)	9.0×7.6
85	大井戸百合子	こんにちわ	不詳	エッチング・紙	当館蔵(友田コレクション)	9.0×6.8
86	大井戸百合子	二人	不詳	エッチング・紙	当館蔵(友田コレクション)	8.8×7.0
87	大井戸百合子	花をもつおばあさん	不詳	エッチング・紙	当館蔵(友田コレクション)	9.2×7.5
88	大井戸百合子	秋の市場 (1)	1981 (昭和56)	エッチング・紙	当館蔵(友田コレクション)	36.3×50.3
89	大井戸百合子	冬の坂道 (1)	1982 (昭和57)	エッチング・紙	当館蔵(友田コレクション)	60.1×36.3
90	大井戸百合子	ユリをみる三人の女	1980 (昭和55)	エッチング・紙	当館蔵(友田コレクション)	36.5 ×51.0
91	大井戸百合子	立話Ⅱ	1979 (昭和54)	エッチング・紙	当館蔵(友田コレクション)	39.6×36.0
92	友田多喜雄／詩 福井正治／カット	『スケッチ やむ・に・うし からⅠ』	1992 (平成4)	書籍	札幌市中央図書館	
93	友田多喜雄／詩 福井正治／表紙 福井路可／カット	『スケッチ やむ・に・うし からⅡ』	1992 (平成4)	書籍	札幌市中央図書館	
94	友田多喜雄／詩 福井正治／表紙 福井路可／カット	『スケッチ やむ・に・うし からⅢ』	1994 (平成6)	書籍	札幌市中央図書館	
95	福井正治	サーカスの祭り (D)	1964 (昭和39)	油彩・キャンバス	当館蔵	91.5×137.6

昭和のガラス工芸 【展示室A 2階】

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	藤田 喬平	飾篋・弥生	1982 (昭和57)	ガラス：型吹き、色ガラス粒と金箔、プラチナ箔による装飾	29.5×19.7
2	岩田 藤七	花器・おぼろ夜	1958 (昭和33)	ガラス：宙吹き	15.0×38.0
3	岩田 藤七	花器	1966 (昭和41)	ガラス：宙吹き	18.0×18.0×27.0
4	岩田 藤七	花瓶・霰	不詳	ガラス：宙吹き	12.5×24.4
5	岩田 藤七	金一輪挿	不詳	ガラス：宙吹き	11.1×25.3
6	岩田 藤七	水指	1975 (昭和50)	ガラス：宙吹き	21.5×21.5×10.5
7	岩田 藤七	水指・雲間	1975 (昭和50)	ガラス：宙吹き	22.3×19.0
8	岩田 藤七	茶碗・銀河	不詳	ガラス：宙吹き	12.0×9.0
9	岩田 藤七	茶碗・玄影	不詳	ガラス：宙吹き	12.0×9.0
10	岩田 藤七	鉢	1963 (昭和38)	ガラス：宙吹き	38.0×18.5×12.5
11	岩田 藤七	花器・瀬音	不詳	ガラス：宙吹き、斑文ガラス	29.0×7.5
12	岩田 藤七	鉢と皿・あわ雪	不詳	ガラス：気泡封入	34.5×16.5他
13	岩田 藤七	貝	1976 (昭和51)	ガラス：宙吹き	17.0×21.5×15.0
14	岩田 藤七	貝・月かげ	1976 (昭和51)	ガラス：宙吹き	20.0×26.0×7.5
15	岩田 藤七	貝	1974 (昭和49)	ガラス：宙吹き	16.0×39.0×34.5
16	岩田 藤七	貝	1973 (昭和48)	ガラス：宙吹き	13.0×12.0×8.5
17	岩田 藤七	貝	1973 (昭和48)	ガラス：宙吹き	13.0×12.5×9.5
18	各務 鑛三	雀文花器	1941 (昭和16)	ガラス：宙吹き、エングレーヴィング、気泡封入	10.6×17.3
19	各務 鑛三	鹿文花器	1948 (昭和23) 頃	ガラス：宙吹き、エングレーヴィング	11.5×22.0
20	各務 鑛三	皿・追憶	1929 (昭和4)	ガラス：エングレーヴィング	28.5×3.8
21	各務 鑛三	皿・座る	1975 (昭和50)	ガラス：宙吹き、エングレーヴィング	29.6×4.8
22	各務 鑛三	鉢	1934 (昭和9)	ガラス：宙吹き、カット、エングレーヴィング	19.7×10.8
23	佐藤 潤四郎	三蔵法師舍利器とカバー	1980 (昭和55) - 84 (昭和59)	ガラス：宙吹き、カット、プランツ	8.6×7.8
24	佐藤 潤四郎	薬師寺西塔舍利器	1978 (昭和53)	ガラス：型吹き、エングレーヴィング	12.2×16.5
25	佐藤 潤四郎	水指	1986 (昭和61)	ガラス、木：型吹き、カット	14.9×18.4
26	淡島 雅吉	しづくガラス タンブラー	1950 (昭和25) 頃	ガラス：型吹き	6.6×10.5他
27	淡島 雅吉	しづくガラス シャンペン・グラス	1950 (昭和25) 頃	ガラス：型吹き	8.5×9.0他
28	淡島 雅吉	しづくガラス 花器	不詳	ガラス：型吹き	14.4×18.5×19.6
29	岩田 久利	水指・道成寺	1982 (昭和57)	ガラス：宙吹き、金属箔による装飾	14.0×17.5
30	岩田 久利	花器・楼蘭	1980 (昭和55)	ガラス：色ガラス粒と金箔による装飾、宙吹き	21.5×29.5
31	岩田 久利	花器	1991 (平成3)	ガラス：宙吹き	25.5×25.5×36.0

32	岩田 久利	台付流雲壺	1993（平成5）	ガラス：宙吹き	26.5×32.0
33	岩田 久利	三彩盛鉢	1993（平成5）	ガラス：宙吹き	27.0×32.0×20.0
34	岩田 久利	花器	1992（平成4）	ガラス：宙吹き	22.0×22.0×18.0
35	藤田 喬平	飾筥・海の彩	1980（昭和55）	ガラス：色ガラス粒と金属箔による装飾、型吹き	20.5×24.0×18.5
36	藤田 喬平	飾筥・十六夜	1982（昭和57）	ガラス：金属箔貼付、型吹き	30.0×14.9
37	藤田 喬平	飾筥・源氏物語	1983（昭和58）	ガラス、金属：被せガラス、色ガラス粒と金属箔による装飾、型吹き	21.5×21.0×24.5
38	藤田 喬平	緑金彩	1962（昭和37）	ガラス：色ガラスと金箔による装飾、宙吹き	23.0×26.0
39	藤田 喬平	黄色い花	1967（昭和42）	ガラス：ホットワーク、金箔	16.5×18.0×15.0
40	藤田 喬平	魂	1988（昭和63）	ガラス：被せガラス、宙吹き	35.5×50.0×82.5
41	藤田 喬平	蕾	1993（平成5）	ガラス：宙吹き、インカルモ、金箔	43.0×44.0×94.0
42	藤田 喬平	黒潮の波	1985（昭和60）	ガラス：ホットワーク、光学ガラス、カット、研磨	35.0×46.0×74.0他
43	藤田 喬平	風	1984（昭和59）	ガラス：宙吹き	37.6×43.0×59.5
44	小柴 外一	亀甲おもだか文茶碗	1966（昭和41）頃	ガラス：パート・ド・ヴェール	11.7×7.7
45	小柴 外一	ぼけ文茶碗	1960代後期	ガラス：パート・ド・ヴェール	12.0×8.5
46	小柴 外一	踊り子文香水吹き	1940（昭和15）頃	ガラス：パート・ド・ヴェール	5.0×5.0×6.2
47	小柴 外一	ニンフ蓋物	1932－42（昭和7－17）	ガラス：パート・ド・ヴェール	8.2×3.3
48	小柴 外一	鷺文ろうそく立て	1936（昭和11）頃	ガラス：パート・ド・ヴェール	6.2×6.2×8.5
49	小柴 外一	蝶文蓋物	1932－42（昭和7－17）	ガラス：パート・ド・ヴェール	5.6×10.1×3.8
50	小柴 外一	龍香炉	1963（昭和38）頃	ガラス：パート・ド・ヴェール	5.9×8.7×12.2
51	船越 三郎	スリムなカプセル構成	1982（昭和57）	ガラス：宙吹き、カット	7.0×17.5他
52	竹内 伝治	コンポジション＃83	1986（昭和61）	ガラス	7.0×25.0×34.0
53	竹内 伝治	コンポジション＃24	1981（昭和56）	ガラス	7.0×21.0×29.0
54	高橋 禎彦	無題	1988（昭和63）	ガラス：被せガラス、宙吹き、フューミング、サンドブラスト、接着	51.0×51.5×23.5

新収蔵品展 【展示室A 2階】

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	大本靖	imrock	2006（平成18）	木版（多色）・紙	53.3 ×72.6
2	大本靖	峠	2005（平成17）	木版（多色）、空摺り・紙	54.8 ×40.8
3	野口俊一	緑の群像	1985（昭和60）	水彩・紙	39.5 ×54.6
4	野口俊一	百日草	1948（昭和23）	水彩・紙	57.6 ×36.8
5	砂田友治	その時（時は止まり、釘は折れた）	1992（平成4）	油彩・キャンバス	194.3 ×259.1
6	竹岡羊子	花火となって逝った夏	2001（平成13）	油彩、コラージュ・キャンバス	227.3 ×181.8
7	折原久左エ門	路	1971（昭和46）頃	鑄造・アルミニウム	32.0 ×86.0 ×29.0
8	折原久左エ門	標	1988（昭和63）	鑄造・ブロンズ	65.0 ×60.0 ×55.0
9	折原久左エ門	連作－97道標－	1997（平成9）	鑄造・ブロンズ	33.0 ×33.0 ×33.0
10	露口啓二	on_sar シケレバ	2007（平成19）	タイプCプリント	80.0 ×100.0
11	露口啓二	on_sar タウンナイ	2008（平成20）	タイプCプリント	80.0 ×100.0
12	露口啓二	on_sar ヌベトヨマプ	2009（平成21）	タイプCプリント	80.0 ×100.0
13	露口啓二	on_sar ポンペタルナイ	2009（平成21）	タイプCプリント	80.0 ×100.0
14	露口啓二	on_sar ペンケヲプ子ナイ	2010（平成22）	タイプCプリント	80.0 ×100.0
15	露口啓二	on_sar ユーパシュセヲナイ	2012（平成24）	タイプCプリント	80.0 ×100.0
16	小川 待子	Untitled	1996（平成8）	陶土	47.2×57.2×32.0
17	小川 待子	Time Unearthed 2018 N-1	2018（平成30）	陶土、磁土、ガラス	23.8×27.3×65.5

* 寸法は、平面作品では画面の縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さを示した。

越境者パスキン

Pascin: Crossing Boundaries



2024年3月23日[土]～ 6月16日[日]
北海道立近代美術館 展示室A 1階

ブルガリアに生まれ、ルーマニアで育ち、ウィーン、ブダペスト、ミュンヘンで学び、パリに移住したジュル・パスキン（1885～1930）。その後アメリカ国籍を取得するなど、生涯越境を続けました。異国の地に自由を求め、貧しい者や社会の周縁に生きる者への共感を持って描いたエコール・ド・パリの画家の世界を巡ります。

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
1	ジュル・パスキン	放蕩息子と娘たち	1926	ドライポイント・紙	33.5×47.9
2	ジュル・パスキン	再び放蕩息子	1927	ソフトグランドエッチング・紙	25.2×30.0
3	ジュル・パスキン	放蕩息子	1922	油彩・キャンバス	212.3×302.4
4	ジュル・パスキン	婦人と犬と子ども	1902頃	ペン、インク、水彩・紙	19.7×15.9
5	ジュル・パスキン	祭	1903	ペン、インク、水彩・紙	20.3×20.6
6	ジュル・パスキン	客と3人の娘たち	1905	インク、水彩・紙	20.4×13.8
7	ジュル・パスキン	家族 I	1903	鉛筆、水彩・紙	20.6×26.0
8	—	『ジンプリツィシムス』	1910	印刷物	38.8×28.8（7冊）
9	ジュル・パスキン	女たち	1906頃	鉛筆、ペン、インク・紙	16.0×21.0
10	ジュル・パスキン	二人の若い娘	1909	ペン、インク・紙	16.8×11.0
11	ジュル・パスキン	カフェ	1908	ペン、インク、鉛筆・紙	20.0×31.1
12	ジュル・パスキン	荒野の騎手	1909	油彩・厚紙	19.0×33.0
13	ジュル・パスキン	ジプシー	1906	ドライポイント・紙	8.5×11.6
14	ジュル・パスキン	相続人	1910	ペン、インク、水彩・紙	19.7×13.0
15	ジュル・パスキン	犬の愛嬌	1909	ペン、インク、水彩・紙	12.1×8.3
16	ジュル・パスキン	ソファに腰かけるシュザンヌ	1911	油彩・キャンバス	65.5×54.0
17	ジュル・パスキン	三美神の舞台	1910	ペン、インク、水彩・紙	14.0×16.4
18	ジュル・パスキン	女学生	1908	油彩・キャンバス	55.0×46.0
19	エルミーヌ・ダヴィッド	自画像—17歳	1904	水彩・紙	71.5×52.5
20	ジュル・パスキン	黒いスカートのエルミーヌ	1911	鉛筆、水彩・紙	30.8×21.0
21	ジュル・パスキン	肘掛け椅子のエルミーヌ	1914	鉛筆、水彩・紙	32.0×21.3
22	エルミーヌ・ダヴィッド	ロンシャン競馬場でのゴールイン	1932	油彩・キャンバス	73.0×92.0
23	エルミーヌ・ダヴィッド	パリ郊外—二匹の白い犬	1921	油彩・紙、ボード	54.5×65.0
24	エルミーヌ・ダヴィッド	マルヌ河岸	1922	油彩・キャンバス	76.3×88.2
25	エルミーヌ・ダヴィッド	競輪	1932	エッチング・紙	23.5×29.9
26	ジュル・パスキン	良きサマリア人	1917	油彩・キャンバス	73.5×66.3
27	ジュル・パスキン	キューバの人達	1917	油彩・キャンバス	53.0×64.0
28	ジュル・パスキン	ニューヨーク風景(バトリー・パーク)	1916	エッチング・紙	11.9×15.3
29	ジュル・パスキン	ニューヨークの動物園	1916	コンテ・紙	25.4×19.7
30	ジュル・パスキン	旅する家族	1916	ドライポイント・紙	11.9×7.2

31	ジュル・パスキン	南にて	1916	エッチング・紙	5.9×12.4
32	ジュル・パスキン	ハバナの港	1917	鉛筆、水彩・紙	16.8×21.0
33	ジュル・パスキン	裸婦の構図	1915	油彩・キャンバス	46.0×55.0
34	ジュル・パスキン	ふたりのキューバ人	1917	ドライポイント・紙	18.0×20.0
35	ジュル・パスキン	キューバにて	1917頃	鉛筆、水彩・紙	20.3×27.6
36	ジュル・パスキン	キューバ風景Ⅰ	1917	鉛筆、水彩・紙	26.0×20.3
37	ジュル・パスキン	マルセイユの港	1920	コンテ、水彩・紙	20.0×26.0
38	ジュル・パスキン	マルティグ風景	1921	カーボン紙、水彩・紙	32.1×38.1
39	ジュル・パスキン	アンドレ・サルモンとモンマルトル	1921	油彩・キャンバスに裏打ちされた紙	195.0×129.8
40	ジュル・パスキン	二人のモデル	1924	油彩・キャンバス	99.0×80.0
41	ジュル・パスキン	チュニジアの風景	1921	カーボン紙・紙	20.3×24.8
42	ジュル・パスキン	チュニジア	1924	ペン、インク・紙	16.5×20.1
43	ジュル・パスキン	奥様、お食事の用意ができました		水彩、墨・紙	21.0×27.2
44	ジュル・パスキン	モロッコの風景	1928	カーボン紙・紙	49.2×62.2
45	ジュル・パスキン	花束をもつ少女	1925-26	油彩・キャンバス	80.0×64.0
46	ジュル・パスキン	白いリボンの少女	1928	油彩・キャンバス	92.0×73.0
47	ジュル・パスキン	シンデレラ	1930	エッチング・紙（5点組中の2点）	35.0×25.1
48	ジュル・パスキン	かみあわない下手なジャズ	1928	ソフトグランドエッチング・紙	22.9×27.9
49	ジュル・パスキン	パスキン氏をいたぶる意地悪な人々	1930	パステル、ペン、インク、鉛筆・紙	61.0×47.0
50	ジュル・パスキン	恋人たち	1930	油彩・板	46.0×38.0
51	ジュル・パスキン	三人の裸婦	1930	油彩・キャンバス	81.0×100.0
52	パール・クローグ	ローブをまとったテレーズ	1925	油彩・キャンバス	92.0×60.0
53	キスリング	サン=ジェルマン風景	1914	油彩・キャンバス	92.0×73.0
54	キスリング	オランダの娘	1928	油彩・キャンバス	100.4×73.4
55	アンドレ・ドラン	マルティグ風景	1908	油彩・キャンバス	100.0×81.0
56	アンドレ・ドラン	裸婦	1928-29頃	油彩・キャンバス	92.4×72.4
57	マルク・シャガール	パリの空に花	1967	油彩・キャンバス	148.0×140.0
58	ハイム・スーチン	祈る男	1921頃	油彩・キャンバス	94.0×51.0
59	キース・ヴァン・ドンゲン	アガーテ・ヴェゲリフ・グラヴェスタインの肖像	1909	油彩・キャンバス	100.0×81.0
60	キース・ヴァン・ドンゲン	ボドリ・ダッソン侯爵夫人	1919	油彩・キャンバス	130.5×97.5
61	モーリス・ユトリロ	モンルージュの通り(セーヌ)	1910頃	油彩・キャンバス	57.5×79.3
62	モーリス・ユトリロ	シセイ・アン・モルヴァン	1914頃	油彩・ボード	46.0×60.0
63	マリー・ローランサン	婦人像	1920	油彩・キャンバス	73.5×61.0
64	藤田 嗣治	家族の肖像	1954	油彩・ボード	17.5×12.5

＊寸法は縦×横

現代ガラスのオノマトペ

Onomatopoeia in Contemporary Glass

3月23日[土]～ 6月16日[日]
展示室A 2階

ガラスの多彩な表現は、わたしたちに様々なイメージを呼び起こします。「ゆらゆら」「くねくね」「もぐもぐ」といったオノマトペ（擬音語、擬態語）をキーワードに、創造性豊かな現代ガラスの世界を探ります。

No. 作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
1 ロナルド・ペネル	海の絵	不明	ガラス・宙吹き、エングレーヴィング	18.7×15.8×15.0
2 フランツ・クサヴァ・ヘラー	バルーンⅢ	1994	クリスタルガラス・宙吹き、カット	46.0×46.0
3 カーティス・ブロック	からみあう石のグループ	1997	ガラス・宙吹き、カット、研磨、サンドブラスト、エッチング	34.0×17.0×55.8
4 ベルト・フレインス	丸める	1988	ガラス・板ガラス変形	43.5×16.0×12.5
5 ベルト・フレインス	張る	1987	ガラス、ワイヤー・板ガラス変形	29.0×30.0×9.0
6 アンドルー・マグダンツ	三つの堆積	1988	ガラス・宙吹き、カット、サンドブラスト、エナメル焼付	19.5×50.5
7 アンドルー・マグダンツ	バベルの塔	1987	ガラス・宙吹き、カット、サンドブラスト、エナメル焼付	12.5×56.5
8 フィン・リュンゴー	陸、海そして空	1982	ガラス・エナメル彩	20.5×26.0（3点組）
9 フィン・リュンゴー	おもちゃの国 I，II	1982	ガラス・型吹き、エナメル彩	8.5×19.5（2点組）
10 プレストン・シングレタリー	なぐりがきの花瓶	1990	ガラス・宙吹き、被せガラス、溶着	27.6×50.1
11 プレストン・シングレタリー	なぐりがきの花瓶	1990	ガラス・宙吹き、被せガラス、溶着	25.5×54.5
12 淡島 雅吉	ビトレーナ バレリーナ	不明	ガラス、鉄	6.5×14.2×37.1
13 淡島 雅吉	ビトレーナ バレリーナ	不明	ガラス、鉄	5.0×19.0×35.7
14 ヤロスラフ・マトウシュ	露Ⅳ	1994	ガラス、ワイヤー・キャスト、部分的にカット	40.0×26.8
15 瀧川 嘉子	つわものどものゆめのあと	2002(平成14)	ガラス、鉛筆	10.0×52.0×29.0
16 ヴィリ・ピストル	オブジェⅡ1982年	1982	ガラス・溶融カット技法、エッチング	23.0×23.0×9.0
17 ダナ・ザーメチニーコヴァ	空中浮揚	1985	ガラス・多層板ガラス、サンドブラスト、エナメル彩、エングレーヴィング	11.0×40.1×40.3
18 オーサ・ブランド	カイト	1988	ガラス・スランピング、着色、サンドブラスト	150.0×55.0
19 ヤン・ゾリチャック	天上の花 8077	1988	ガラス・エナメル彩、溶接、カット、研磨	8.0×22.5×50.0
20 西 悦子	レースのボウル	1994(平成6)	ガラス・パート・ド・ヴェール	30.0×30.5×26.8
21 岩田 久利	台付流雲壺	1993(平成5)	ガラス・宙吹き	26.5×32.0
22 岩田 藤七	貝	1974(昭和49)	ガラス・宙吹き	16.0×39.0×34.5
23 大木 泉	ウェイヴ	1991(平成3)	ガラス・板ガラスの積み重ね	53.0×19.8×27.7
24 正木 友梨	ガラスと光の造形Ⅳ	1990(平成2)	板ガラス・サンドブラスト、研磨	68.0×25.8×48.0
25 塩谷 直美	嵐の予感	2001(平成13)	ガラス・キャスト、サンドブラスト、研磨	40.0×14.0×66.0
26 扇田 克也	アメノヒモアル	1991(平成3)	ガラス・キャスト、サンドブラスト	32.0×28.0×25.5
27 ベルト・フレインス	石と水と柔らかなガラス	1987	ガラス、御影石・スランピング	49.0×49.0×27.5
28 スタニスラフ・リベンスキー／ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ	頭 89	1989	ガラス・キャスト	58.0×20.0×70.0
29 スタニスラフ・リベンスキー／ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ	球体の中の立方体	1979-1990	ガラス・キャスト、研磨	径40.0
30 イヴァナ・シュラームコヴァ	ダチョウ	2002	ガラス・キャスト、研磨	35.0×100.0×152.5
31 岩田 糸子	躍ぶ	1986(昭和61)	ガラス・宙吹き	23.0×72.5 25.0×69.5 23.0×56.0
32 小林 貢	青のコンポジション	1993(平成5)	ガラス	55.5×14.2×27.2

33	ウィリアム・モリス	石の器	1985	ガラス・被せガラス、粉末ふりかけ、糸を用いて文様を施し後に引き抜く	15.0×37.0×46.0
*寸法は径×高さ、または幅×径、幅×奥行×高さ					

片岡球子「面構」シリーズ

The “Countenance” Series by Kataoka Tamako

3月23日[土]～ 6月16日[日]
展示室A 2階

令和5年度新たに収蔵した作品《面構 一休さま》などを紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	片岡 球子	祈禱の僧	1942(昭和17)	紙本彩色	160.0×109.0
2	片岡 球子	葛飾北斎	1976(昭和51)	紙本彩色	116.0×79.0
3	片岡 球子	面構 一休さま	2000(平成12)	紙本彩色	150.3×300.5
4	片岡 球子	面構 浮世絵師歌川国芳と 浮世絵研究家鈴木重三先生	1988(昭和63)	紙本彩色	181.0×350.0
					*寸法は縦×横 *No. 3は令和5年度新収蔵品

この一点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

3月23日[土]～ 5月12日[日]
展示室A 2階

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	山口 蓬春	向日葵	1955(昭和30)年	紙本彩色	82.3×60.0
					*寸法は縦×横 *各展覧会 すべて当館蔵



主催=北海道新聞社、HTB 北海道テレビ、
北海道立近代美術館
後援=北海道、札幌市、札幌市教育委員会

北海道立近代美術館

※本リストの掲載順と展示順は必ずしも一致しません。

2023 4.22^{sat.} → 6.11^{sun.}

※一部、出品作品の展示替えを行います。
[前期]4月22日(土)→5月21日(日)
[後期]5月23日(火)→6月11日(日)

no.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
Ⅰ 「リアル」をめぐる					※寸法は、平面：縦×横。 立体：高さ×幅×奥行	
1	野田弘志 Hiroshi Noda	TOKIJIKU (非時) VII Pyramid Timeless VII: Pyramid	1992	油彩、キャンバス	162.1 × 130.3	一番星画廊
2	磯江毅 Tsuyoshi Isoe	収穫 Harvest	1998	油彩	78.0 × 92.0	長谷川町子美術館
3		鮭 Salmons	1999-2001	油彩、板	145.5 × 89.4	長谷川町子美術館
4	深堀隆介 Riusuke Fukahori	方舟 The Ark	2009	骨董机、超難黄変エポキシ樹脂、 アクリル	29.0 × 60.0 × 38.0	作家蔵
5		金魚酒 命名 黒蛾 Kingyo-sake name: Kokuga	2020	木曾檜一合枿、超難黄変エポキシ 樹脂、アクリル	5.5 × 8.5 × 8.5	個人蔵
6		雪花 Sekka	2020	木桶、超難黄変エポキシ樹脂、 アクリル	24.0 × 径35.0	作家蔵
7		金魚酒 命名 鈴夏 Kingyo-sake name: Suzunatsu	2021	木曾檜一合枿、超難黄変エポキシ 樹脂、アクリル	5.5 × 8.5 × 8.5	個人蔵
8	須田悦弘 Yoshihiro Suda	雑草 Weeds	2023	木に彩色		
9	金昌烈 Kim Tschang-Yeul	水滴 J.T. 83001 Water Drop J. T. 83001	1973-83	油彩、キャンバス	182.0 × 227.5	いわき市立美術館
10	上田薫 Kaoru Ueda	なま玉子 B Raw Egg B	1976	油彩、アクリル、キャンバス	227.0 × 182.0	東京都現代美術館
11		ジェリーにスプーン C Jelly and Spoon C	1990	油彩、キャンバス	130.3 × 162.1	埼玉県立近代美術館
12	マーク・クイン Marc Quinn	世界の始まり The World's Beginning	2010	油彩、キャンバス	168.5 × 261.5	タグチアートコレクション ／タグチ現代芸術基金
13	高松次郎 Jiro Takamatsu	遠近法のテーブル Table in Perspective	1967	ラッカー、木	110.0 × 145.0 × 210.0	東京都現代美術館
14		遠近法のベンチ Perspective Bench	1967	シルクスクリーン、紙	58.0 × 76.5	いわき市立美術館
15		遠近法のマラソン Perspective Marathon	1967	シルクスクリーン、紙	60.5 × 74.5	いわき市立美術館
16	伊藤隆介 Ryusuke Ito	自然主義 Naturalism	2016／2019	CCDカメラ、ビデオプロジェク ター、モーター、照明、ミクスト メディア		作家蔵
17	デイヴィッド・ホックニー David Hockney	グランド・キャニオンの北側を見る 1982年9月 The Grand Canyon Looking North, Sep. 1982	1982	フォト・コラージュ (写真、印画紙)	114.0 × 252.7	北海道立帯広美術館
18		京都 1993年4月24日 Kyoto, 24 April 1993	1993	カラー・レーザー・プリント、紙	43.2 × 160.2	北海道立帯広美術館
19	ベルト・フレインス Bert Frijns	石と水と柔らかなガラス Soft Glass with Stone and Water	1987	ガラス：スランピング、御影石	27.5 × 49.0 × 49.0	北海道立近代美術館
20		張る Strain	1987	ガラス：板ガラス変形、ワイヤー	9.0 × 29.0 × 30.0	北海道立近代美術館
21		丸める Roll	1988	ガラス：板ガラス変形	12.5 × 43.5 × 16.0	北海道立近代美術館
22	三島喜美代 Kimiyo Mishima	無題 Untitled	1973	陶、シルクスクリーン	12.3 × 28.7 × 28.2 ほか (3点 組)	北海道立近代美術館
23	マリリン・レヴィン Marilyn Levine	無題 Untitled	1973	陶	11.0 × 16.4 × 10.0	北海道立近代美術館
Ⅱ 幻惑のオプ・アート						
24	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor Vasarely	GOTHA-NEG	1958-78	アクリル、キャンバス	195.0 × 131.0	北海道立近代美術館
25		HEGYES	1964	コラージュ、アクリル、紙	67.0 × 67.0	北海道立近代美術館
26		ゲシュタルト・ゼルド Gestalt-zöld	1976	アクリル、キャンバス	238.0 × 223.5	北海道立近代美術館
27		BATTOR	1977	アクリル、キャンバス	157.0 × 85.0	北海道立近代美術館
28	ブリジット・ライリー Bridget Riley	アレスト I Arrest I	1965	乳剤、綿キャンバス	178.0 × 174.5	北海道立近代美術館
29		VIVA	1985	油彩、リネン	156.5 × 129.5	北海道立近代美術館
30	ヤーコブ・アガム Yaacov Agam	深海 (1) Depth of the Sea (1)	1971	リトグラフ、アクリル板、紙	26.2 × 38.0	北海道立近代美術館
31		ギャラクシー・フェスティバル Galaxy Festival	1980	リトグラフ、アクリル板、紙	35.5 × 35.5	北海道立近代美術館
32		リバティ No. 5 Liberty No. 5	1980	リトグラフ、アクリル板、紙	35.5 × 35.5	北海道立近代美術館

no.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
33	ヤーコブ・アガム Yaacov Agam	『記憶』時の歩み―歴史 Memories: Step of Time-History	1989	リトグラフ、アクリル板、紙	27.3 × 32.8	北海道立近代美術館
34		ふたりだけの小さな秘密 Intimate Little Secret	1989	リトグラフ、アクリル板、紙	27.5 × 34.6	北海道立近代美術館
35		ピカソ礼賛 Homage to Picasso	1990	リトグラフ、アクリル板、紙	29.8 × 29.8	北海道立近代美術館
Ⅲ 交錯するイメージ						
36	歌川国芳 Kuniyoshi Utagawa	一つ頭絵尽 One Heads Making Any Men	[前期展示] 天保頃 (1830-44)	大判錦絵 (二枚揃)		小樽芸術村 (公益財団法人似鳥文化財団)
37		みかけハコハるがとんだいゝ人だ Scary but Really Good Sort	[前期展示] 弘化4-嘉永5 (1847-52)	大判錦絵		小樽芸術村 (公益財団法人似鳥文化財団)
38		としよりのよふな若い人だ Look like Old but also Young	[後期展示] 弘化4-嘉永5 (1847-52)	大判錦絵		小樽芸術村 (公益財団法人似鳥文化財団)
39		人をばかにした人だ Making Fools of the Others	[後期展示] 弘化4-嘉永5 (1847-52)	大判錦絵		小樽芸術村 (公益財団法人似鳥文化財団)
40		人かたまつて人になる Face Packing Men's Body Down	[後期展示] 弘化4-嘉永5 (1847-52)	大判錦絵		小樽芸術村 (公益財団法人似鳥文化財団)
41	マウリッツ・コルネリス・エッシャー Maurits Cornelis Escher	昼と夜 Day and Night	1938	木版、紙	39.3 × 67.7	いわき市立美術館
42		めぐり合い Encounter	1944	リトグラフ、紙	34.0 × 46.5	いわき市立美術館
43		登って降りて Up and Down	1947	リトグラフ、紙	50.5 × 20.5	いわき市立美術館
44		婚姻の絆 Bonds of Union	1956	リトグラフ、紙	25.8 × 33.6	いわき市立美術館
45		滝 Waterfall	1961	リトグラフ、紙	38.0 × 29.8	いわき市立美術館
46	ルネ・マグリット René Magritte	『マグリットの落とし子たち』マ・メール・ロワ (マザー・ゲース) The Found Children of Magritte: Mother Goose	刊行:1968	リトグラフ、紙	44.5 × 60.0	北海道立近代美術館
47		『マグリットの落とし子たち』自由を奪われた美女 The Found Children of Magritte: The Fair Captive	刊行:1968	リトグラフ、紙	30.5 × 45.5	北海道立近代美術館
48		『マグリットの落とし子たち』魅せられた領域 :大鳥は宝石島の鳥である… The Found Children of Magritte: The Enchanted Domain: The Big Birds Are Those of Treasure Island...	刊行:1968	リトグラフ、紙	31.5 × 48.0	北海道立近代美術館
49	サルバドール・ダリ Salvador Dalí	ガラ建築物 Gala Architecture	1947	ペン、インク、カードボード	30.0 × 31.0	公益財団法人諸橋近代美術館
50		アン・ウッドワード夫人の肖像 Portrait of Mrs. Ann Woodward	1953	油彩、キャンバス	85.7 × 61.0	公益財団法人諸橋近代美術館
51		ダンス (ロックンロール) :セブン・ライブリー・アーツより The Dance (Rock'n Roll): The Seven Lively Arts	1957頃	油彩、キャンバス	84.0 × 114.0	公益財団法人諸橋近代美術館
52	ヴィック・ムニーズ Vik Muniz	自画像 悲しすぎて話せない バス・ヤン・アデルによる Self-Portrait, I'm Too Sad to Tell You, after Bas Jan Ader	2003	クロモジェニック・プリント	101.4 × 123.7	タグチアートコレクション ／タグチ現代芸術基金
53		ポーラ美術館 睡蓮の池 クロード・モネによる Pola Museum of Art (Water Lily Pond, after Claude Monet)	2016	デジタルCプリント	180.3 × 185.0	AKATSU Collection, Tokyo
54	森村泰昌 Yasumasa Morimura	美術史の娘、王女B A Daughter of Art History, Princess B	1990	カラー写真、透明メディウム	210.0 × 160.0	いわき市立美術館
55		寒雀寒鳩 (御舟) Dead Sparrows and Dove (Gyoshu)	1990	カラー写真プリント、印画紙	132.9 × 97.8	北海道立帯広美術館
56		野菜涅槃 (若冲) Vegetable Parinirvāna (Jakuchu)	1990	カラー写真プリント、印画紙	185.3 × 100.1	北海道立帯広美術館
57	福田美蘭 Miran Fukuda	湖畔 Lakeside	1993	アクリル、カラーコピー、パネル	130.3 × 162.0	埼玉県立近代美術館
58		黄金の雨に変身したジュピターを迎えるダナエ Danae Receiving Jupiter as a Golden Shower	1994	アクリル、ティールバッグ、パネル	227.2 × 181.8	埼玉県立近代美術館
59		F100号の肖像画 Portrait in F100	2000	アクリル、木枠、キャンバス	162.0 × 130.3	作家蔵
60		婦人像 Woman Figure	2000	アクリル、パネル、額縁、CPU (コンピューター)、モーター、リニアレール	118.7 × 108.5 × 14.7	作家蔵
61	福田繁雄 Shigeo Fukuda	アンコール Encore	1975	木工	34.0 × 32.0 × 50.0	福田繁雄デザイン館
62		GOOD MORNING	1978	木工	33.0 × 32.0 × 29.0	福田繁雄デザイン館
63		ランチはヘルメットをかぶって… Lunch with a Helmet on...	1987	ステンレス	108.0 × 186.0 × 70.0	福田繁雄デザイン館
Ⅳ デジタル・トリック						
64	フジ森 Fujimori	花びんと鳥かご Flower Pot and Bird Cage	2014／2022	チタン、鉄、プロジェクター、PC		作家蔵
65		タンポポ Tanpopo	2022	キネクト、プロジェクター、PC		作家蔵
66		手回しオルガン Hand Organ	2019／2023	キネクト、ディスプレイ、PC 音楽: リュクサンプール公園		作家蔵

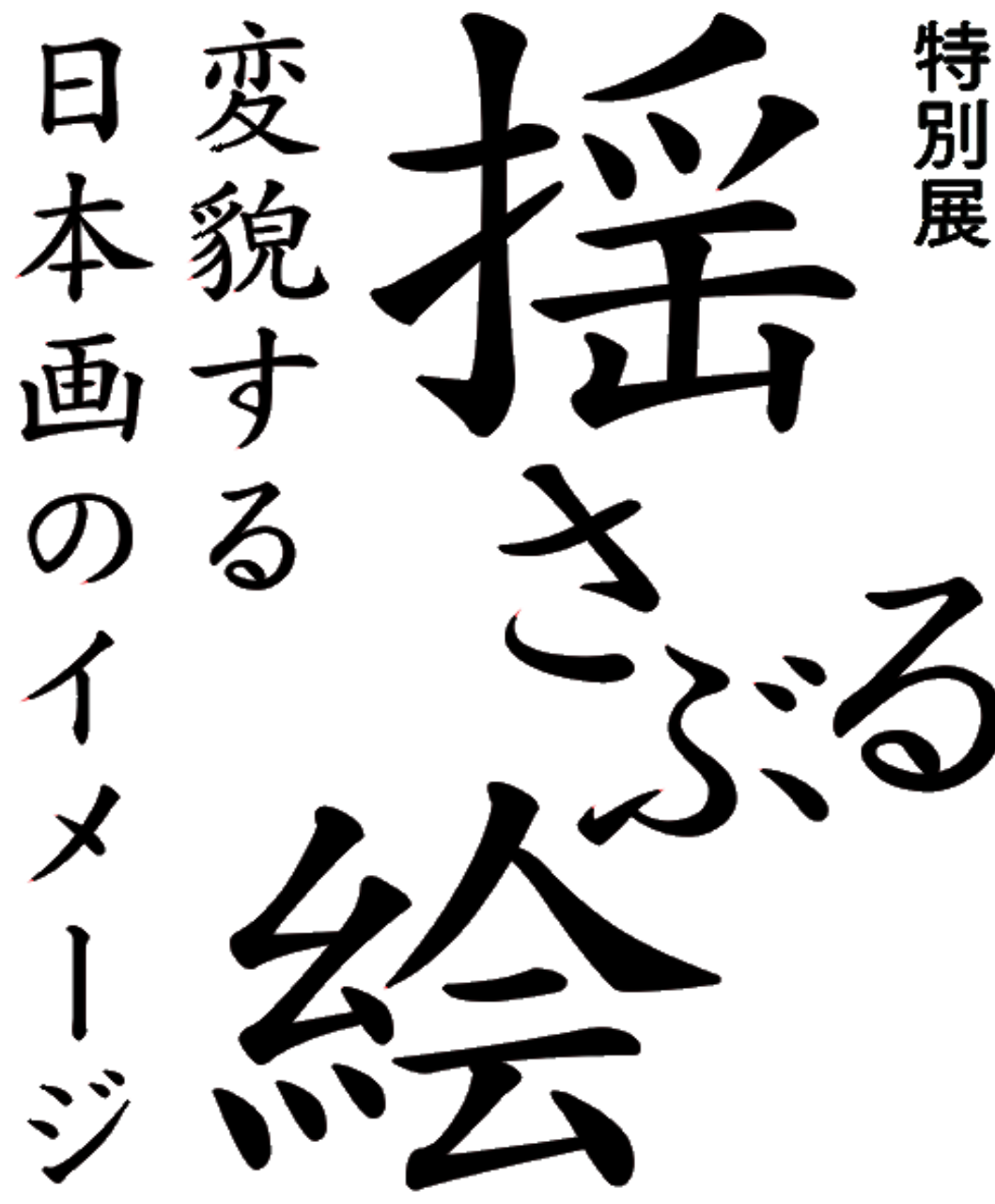
主催：北海道立近代美術館 後援：札幌市、札幌市教育委員会
協力：豊橋市美術博物館 助成：芸術文化振興基金



2023 年 9 月 16 日 (土) - 11 月 12 日 (日)

北海道立近代美術館

HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART



no.	作家名	作品名	制作年	材質形状	寸法 (c m)	所蔵
生を見つめて						
1	渡辺 學	鯨を運ぶ	1961 (昭和36)	紙本着彩・箔	162.2×130.5	豊橋市美術博物館
2	大森運夫	ふきだまりⅡ	1962 (昭和37)	紙本着彩、額	181.4×130.3	豊橋市美術博物館
3	三上 誠	灸点輪廻・黄土	1966 (昭和41)	紙本着彩、額	151.3×92.5	豊橋市美術博物館
4	星野眞吾	人体による作品	1966 (昭和41)	紙本着彩・箔、額	214.2×183.0	豊橋市美術博物館
5	水谷勇夫	獲物の顔 No. 3	1964 (昭和39)	紙本着彩、額	162.0×130.0	豊橋市美術博物館
6	高畑郁子	ショー	1964 (昭和39)	紙本着彩、額	122.4×244.4	豊橋市美術博物館
7	菊川多賀	ひとつの記録	1977 (昭和52)	紙本着彩、額	180.5×281.0	北海道立近代美術館
8	菊川多賀	無量華Ⅰ	1979 (昭和54)	紙本着彩、額	180.5×187.5	北海道立近代美術館
素材と造形の探求						
9	大野倅嵩	金烏・蟾蜍	1972 (昭和47)	紙本着彩・麻布貼付、額	119.0×271.0	北海道立近代美術館
10	下村良之介	27のパターン (部分)	1963 (昭和38)	紙・紙粘土・着彩	182.5×364.9	豊橋市美術博物館
11	不動茂弥	祝殿	1966 (昭和41)	麻布・セメント・砂・着彩・和紙他、額	121.4×121.4	豊橋市美術博物館
12	佐藤多持	水芭蕉曼陀羅・白68	1983 (昭和58)	紙本墨画・淡彩、屏風 (六曲一隻)	163.0×546.0	豊橋市美術博物館
自然との孤高の対話						
13	平川敏夫	雪烟	1962 (昭和37)	紙本着彩、額	72.7×116.7	豊橋市美術博物館
14	平川敏夫	樹淵	1963 (昭和38)	紙本着彩、額	178.0×270.0	豊橋市美術博物館
15	平川敏夫	樹焰	1964 (昭和39) 頃	紙本着彩、額	90.9×65.2	豊橋市美術博物館
16	丸木位里	房総の海	1970 (昭和45)	紙本墨画、額	78.0×114.0	豊橋市美術博物館
17	岩橋英遠	虹輪 (南溟を翔る)	1969 (昭和44)	紙本着彩、額	182.0×105.8	北海道立近代美術館
18	岩橋英遠	虹輪 (来迎)	1969 (昭和44)	紙本着彩、額	182.0×105.0	北海道立近代美術館
19	岩橋英遠	虹輪 (極圏を飛ぶ)	1969 (昭和44)	紙本着彩、額	181.5×105.8	北海道立近代美術館
20	岩橋英遠	彩雲	1979 (昭和54)	紙本着彩、額	149.8×210.5	北海道立釧路芸術館

21	羽生 輝	北の浜辺(オホーツク)	1999（平成11）	板・着彩、額	227.3×181.8	北海道立釧路芸術館
----	------	-------------	------------	--------	-------------	-----------

反骨の画家—中村正義と片岡球子

22	中村正義	妓女	1962(昭和37)	紙本着彩、額	227.0×162.0	豊橋市美術博物館
23	中村正義	男と女	1963（昭和38）	紙本着彩、額	162.0×226.5	豊橋市美術博物館
24	中村正義	源平海戦絵巻 第二図（海戦）	1964（昭和39）	紙本着彩、額	212.0×334.0	東京国立近代美術館
25	中村正義	源平海戦絵巻 第三図（玉楼炎上）	1964（昭和39）	紙本着彩、額	212.5×334.0	東京国立近代美術館
26	中村正義	顔	1973（昭和48）頃	紙本着彩、額	45.3×37.7	豊橋市美術博物館
27	中村正義	顔	1975（昭和50）	紙本着彩、額	44.5×22.5	豊橋市美術博物館寄託 小松コレクション
28	中村正義	顔	1976（昭和51）	紙本着彩、額	31.6×22.5	豊橋市美術博物館寄託 小松コレクション
29	中村正義	顔	1976（昭和51）	紙本着彩、額	33.2×24.2	豊橋市美術博物館寄託 小松コレクション
30	中村正義	うしろの人	1977（昭和52）	紙本着彩、額	162.1×130.3	豊橋市美術博物館
31	片岡球子	桜島の夜	1962(昭和37)	麻本着彩・箔、額	188.0×262.0	北海道立近代美術館
32	片岡球子	阿波風景	1963（昭和38）	麻本着彩、額	187.0×251.0	北海道立近代美術館
33	片岡球子	山（富士山）	1964（昭和39）	麻本着彩、額	259.0×182.0	北海道立近代美術館
34	片岡球子	死火山（妙義山）	1966（昭和41）	麻本着彩・箔、額	164.0×262.0	北海道立近代美術館
35	片岡球子	面構 浮世絵師歌川国芳と 浮世絵研究家鈴木重三先生	1988（昭和63）	紙本着彩、額	181.0×350.0	北海道立近代美術館

逸脱する日本画

36	千住 博	ウォーターフォール	1998（平成10）	雲肌麻紙・岩絵具	227.3×182.0	北海道立釧路芸術館
37	間島秀徳	UNTITLED No.1(NI)	1997（平成9）	雲肌麻紙・水墨・ア クリル絵具・岩胡粉	250.0×105.0	北海道立釧路芸術館
38	加藤良造	山水境	2008（平成20）	紙本着彩、額	194.0×131.3	豊橋市美術博物館
39	漆原夏樹	彼女の風景	2014（平成26）	紙本着彩、額	194.0×130.0	豊橋市美術博物館
40	田中 武	裏側（十六恥漢図シリーズ）	2011（平成23）	和紙・岩彩・水彩・ 染料他、額	194.0×131.0	豊橋市美術博物館
41	高村総二郎	0 3 0 6	2014（平成26）	紙本着彩	192.0×150.0	豊橋市美術博物館

資料

	彼者誰時の肖像 —パンリアル美術協会結成への胎動—	1988(昭和63）年			豊橋市美術博物館
	『美術手帖』202号	1962（昭和37）年4月			北海道立近代美術館
	『三彩』204号	1966（昭和41）年8月			北海道立近代美術館
	『芸術新潮』202号	1966（昭和41）年10月			北海道立近代美術館
	『みづゑ』742号	1966（昭和41）11月			北海道立近代美術館

アール・ヌーヴォー

自然を映しだすガラス

Art Nouveau Glass Works: Reflections of Nature



2023年9月16日[土]～11月12日[日]
北海道立近代美術館 展示室A 2階

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
1	ガレ工房	草花文ランプ	1904-14年頃	ガラス・被せガラス、エッチング	29.0×60.0
2	フランソワ・ウジェーヌ・ルソー	鯉文花器	1884年頃	ガラス・型吹き、金箔封入、金属酸化物による発色、クラクレ	11.6×8.3×29.2
3	フランソワ・ウジェーヌ・ルソー	菊文鉢	1880年代	ガラス・金属酸化物による斑文装飾、金箔封入、エッチング、カット	31.0×20.2×13.6
4	フランソワ・ウジェーヌ・ルソー	蓋付水差し	1880年頃	ガラス、銀・金属酸化物による斑文装飾	15.6×12.9×27.4
5	フランソワ・ウジェーヌ・ルソー	竹筒形花器	1880年頃	ガラス・金箔封入、型吹き、金属酸化物による斑文装飾	5.0×18.8
6	フランソワ・ウジェーヌ・ルソー	松に美人図花器	1885年頃	ガラス・型吹き、エナメル彩	18.0×10.0×26.7
7	フランソワ・ウジェーヌ・ルソー	象形花器	1880年代	ガラス・型吹き、クラクレ	17.7×13.0×28.0
8	エスカリエ・ド・クリスタル	ゲンゴロウ文花器	1870年代	ガラス・型吹き、エングレーヴィング、エナメル彩、金彩	14.5×50.5
9	オーギュスト・ジャン	帯文花器	1880年頃	ガラス・宙吹き、エナメル彩、金彩	18.0×18.9
10	ブルグン、シュヴェーラー工房	鳥に葉文手付瓶	19世紀後半	ガラス・エナメル彩、金彩	11.2×9.8×24.0
11	ブルグン、シュヴェーラー工房	人物文双耳花器	19世紀後半	ガラス・被せガラス、金箔封入、エッチング	16.5×9.8×22.3
12	エミール・ガレ	鯉文花器	1878年頃	ガラス・型吹き、エナメル彩	22.8×28.5
13	エミール・ガレ	花文花器	1880年頃	ガラス・マルケトリー、金属酸化物による斑文装飾、金彩、エナメル彩	19.0×19.0×15.0
14	エミール・ガレ	貝殻湖水文花器	1889年頃	ガラス・エナメル彩	14.6×18.4
15	エミール・ガレ	木の美文鉢	1890年頃	ガラス・エッチング、エナメル彩	12.7×9.9
16	エミール・ガレ	昆虫文双耳花器	1880年代	ガラス・エナメル彩、金彩、金箔溶着	12.8×22.7
17	エミール・ガレ	カマキリ文皿	1880年代	ガラス・宙吹き、エナメル彩、金彩	11.7×6.8×3.7
18	エミール・ガレ	南瓜文蓋物	1900年頃	ガラス・型吹き、エッチング、エナメル彩、金彩	8.9×14.9×13.4
19	エミール・ガレ	アザミ文リキュールセット	1880年代	ガラス・宙吹き、型吹き、エナメル彩、金彩	瓶10.1×7.8×22.6 グラス4.5×9.3 皿31.2×4.6
20	エミール・ガレ	虫文花器	1889年	ガラス・被せガラス、型吹き、エングレーヴィング	8.5×11.0
21	エミール・ガレ	百合文香水瓶	1890年代	ガラス・被せガラス、エッチング、エングレーヴィング	10.5×13.3
22	エミール・ガレ	蓮文花器	1897-98年頃	ガラス・被せガラス、金属酸化物による斑文装飾、エッチング、エングレーヴィング	12.7×32.0
23	エミール・ガレ	花に蝶文ランプ	1900年頃	ガラス・被せガラス、型吹き、エッチング	30.5×8.8×25.7
24	エミール・ガレ	蜻蛉文花器	1900-04年頃	ガラス・被せガラス、エッチング	8.5×6.2×16.8
25	エミール・ガレ	鳥文蓋物	1900-05年頃	ガラス・被せガラス、エッチング	9.5×15.0
26	エミール・ガレ	カトレア文花器	1900年頃	ガラス・被せガラス、金箔封入、型吹き、エッチング、エングレーヴィング	12.0×12.0
27	エミール・ガレ	シクラメン文碗	1898-1900年頃	ガラス・被せガラス、型吹き、マルケトリー、エングレーヴィング	9.9×10.9
28	エミール・ガレ	雪中竹に鷹文花器	1897-1900年頃	ガラス・被せガラス、型吹き、エッチング、金彩	15.3×12.0×31.5
29	エミール・ガレ	蜂文花器のためのデッサン	1890年頃	インク・紙	81.0×77.0
30	エミール・ガレ	蜂文花器	1900年頃	ガラス・型吹き、エッチング、エナメル彩、金彩	10.8×24.7

31	エミール・ガレ	浜木綿文花器	1900年頃	ガラス・エッチング、金彩、エナメル彩	9.5×31.0
32	エミール・ガレ	紫陽花文花器	1890年代	ガラス・被せガラス、エッチング	12.0×33.5
33	エミール・ガレ	紫陽花文花器	1900年頃	ガラス・被せガラス、型吹き、エッチング	11.4×29.0
34	J.J. グランヴィル	生きている花々	初版1847年	印刷、手彩色・紙	20.5×15.3×2.3
35	エミール・ガレ	蓮文花器	1900年	ガラス・被せガラス、型吹き、エッチング、エングレーヴィング	15.0×18.7
36	エミール・ガレ	ガラス工場風景文花器	1900年	ガラス・被せガラス、金箔封入、型吹き、エッチング、エングレーヴィング	44.5×63.0
37	ガレ工房	洋蘭文花器	1906-14年	ガラス・被せガラス、型吹き、エッチング	14.3×35.2
38	ガレ工房	木の実文花器	1920年代	ガラス・被せガラス、エッチング	25.8×18.3
39	ガレ工房	湖水風景文花器	1904-14年頃	ガラス・被せガラス、型吹き、エッチング	21.0×51.0
40	ガレ工房	スイセン文花器	1906-14年頃	ガラス・被せガラス、型吹き、エッチング	13.3×52.6
41	ガレ工房	こぶし文扁壺	1904-14年頃	ガラス・被せガラス、エッチング	19.5×34.0×43.0
42	ガレ工房	プラム文花器	1925-30年頃	ガラス・型吹き、エッチング	27.2×32.5
43	ガレ工房	湖水風景文花器	1920年代	ガラス・被せガラス、型吹き、エッチング	31.5×67.0
44	ドーム	鷺に睡蓮文三耳花器	1894年頃	ガラス・型吹き、エッチング、エナメル彩、金彩	12.1×11.4×15.6
45	ドーム	ロレーヌ十字文グラス	1893年頃	ガラス・エッチング、エナメル彩、金彩	9.5×10.5
46	ドーム	鷺に睡蓮文鉢	1890年頃	ガラス・エッチング、金彩、エナメル彩	22.1×13.5
47	ドーム	銀台付やどり木文コンポート	1894年頃	ガラス、銀・エッチング、金彩	14.0×14.5×8.5
48	ドーム	銀縁飾草文大鉢	1894年頃	ガラス、銀・エッチング、金彩	23.0×11.5
49	ドーム	クロッカス文花器	1904-14年頃	ガラス・ヴィトリフィカシオン、被せガラス、型吹き、エッチング、エングレーヴィング	12.3×30.2
50	ドーム	草の実文花器	1900年頃	ガラス・エナメル彩、ヴィトリフィカシオン、被せガラス、型吹き、エッチング、エナメル彩	9.5×35.0
51	ドーム	マロニエ文花器	1907-10年頃	ガラス・ヴィトリフィカシオン、被せガラス、型吹き、エッチング	15.0×36.5
52	ドーム	あざみ文花器	1900年頃	ガラス・ヴィトリフィカシオン、被せガラス、型吹き、エッチング、エングレーヴィング	14.0×50.7
53	ドーム	孔雀文花器	1914年頃	ガラス・ヴィトリフィカシオン、被せガラス、エッチング、色ガラス溶着	12.5×18.5
54	ルグラ工房	草花文花器	1914年頃	ガラス・被せガラス、エナメル彩、エッチング	17.0×66.0
55	フランスの工房	雁にあやめ文花器	19世紀後半	ガラス・エナメル彩	15.0×31.2×15.5
56	フランスの工房	花文花器	1900年頃	ガラス・エナメル彩	16.0×36.5
57	ルイス・コンフォート・ティファニー	ランプ・きばなふじ	1900-10頃	ガラス、ブロンズ、銅	56.0×79.0
58	ルイス・コンフォート・ティファニー	つる草文花器	1918年頃	ガラス・虹彩ガラス、型吹き	17.8×34.7
59	ルイス・コンフォート・ティファニー	ランプ	1910-20年頃	ガラス・虹彩ガラス、型吹き	20.4×39.5
60	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェエ工房	波状文花器	1900年頃	ガラス・虹彩ガラス	12.0×25.5
61	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェエ工房	花文花器	1900-10年頃	ガラス・エナメル彩、虹彩ガラス	9.5×16.0
62	ヴェルテンバルク金属製品工場	つぼみ形花器	1926年頃	ガラス・虹彩ガラス	16.0×15.5
63	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェエ工房	おだまき形花器	1900年頃	ガラス・虹彩ガラス	21.5×39.5

＊寸法は、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さ、平面作品では画面の縦×横を示した。



アートギャラリー北海道

小川原脩記念美術館コレクション展

The Shu Ogawara Museum of Art Collection: Art Gallery Hokkaido

No.	作品名 資料名	制作年	技法・材質	寸法(特記以外はcm)
Ⅰ シュルレアリスムに傾倒して				
1	植物園	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	38.0×45.5
2	人間の季節	1938(昭和13)年	油彩・キャンバス	38.0×45.5
3	穴居時代	1938(昭和13)年	油彩・キャンバス	38.0×45.5
4	造園地帯	1938(昭和13)年	油彩・キャンバス	38.0×45.5
5	高山生物誌	1938(昭和13)年頃	油彩・キャンバス	38.0×45.5
Ⅱ 戦時下、シュルレアリスムを離れて				
6	男と白鳥	1939(昭和14)年	油彩・キャンバス	145.5×112.1
7	雪	1940(昭和15)年	油彩・キャンバス	154.8×191.2
8	花と鳥	1941(昭和16)年頃	油彩・キャンバス	65.2×53.0
9	婦人像	1942(昭和17)年	油彩・キャンバス	45.5×60.6
特集展示：戦地でのスケッチ				
10	戦地スケッチ（戦闘機）	1940-42、44年頃	コンテ・紙	24.2×34.8
11	戦地スケッチ（飛行将校）	1940-42、44年頃	鉛筆・紙	43.5×30.0
12	戦地スケッチ（通信兵）	1940-42、44年頃	鉛筆・紙	24.2×33.8
13	戦地スケッチ（B24 20機の爆撃を受く）	1944(昭和19)年	水彩・紙	18.6×29.6
14	戦地スケッチ（泉溪鎮）	1944(昭和19)年	水彩、鉛筆・紙	20.2×29.5
15	スケッチブック Ⅱ（23葉綴）	1944(昭和19)年	鉛筆・紙	15.0×21.0
16	スケッチブック Ⅳ（10葉綴）	1944(昭和19)年	鉛筆・紙	15.0×21.0
Ⅲ 戦後の新たな出発―俱知安を拠点に				
17	宗谷海峡の漁師	1953(昭和28)年	油彩・キャンバス	53.0×80.3
18	シャーマニズムの祭典	1959(昭和34)年	油彩・キャンバス	91.0×72.7
19	ある晴れた日に	1971(昭和46)年	油彩・キャンバス	116.7×91.0
20	群化社会B	1974(昭和49)年	油彩・キャンバス	130.3×162.0
21	巔	1981(昭和56)年	油彩・キャンバス	130.3×192.0
Ⅳ 中国・チベット・インドを訪れて				
22	渡し船―瀉江	1979(昭和54)年	油彩・キャンバス	116.7×91.0
23	水牛の行く街	1980(昭和55)年	油彩・キャンバス	90.9×116.7
24	チベット讃歌	1982(昭和57)年	油彩・キャンバス	130.3×162.0
25	壺売り・鳥	1987(昭和62)年	油彩・キャンバス	91.5×116.5
26	群れ	1990(平成2)年	油彩・キャンバス	72.7×116.7

「特集展示：戦地でのスケッチ」関連資料

資料	美術文化第三回展覧会《飛行機（クレパス）》	1942(昭和17)年	印刷・紙	はがき
資料	美術文化第三回展覧会《満州スケッチ》	1942(昭和17)年	印刷・紙	はがき
資料	美術文化第四回展覧会《戦場》	1943(昭和18)年	印刷・紙	はがき
資料	第五回美術文化協会展《北海道に於ける馬鈴薯の供出》	1944(昭和19)年	印刷・紙	はがき
資料	「黒の高地」衡陽郊外 検閲済 19. 12. 18	1944(昭和19)年	ペン、スタンプ、朱印・紙	22. 5×36. 0
資料	『美術』（1945年2月号）	1945(昭和20)年	印刷・紙	B5判
資料	第二回新日本美術協会展《つはもの》	制作年不詳	印刷・紙	はがき
資料	陸軍大臣賞《ボタン上空に於ける小川部隊の記録》	1943(昭和18)年	印刷・紙	はがき
資料	《陸鷲アッツ島敵陣地猛襲》	1944(昭和19)年	印刷・紙	はがき

* nos. 6, 7, 23, 25 は当館蔵。他はすべて小川原脩記念美術館蔵。

STV創立65周年記念「足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展 ―和の美、再発見。―」□

Rediscovering Japanese Beauty: Modern Nihonga by Japanese painters and Ceramics by Kitaoji Rosanjin from the Adachi Museum of Art Collection

2023年9月16日(土)～11月12日(日)

北海道立近代美術館

主催／北海道立近代美術館、STV札幌テレビ放送、北海道新聞社□

特別協力／公益財団法人足立美術館

協力／S T Vラジオ、日本海テレビ

協賛／一般社団法人 中海・央道湖・大山圏域観光局

[第1部 日本画]

No.	作者	作品名	制作年	材質技法・形状	寸法
1	竹内栖鳳	獅子	1904(明治37)年頃	絹本彩色・軸装	111.5×41.2
2	岸竹堂	春秋瀑布図	1893(明治26)年頃	絹本彩色・軸装(双幅)	各122.7×65.0
3	横山大観	曳船	1901(明治34)年	絹本彩色・軸装	139.4×68.6
4	横山大観	鶉	1925(大正14)年	絹本彩色・軸装	60.3×85.2
5	菱田春草	紫陽花	1902(明治35)年	絹本彩色・額装	54.5×112.2
6	今村紅紫	俵藤太物語絵	1913(大正2)年	紙本墨画淡彩・軸装(双幅)	各150.0×23.3
7	富田溪仙	蓬萊佳境図	1928(昭和3)年	絹本彩色・軸装	142.7×51.4
8	村上華岳	秋景	1919(大正8)年	絹本彩色・額装	57.0×41.5
9	土田麦僊	黄蜀葵	1932(昭和7)年	絹本彩色・軸装	152.0×69.5
10	榊原紫峰	青梅	1918(大正7)年	絹本彩色・額装(二面)	各176.0×114.5
11	川合玉堂	夕月夜	1913(大正2)年	絹本墨画淡彩・軸装	182.6×99.7
12	川合玉堂	鵜飼	1931(昭和6)年	絹本彩色・軸装	54.5×71.7
13	結城素明	畳嶺蔵雲	1930(昭和5)年	絹本彩色・軸装(双幅)	各172.5×83.9
14	西山翠嶂	石榴	1951(昭和26)年	絹本彩色・軸装	91.7×115.0
15	西村五雲	寒梅	1936(昭和11)年	絹本彩色・軸装	64.5×71.8
16	橋本閔雪	雨後之朝	1937(昭和12)年頃	絹本彩色・軸装	86.1×101.7
17	福田平八郎	立葵	1926(大正15)年頃	絹本彩色・軸装	127.3×41.7
18	竹内栖鳳	雨霽	1928(昭和3)年	絹本彩色・屏風(六曲一双)	各171.2×369.0
19	山元春挙	瑞祥	1931(昭和6)年	絹本彩色・屏風(二曲一双)	各213.7×224.8
20	川端龍子	愛染	1934(昭和9)年	絹本彩色・屏風(二曲一隻)	168.2×168.5
21	川端龍子	創夜	1934(昭和9)年	絹本彩色・屏風(二曲一隻)	168.0×168.0
22	安田靫彦	王昭君	1947(昭和22)年	紙本彩色・額装	88.0×55.3
23	小林古徑	楊貴妃	1951(昭和26)年	紙本彩色・額装	164.0×83.0
24	前田青邨	知盛幻生	1969(昭和44)年頃	紙本彩色・額装	54.0×75.0
25	速水御舟	新緑	1915(大正4)年	紙本彩色・額装	125.0×81.0
26	小茂田青樹	蟬	1930(昭和5)年	絹本彩色・額装	39.8×65.8
27	勝田哲	夕べ	1934(昭和9)年	絹本彩色・額装	154.3×177.7
28	山川秀峰	雛鶴三番叟	1937(昭和12)頃年	絹本彩色・軸装	145.0×50.7
29	鐔木清方	紅(明治中期時世粧)	1928(昭和3)年	絹本彩色・軸装	85.0×50.5

30	菊池契月	菖蒲	1935(昭和10)年	紙本彩色・軸装	52.0×67.3
31	土田麦僊	舞妓	1920(大正9)年頃	絹本彩色・軸装	34.2×42.5
32	伊藤小坡	一聲	1931(昭和6)年頃	絹本彩色・軸装	160.3×83.8
33	北野恒富	鷺娘	1930(昭和5)年頃	絹本彩色・軸装	151.8×50.4
34	上村松園	楠公夫人	1944(昭和19)年	絹本彩色・額装	60.0×71.5
35	上村松園	娘深雪	1914(大正3)年	絹本彩色・額装	153.0×84.0
36	上村松園	待月	1944(昭和19)年	絹本彩色・軸装	73.0×86.0
37	上村松園	牡丹雪	1944(昭和19)年	絹本彩色・額装	59.0×71.2
38	伊東深水	春の雪	1948(昭和23)年	絹本彩色・額装	61.0×72.0
39	伊東深水	ペルシャ猫	1957(昭和32)年	紙本彩色・額装	121.3×96.0

第二部 北大路魯山人

No.	作者	作品名	制作年	材質技法・形状	寸法
1	北大路魯山人	於里遍あや免花入	1952(昭和27)年頃	陶器	27.0×31.0
2	竹内栖鳳	魚肥山果熟	1925(大正14)年	絹本彩色・軸装	48.0×55.6
3	北大路魯山人	織部手桶花入	1940(昭和15)年	陶器	42.4×16.7
4	北大路魯山人	白磁金環花入	1954(昭和29)年頃	磁器	16.5×17.5×25.4
5	北大路魯山人	色絵魚絵額皿	1933-34(昭和8-9)年頃	磁器	21.5×21.5
6	北大路魯山人	呉須風貝形鉢	1935(昭和10)年頃	磁器	20.2×29.3×6.6
7	北大路魯山人	青手古九谷風幾何学文飾皿	1933-34(昭和8-9)年頃	磁器	21.5×21.5
8	北大路魯山人	鉄製透置行燈	1930-31(昭和5-6)年頃	鉄、切透し	25.4×26.3×89.0
9	北大路魯山人	電気スタンド	1938-40(昭和13-15)年頃	陶器	18.0×86.5
10	北大路魯山人	瓷印	1927(昭和2)年	磁器	4.2×4.3×4.0
11 12	北大路魯山人	瓷印・磁印	1927(昭和2)年	磁器	4.4×4.4×3.9 (瓷印) 2.4×2.6×2.7(磁印)
13	北大路魯山人	詩書陶器図	1931(昭和6)年	紙本彩色・屏風(六曲一隻)	133.0×293.6
14	北大路魯山人	良寛詩・竹林図屏風	1950-51(昭和25-26)年	紙本墨画墨書・屏風(六曲一双)	各116.0×253.0
15	北大路魯山人	青磁洗形双魚文大鉢	1927(昭和2)年頃	磁器	32.0×10.5
16	北大路魯山人	金襴手方盃	1926(大正15)年頃	磁器	15.4×15.4×9.4
17	北大路魯山人	織部風誰可袖向付 五	1930-31(昭和5-6)年頃	陶器	各10.8×13.5×4.6
18	北大路魯山人	染付バイ向付	1935(昭和10)年頃	磁器	各12.4×17.0×4.1
19	北大路魯山人	古九谷風絵平向 十	1936(昭和11)年頃	磁器	各13.8×13.8×2.2
20	北大路魯山人	染付葡萄絵鉢	1932-33(昭和7-8)年頃	磁器	22.4×12.1
21	北大路魯山人	游鯉之絵花入	1937(昭和12)年頃	磁器	28.2×38.9
22	北大路魯山人	そめつけ詩書花入	1940(昭和15)年	磁器	26.2×36.9
23	北大路魯山人	染付楓型向付 五	1938(昭和13)年頃	磁器	各15.0×14.2×3.0
24	北大路魯山人	葡萄絵耳付向付 十人	1940(昭和15)年頃	磁器	各8.0×10.2×7.4
25	北大路魯山人	遍むこ福字花入	1937(昭和12)年頃	陶器	10.4×21.2×21.8
26	北大路魯山人	織部釉長板鉢	1940(昭和15)年頃	陶器	25.2×48.5×7.8
27	北大路魯山人	呉須花入「愛説山中話」	1935(昭和10)年頃	磁器	25.8×34.8
28	北大路魯山人	椿絵鉢	1955(昭和30)年頃	陶器	33.0×17.5

29	北大路魯山人	信楽刻線文壺	1958(昭和33)年	陶器	28.7×30.2
30	北大路魯山人	雲錦鉢	1941(昭和16)年頃	陶器	43.0×21.4
31	北大路魯山人	露堂々高台膳 五客	1937(昭和12)年頃	漆器	各39.5×12.5
32	北大路魯山人	漆画盆	1940(昭和15)年頃	漆器	21.0×1.6
33	北大路魯山人	日月椀 いつかん	1943(昭和18)年頃	漆器	各12.8×11.2
34	北大路魯山人	於里遍六方鉢	1950(昭和25)年頃	陶器	31.0×31.5×13.0
35	北大路魯山人	於里遍葉形鉢	1953(昭和28)年頃	陶器	29.2×43.8×9.6
36	北大路魯山人	織部扇面形鉢	1940(昭和15)年頃	陶器	29.4×32.5×7.4
37	北大路魯山人	於里遍長板鉢	1950(昭和25)年頃	陶器	22.5×47.1×5.6
38	北大路魯山人	土瓶	1945-48(昭和20-23)年頃	陶器	15.8×12.0
39	北大路魯山人	福字遍むこ花入	1948(昭和23)年頃	陶器	13.0×21.6×21.4
40	北大路魯山人	於里遍うり形花入	1955(昭和30)年頃	陶器	17.8×19.1
41	北大路魯山人	乾山風絵変向 十	1951(昭和26)年頃	陶器	各16.4×1.8
42	北大路魯山人	乾山作秋草絵鉢	1941(昭和16)年	絹本彩色・額装	40.3×51.3
43	北大路魯山人	立田川鉢	1938(昭和13)年頃	陶器	21.2×9.2
44	北大路魯山人	武蔵野鉢	1935(昭和10)年頃	陶器	25.5×10.4
45	北大路魯山人	志がらき大鉢	1954(昭和29)年頃	陶器	34.4×7.5
46	北大路魯山人	信楽水指	1935-38(昭和10-13)年頃	陶器	19.4×18.6
47	北大路魯山人	伊賀シノギ四方鉢	1955-56(昭和30-31)年頃	陶器	30.3×29.2×4.2
48	北大路魯山人	古九谷風福字四方向 六人	1935(昭和10)年頃	磁器	各11.2×11.0×2.8
49	北大路魯山人	赤呉須徳里	1940(昭和15)年頃	磁器	6.6×12.5
50	北大路魯山人	赤呉須トクリ「其楽陶々」	1940-41(昭和15-16)年頃	磁器	各7.2×10.8
51	北大路魯山人	赤絵骨蓬双魚平鉢 五	1935(昭和10)年頃	磁器	各22.0×2.6

52	北大路魯山人	九谷風双魚鉢	1948(昭和23)年	磁器	30.8×6.6
53	北大路魯山人	赤呉須牡丹鉢	1940-41(昭和15-16)年頃	磁器	23.6×13.0
54	北大路魯山人	あか絵うづゆのみ 五	1939(昭和14)年頃	磁器	各7.2×8.6
55	北大路魯山人	青金欄手向付 六人	1939(昭和14)年頃	磁器	各12.0×6.2
56	北大路魯山人	赤玉手向付 六	1938(昭和13)年頃	磁器	各8.2×7.2
57	北大路魯山人	志野茶碗	1958(昭和33)年頃	陶器	13.0×7.9
58	北大路魯山人	志埜つゝ茶碗	1935(昭和10)年頃	陶器	9.4×7.7
59	北大路魯山人	志埜台鉢	1952-53(昭和27-28)年頃	陶器	29.6×29.6×7.6
60	北大路魯山人	備前土芒彫絵長方鉢	1956(昭和31)年頃	陶器	24.0×43.8×5.6
61	北大路魯山人	銀彩汲出し 五人	1955(昭和30)年頃	陶器	各11.0×6.0
62	北大路魯山人	銀彩寿紋輪花平鉢	1955(昭和30)年頃	陶器	31.6×6.0
63	北大路魯山人	銀彩トクリ形花入	1957(昭和32)年頃	陶器	13.3×18.0
64	北大路魯山人	備前饅頭ヌキ木乃葉鉢	1958(昭和33)年頃	陶器	25.6×38.0×5.0
65	北大路魯山人	銀彩花入	1956(昭和31)年頃	陶器	25.0×25.6
66	北大路魯山人	銀彩手鉢	1957(昭和32)年頃	陶器	25.0×10.0
67	北大路魯山人	銀地三彩木乃葉	1957(昭和32)年頃	陶器	14.8×38.0×6.0

* 作品はすべて足立美術館所蔵。

* 立体作品の寸法は、縦×横×高さ(cm)、もしくは径×高さ(cm)、平面作品の寸法は縦×横(cm)の順に記載した。

特別展

令和5年度アイヌ工芸品展
「AINU ARTーモレウのうた」

会期 ： 2024年1月13日(土)～3月10日(日)

※会期中、小笠原小夜《aynu語木製カルタ》（作品番号OS04）の展示替えを行います。

〔前期〕1月13日（土）→2月9日（金）

〔後期〕2月10日（土）→3月10日（日）

会場 ： 北海道立近代美術館 展示室A

寸法にあるアルファベット等は次の単位を表しています。

L=長 H=高 W=幅 D=奥行 T=厚 φ=直径

展示目録

番号	作家名	作品名	制作年	寸法	材質	所蔵
----	-----	-----	-----	----	----	----

I 先人たちのモレウ

1	NA1		衣服		L126 W127	木綿	国立アイヌ民族博物館蔵
2	NA2		衣服		L123.0 W119.0	木綿	国立アイヌ民族博物館蔵
3	NA3		衣服		L134.0 W133.0	木綿	国立アイヌ民族博物館蔵
4	NA4		アットウシ		L122.5 W131.5	鞣皮、木綿	国立アイヌ民族博物館蔵
5	NA5		衣服		L128.5 W130.0	木綿	国立アイヌ民族博物館蔵
6	NA6		衣服		L117.0 W123.0	木綿	国立アイヌ民族博物館蔵
7	NA7		衣服		L126.0 W125.0	木綿	国立アイヌ民族博物館蔵
8	NA8		衣服		L112.0 W118.0	木綿	国立アイヌ民族博物館蔵
9	NA9		ニンカリ		φ 8.5	鉄	国立アイヌ民族博物館蔵
10	NA10		ニンカリ		φ 10.3	鉄、ガラス	国立アイヌ民族博物館蔵
11	NA11		ニンカリ		φ 6.2	鉄	国立アイヌ民族博物館蔵
12	NA12		ニンカリ		φ 9.5	鉄、ガラス	国立アイヌ民族博物館蔵
13	NA13		ニンカリ		L9.7 φ 6.9	鉄、ガラス、木綿	国立アイヌ民族博物館蔵
14	NA14		マキリ		L27.5 W5.4 T2.5	木	国立アイヌ民族博物館蔵
15	NA15		マキリ		L29.4 W4.9 T2.1	木	国立アイヌ民族博物館蔵
16	NA16		オッチケ		L30.1 W34.8	木	国立アイヌ民族博物館蔵
17	NA17		オッチケ		L37.0 W38.5	木	国立アイヌ民族博物館蔵
18	NA18		タマサイ		L43.0 シトキL5.8 W7.8	ガラス、真鍮	国立アイヌ民族博物館蔵
19	NA19		タマサイ		L39.5 シトキφ 9.6	ガラス、真鍮	国立アイヌ民族博物館蔵
20	NA20		タマサイ		L41.5 シトキφ 11.1	ガラス、真鍮	国立アイヌ民族博物館蔵
21	NA21		キケウシパスイ		L37.2 W2.9 H2.7	木	国立アイヌ民族博物館蔵
22	NA22		イクパスイ		L32.0 W2.5 T1.3	木	国立アイヌ民族博物館蔵

23	NA23		イクパスイ		L33.7 W2.5 T0.9	木	国立アイヌ民族博物館蔵
24	NA24		イクパスイ		L35.4 W3.2 T0.7	木	国立アイヌ民族博物館蔵
25	NA25		イクパスイ		L33.2 W2.4 T0.8	木	国立アイヌ民族博物館蔵
26	NA26		イクパスイ		L31.7 W3.7 T1.1	木	国立アイヌ民族博物館蔵
27	NA27		イクパスイ		L34.6 W2.7 T0.9	木	国立アイヌ民族博物館蔵
28	NA28		イクパスイ		L31.4 W2.5 T0.6	木	国立アイヌ民族博物館蔵
29	NA29		イクパスイ		L27.8 W3.0 T0.6	木	国立アイヌ民族博物館蔵
30	NA30		イクパスイ		L37.3 W2.7 T0.8	木	国立アイヌ民族博物館蔵
31	NA31		イクパスイ		L32.6 W2.8 T0.8	木	国立アイヌ民族博物館蔵

II 十人のモレウ

32	NY1	西田香代子	タベストリー	2001	L153.0 W69.5	木綿	北海道立北方民族博物館蔵
33	NY2	西田香代子	チンヂリのブックカバー	2003	L39.3 W26.3	木綿	作家蔵
34	NY3	西田香代子	チンヂリの着物	2020	L134.0 W133.5	木綿	国立アイヌ民族博物館
35	NY4	西田香代子	ルウンペ	2007頃	L111.0 W139.0	木綿衣	鶴雅リゾート株式会社蔵
36	NY5	西田香代子	タベストリー	2008	L178.0 W111.5	木綿	アイヌ民族文化財団蔵
37	NY6	西田香代子	テーブルセンター	2012頃	L185.0 W42.0	木綿	作家蔵
38	NY7	西田香代子	テーブルセンター		L64.0 W36.0	木綿	作家蔵
39	NY8	西田香代子	ブックカバー		L31.7 W22.0	木綿	鶴雅リゾート株式会社蔵
40	NY9	西田香代子	テーブルセンター		L52.0 W30.0	木綿	鶴雅リゾート株式会社蔵
41	NY10	西田香代子	チンヂリ		L122.0 W135.0	木綿衣	アイヌ民族文化財団蔵
42	NY11	西田香代子	アイヌ伝統衣服（子ども用）			木綿衣	アイヌ民族文化財団蔵
43	SH1	下倉洋之 台：藤戸幸夫	深森の精霊	2018	L27.5 W6.0	銀	作家蔵
44	SH2	下倉洋之	KIMUN KAMUY PENDANT		H4.2 W4.2	銀	作家蔵
45	SH3	下倉洋之	NISKUR PENDANT		H4.5 W4.5	銀	作家蔵
46	SH4	下倉洋之 文様デザイン：床絵美	KAMUY CEP PENDANT		φ 3.0	銀	作家蔵
47	SH5	下倉洋之	KENI TUK PENDANT		H4.5 W4.5	銀	作家蔵
48	SH6	下倉洋之	KASICIWKUS PENDANT		H3.2 W2.0	銀	作家蔵
49	SH7	下倉洋之 文様デザイン：床絵美	MOREW NOKA PENDANT	2007	鎖L45.2 飾りL4.7W2.9	銀	アイヌ民族文化財団蔵
50	SH8	下倉洋之	輪はつながって輪を作る	2007	L33.0 玉 φ 4.5	銀、ガラス	アイヌ民族文化財団蔵

51	SH9	下倉洋之	湧水	2016	L32.5	銀、ガラスビーズ 黒曜石、琥珀	アイヌ民族文化財団蔵
52	SH10	下倉洋之	KAMUY CEP	2022	L57.5 シトキW7.5 H4.7	銀、ガラスビーズ カーネリアン	個人蔵
53	SH11	下倉洋之 文様デザイン：床絵美	KAMUY AMI PENDANT	2023	H:5.4 W4.1	銀	作家蔵
54	SH12	下倉洋之	UOUSI WA KARIP KARA		各φ5.8	銀	作家蔵
55	SH13	下倉洋之	CHASHI BANGLE		H4.6 φ5.8	銀	作家蔵
56	SH14	下倉洋之	UPIS MOREW TEKUNKANI	2023	H4.5 φ5.8	銀	アイヌ民族文化財団蔵
57	SH15	下倉洋之	ひぐま 羆の手のリング	1999	φ2.7	銀、純金	作家蔵
58	SH16	下倉洋之	KIMUN KAMUY RING		φ2.8	銀、K18	作家蔵
59	SH17	下倉洋之	KIMUN KAMUY RING		φ3.0	銀、K18	作家蔵
60	SH18	下倉洋之	KIMUN KAMUY RING w/Bisbee Turquoise	2019	φ3.0	銀、K18、トルコ石	作家蔵
61	SH19	下倉洋之	KIMUN KAMUY RING	2023	φ3.0	銀、K18	作家蔵
62	SH20	下倉洋之	HORKEW KAMUY RING	2023	φ2.8	銀、K18	アイヌ民族文化財団蔵
63	SH21	下倉洋之	KARIP	2007	D1.6 φ10	銀、真鍮、黒曜石	アイヌ民族文化財団蔵
64	SH22	下倉洋之 とんぼ玉：増井敏雅	NINKARI 森と精霊	2018	W5.1 φ4.5	銀、とんぼ玉	アイヌ民族文化財団蔵
65	SH23	下倉洋之	NINKARI	2022	W7.0 φ5.1	銀、水晶	作家蔵
66	SH24	下倉洋之	NINKARI	2022	φ6.4	銀、ガラスビーズ	作家蔵
67	SH25	下倉洋之	NINKARI	2023	φ5.5	銀	作家蔵
68	KN1	川村則子	Spirit of the Ainu	1998	W281.0 H146.5	布	アイヌ民族文化財団蔵
69	KN2	川村則子	カムイ ミンタラ		W240.0 H160.0	布	アイヌ民族文化財団蔵
70	KN3	川村則子	文様		W148.0 H118.0	布	アイヌ民族文化財団蔵
71	KN4	川村則子	Spirit of the Ainu II		W130.0 H250.0	布	アイヌ民族文化財団蔵
72	OS7	小笠原小夜	aynukur 人影	2023	L300 W727	インクジェット、紙	作家蔵
73	OS4	小笠原小夜	aynu語木製カルタ	2010	各L9.5 W6.7 T0.1	木、布、紙	国立歴史民俗博物館蔵
74	OS8	小笠原小夜	ikarkar ani ku=sinot ルウンベ	2018	L35.0 W45.0	木綿、木綿糸	作家蔵
75	OS9	小笠原小夜	ikarkar ani ku=sinot カパラミブ	2018	L35.0 W45.0	木綿、木綿糸	作家蔵
76	OS10	小笠原小夜	ikarkar ani ku=sinot チヂリ	2018	L35.0 W45.0	木綿、木綿糸	作家蔵
77	OS13	小笠原小夜	nupuri 山 (トラック・ボティプリントのた めの刺繍)	2021	L37.0 W73.0	木綿、木綿糸	作家蔵
78	OS12	小笠原小夜	atuy 海 (トラック・ボティプリントのた めの刺繍)	2021	L37.0 W73.0	木綿、木綿糸	作家蔵
79	OS15	小笠原小夜	ikarkar ani ku=sinot ルウンベ	2018	L51.5 W72.8	インクジェット、紙	作家蔵

80	OS5	小笠原小夜	ikarkar ani ku=sinot カパラミプ	2018	L51.5 W72.8	インクジェット、紙	作家蔵
81	OS6	小笠原小夜	ikarkar ani ku=sinot チヂリ	2018	L51.5 W72.8	インクジェット、紙	作家蔵
82	OS16	小笠原小夜	nupuri 山	2021	L20 W72.5	インクジェット、紙	作家蔵
83	OS17	小笠原小夜	atuy 海	2021	L20 W72.5	インクジェット、紙	作家蔵
84	OS2	小笠原小夜	『問いかけるアイヌアート』	2019	L21 W15		北海道立近代美術館蔵
85	OS11	小笠原小夜	kikir kamuy ru kar 虫の神が道を作った (『問いかけるアイヌアート』表紙のための刺繍)	2020	L21.2 W39.3	紙、木綿糸	作家蔵
86	OS3	小笠原小夜	『ミンタラ① アイヌ民族 27の昔話』	2021	L25.7 W18.2		アイヌ民族文化財団蔵
87	OS14	絵 小笠原小夜	『様似のむかしばなし』	2023			作家蔵
88	OS1	小笠原小夜	アイヌ民族文化財団 カレンダー	2013-2024	L59.4 W42.0		アイヌ民族文化財団蔵
89	OS4	小笠原小夜	『ミンタラ② アイヌ民族 21の人物伝』	2022	L25.7 W18.2		
90	KK1	貝澤幸司	ほろ酔い	1990年代	W38.2 H25.2 D20.0	木 (クルミ)	貝澤徹氏蔵
91	KK2	貝澤幸司	魚・いってえー	1990年代	W36.0 H35.5 D22.0	木 (クルミ)	アイヌ民族文化財団蔵
92	KK3	貝澤幸司	リール	2007	W12.5 H11.3 D10.4	木 (シナ、タケ)	貝澤徹氏蔵
93	KK4	貝澤幸司	山女魚		W12.5 H11.3 D10.4	木	貝澤徹氏蔵
94	KK5	貝澤幸司	北の淡水魚		L10.0 W3.3 ほか18種	木	貝澤徹氏蔵
95	KU1	貝澤ウトレントク	イタ	明治20年代	L25.3 W26.6 T2.6	木	貝澤徹氏蔵 (貝澤勉氏旧蔵)
96	KM1	貝澤勉	ニマ	1973	L45.5 W22.6 H10.8	木 (クルミ)	貝澤徹氏蔵 (貝澤勉氏旧蔵)
97	KT1	貝澤徹	タヌキ	1998	W57.0 H44.0 D29.0	木 (センノキ)	個人蔵
98	KT2	貝澤徹	ネズミを捕まえるフクロウ	1998	W25.5 H48.5 D22.5	木 (エンジュ)	作家蔵
99	KT3	貝澤徹	スオプ	2000	L33.0 H8.4 W25.4	木 (クルミ)	作家蔵
100	KT4	貝澤徹	フクロウ	2001	W31.0 H61.6 D35.0	木 (クルミ)	作家蔵
101	KT6	貝澤徹	アイデンティティ	2011	台座含め W50.0 H123.6 T50.0	木 (カツラ)	アイヌ民族文化財団蔵
102	KT7	貝澤徹	イヨマンテのイクパスイ	2014	L119.0 W15.0 H12.0	木 (イタヤカエデ)	個人蔵
103	KT8	貝澤徹	スパイダーマン・マスク	2016	L24.0 H7.5 W15.0	木 (エンジュ)	個人蔵
104	KT9	貝澤徹	バットマン・マスク	2016	L37.0 H10.5 W17.0	木 (エンジュ)	個人蔵
105	KT10	貝澤徹	パレット	2023	L35.0 W25.8 T2.2	木 (カツラ)	作家蔵
106	KT11	貝澤徹	イタ	2023	W77.0 H100.0 D3.8	木 (カツラ)	作家蔵
107	KT12	貝澤徹	イタ		T2.6 φ30.0	木 (カツラ)	アイヌ民族文化財団蔵

108	KT13	貝澤徹	キムンカムイの手	2015	右：W11.5 H18.2 D13.5 左：W11.3 H18.5 D14.0	木（エンジュ）	アイヌ民族文化財団蔵
109	KT14	貝澤徹	Iron Will（鉄の意志）	2024	W74.0 H240.0 T6.0	木（カツラ）	作家蔵
110	FK1	藤戸康平	Gorilla	1991頃	W26.0 H36.0 T2.8	木（シナ）	作家蔵
111	FK2	藤戸康平	Jango（French Bulldog）	2004頃	W5.9 H10.0 T2.8	木（エンジュ）	作家蔵
112	FK3	藤戸康平	幸子さんの時計		L20.0 W6.5 H3.8	木（エンジュ）	作家蔵
113	FK4	藤戸康平	Happy 5th Birthday Yuta	2010	L19.4 W6.5 H3.8	木（エンジュ）	作家蔵
114	FK5	藤戸康平	時計		L20.0 W6.2 H3.3	木（エンジュ）	作家蔵
115	FK6	藤戸康平	コンパス		L39.0 コンパスW4.8 H6.4 T1.0	木（アサダ）	作家蔵
116	FK7	藤戸康平	都会のサバイバルネックレス		チャームL4.6 W3.4 T1.8	木	アイヌ民族文化財団蔵
117	FK8	藤戸康平	ニンカリ		L4.8 W4.5 T0.5	木	アイヌ民族文化財団蔵
118	FK9	藤戸康平	祈り	2016	H12.0 W10.0	木（アサダ）	作家蔵
119	FK10	藤戸康平	マキリ		L37.0 W7.2 T3.6	木（アサダ）	作家蔵
120	FK11	藤戸康平	イクバスイ	2017	L28.5 W3.0 T0.9	木（アサダ）	作家蔵
121	FK12	藤戸康平	木製サングラス 「FUJITO」シリーズ	2018	H4.9 W14.5 D15.5	木（アサダ）	作家蔵
122	FK13	藤戸康平	木製サングラス 「ita」シリーズ	2018	H5.3 W14.0 D14.3	木（アサダ）	作家蔵
123	FK14	藤戸康平	Singing of the Needle	2021	H210.0 φ210.0	鉄、鹿の頭骨	作家蔵
124	FK15	藤戸康平	ぐるぐるモレウ	2023	H21.6 W23.3	木（シナベニア）	作家蔵
125	FK16	藤戸康平	GATES	2022	各L156.0 W40.0 D40.0	鉄	個人蔵
126	YK1	結城幸司	kamuy ipirima	2001	L37.8 W26.5	木版・紙	作家蔵
127	YK2	結城幸司	yuk まなざし	2004	L98.2 W67.6	木版・紙	作家蔵
128	YK3	結城幸司	流木のkamuy	2006	L121.0 W47.8	木版・紙	作家蔵
129	YK4	結城幸司	okhotsk rera	2008頃	L192.3 W96.2	木版・紙	作家蔵
130	YK5	結城幸司	熊渦	2020	L35.8 W28.2	木版・紙	作家蔵
131	YK6	結城幸司	karase karase	2023	L34.3 W32.5	木版・紙	作家蔵
132	YK7	結城幸司	七五郎沢のきつね	2015	L29.0 W37.8	木版・紙	作家蔵
133	YK8	監督：すぎはらちゅん プロデューサー：本田正也 原案・木版画：結城幸司	七五郎沢の狐	2015	13分45秒	アニメーション	
134	SM1	関根真紀	スタンドキルト風アイヌ紋様タペストリー	2009	L123.8 W144.7	布	国立歴史民俗博物館
135	SM2	関根真紀	タペストリー		L173.0 W117.0	布	国立アイヌ博物館蔵

136		関根真紀	アイディアスケッチ				作家蔵
137		関根真紀	関根真紀デザイングッズ				作家蔵
138		関根真紀	ご当地アイヌ文様 コカコーラボトル	2020			作家蔵
139		関根真紀	specialized北海道 バイク用ボトル	2023			
140		関根真紀×「印伝の山 本」	財布・印鑑入れ				作家蔵
141	FY1	藤戸幸夫	マキリ	1990年代	L28.2 W6.0	木	個人蔵
142	FY2	藤戸幸夫	マキリ	1990年代	L35.5 W7.5	木	個人蔵
143	FY3	藤戸幸夫	マキリ	2000頃	L24.6 W5.0	木	個人蔵
144	FY4	藤戸幸夫	マキリ	2000頃	L26.0 W6.0	木（オンコ）、鹿角	作家蔵
145	FY5	藤戸幸夫	マキリ	2018	L36.5 W8.2 T3.0	木、鹿角	個人蔵
146	FY6	藤戸幸夫	マキリ	2022	L33.5 W6.4	木	鶴雅リゾート株式会社蔵
147	FY7	藤戸幸夫	マキリ	2022	L33.0 W7.0	木	鶴雅リゾート株式会社蔵
148	FY8	藤戸幸夫	マキリ	2022	L25.0 W4.0	木	鶴雅リゾート株式会社蔵
149	FY9	藤戸幸夫	マキリ		L28.8 W6.0	木（エンジュ）、 鹿角	個人蔵
150	FY10	藤戸幸夫	マキリ		L24.6 W5.5	木（アオダモ）	作家蔵
151	FY11	藤戸幸夫	マキリ	2023	L25.0 W5.0	木（イタヤカエデ）、 鹿角、オヒョウ紐	作家蔵
152	FY12	藤戸幸夫	マキリ	2023	L28.0 W6.5	木（イタヤカエデ）、 オヒョウ紐	作家蔵
153	FY13	藤戸幸夫	ポンナタ	2023	L34.3 W7.5 T5.0	木（イタヤカエデ）、 オヒョウ紐	川村カ子トアイヌ記念館
154	FY14	藤戸幸夫	マキリ	2023	L33.9 W6.7 T7.0	木（イタヤカエデ）、 オヒョウ紐	川村カ子トアイヌ記念館
155	FY15	藤戸幸夫	マキリ	2023	L30.2 W5.8 T2.5	木（イタヤカエデ）、 鹿角、オヒョウ紐	川村カ子トアイヌ記念館
156	FY16	藤戸幸夫	マキリ	2023	L32.0 W7.0	木、鹿角	作家蔵
157	FY17	藤戸幸夫	イクパスイ		L32.0 W3.0	木	個人蔵
158	FY18	藤戸幸夫	エムシ		L81.0 W4.5	木（カツラ）、鹿角、 桜皮、石	作家蔵
159	FY19	藤戸幸夫	タシロ	2020	L46.0 W8.3 T4.5	木	アイヌ民族文化財団蔵
160	FY20	藤戸幸夫	煙草入れ		煙草入れ L9.2 W6.3 H8.4 煙管さし L30.0 W4.3	木	個人蔵
161	FY21	藤戸幸夫	宝箱	2021	W25.0 H12.0 D13.0	木（エンジュ）、 ラブラドライト	作家蔵
162	FY22	藤戸幸夫	宝箱	2021	W22.0 H11.4 D8.9	木（エンジュ）、 マラカイト	作家蔵
163	FY23	藤戸幸夫	トンコリ	2020	L100.2 W27.7 T6.5	木（イチイ）	作家蔵
164	FY24	藤戸幸夫	トンコリ	2021	L113.7 W33.3 T7.5	木（イチイ）	作家蔵
165	FY25	藤戸幸夫	メノコイタ	2022	L18.0 H9.6 D23.7	木（カツラ）	作家蔵

世界のぐるぐるを訪ねて

166	H1	M. E. ザクスル	ナーナイの花嫁衣装	1988	H96.5 W133.0	木綿	北海道立北方民族博物館蔵
167	H2	A.A.サマール	ナーナイの花嫁衣装 (ケープ)	1990	L39.0 W68.0	布	北海道立北方民族博物館蔵
168	H3	A.A.デリュージェン	ナーナイの花嫁衣装 (靴)	1990	L26.0 H27.3 W9.4 L25.8 H27.2 W9.2	皮 (鹿皮、合皮)	北海道立北方民族博物館蔵

トピック展示 尾張徳川家と北海道八雲町のかかわり

169	TR1		チカラカラペ／ルウンペ		L128.0 W136.6	木綿	個人蔵
170	TR2		アットウシ		L136.0 W115.6	鞣皮、木綿	個人蔵
171	TR3		アットウシ		L128.0 W113.2	鞣皮、木綿	個人蔵
172	TR4		手提げ袋		L28.0 W117.0		個人蔵
173	TR5		手提げ袋		L31.5 W126.5		個人蔵
174	TR6		イクパスイ		L33.1 W2.5	木	個人蔵
175	TR7		イクパスイ		L32.7 W2.7	木	個人蔵
176	TR8		イクパスイ		L33.7 W3.0	木	個人蔵
177	TR9		イクパスイ		L36.0 W3.0	木	個人蔵
178	TR10		イクパスイ		L39.5 W3.5	木	個人蔵
179	TR11		タンバコオブ		煙草入れ/L9.5 W5.0 H6.0 煙管さし/L35.0 W3.5	木	個人蔵
180	TR12		タンバコオブ		煙草入れ/L9.5 W5.0 H8.5 煙管さし/L39.2 W3.5	木	個人蔵
181	TR15	スイス	熊の学校		H6.5 台11.8 W7.8	木	個人蔵
182	TR16	八雲農民美術研究会	熊の授業		H8.0 台15.2 W9.0	木	個人蔵
183	TR17	スイス、ベルン	糸巻き熊	1922収集	L17.4 W9 H21.0	木	個人蔵
184	TR18	早川惣三郎 (号 雪州)	熊のスケッチ	昭和初期	H7.6 台L10.4 W10.6	木	個人蔵
185	TR19	若山万之助 (号 昇雲)	熊の音楽隊	昭和初期	L3.0 W3.0 H5.2ほか	木	個人蔵
186	TR20	八雲農民美術研究会	大漁の木もっこを背負う 熊立像	昭和初期	H30.5 台17.5 12.1 1.8	木	個人蔵
187	TR21		盆		L31.4 W19.3	木	個人蔵

こちらのQRコードから、作品制作のアーカイブス映像をご覧頂けます。

貝澤徹



西田香代子



藤戸幸夫



札幌国際芸術祭 SIAF2024

1924-2024 FRAGILE [こわれものの注意] 出品リスト

1924-2024 FRAGILE [Handle with Care]

2024年1月20日[土]～2月25日[日]

北海道立近代美術館

*「所蔵」の欄には、北海道立北方民族博物館所蔵「イヌイットの壁掛け」では制作地を、あべ弘士の絵本原画では所蔵と出版社を記載した。

主催：札幌国際芸術祭実行委員会／札幌市
北海道立近代美術館

**寸法は、平面作品では画面の縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さを示した。

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	所蔵*	寸法(cm)**
I ひろがる							
1	栗谷川 健一	1911-1999	北洋博	1953年	オフセット・紙	北海道立近代美術館	45.3×53.0
2	平野 禎邦	1944-1992	写真集『北洋』より他	1968-1982年	ゼラチン・シルバー・プリント、インクジェットプリント（複製）	個人蔵/協力：HOKKAIDO PHOTO FESTA実行委員会	16.5×21.5他
3	本田 明二	1919-1989	北洋の男	1969年	木	北海道立近代美術館	29.0×36.0×53.5
4	砂田 友治	1916-1999	北海の男たち	1965年	油彩・キャンバス	北海道立近代美術館	181.8×230.2
5	俣野 第四郎	1902-1927	ハルピン風景	1924年	油彩・紙	北海道立近代美術館	33.8×48.0
6	俣野 第四郎	1902-1927	大連市郊外	1924年	油彩・キャンバス	北海道立近代美術館	45.3×53.0
7	上野山 清貢	1889-1960	とかげを弄び夢見る島の乙女	1924年	油彩・キャンバス	北海道立近代美術館	79.5×115.3
8	小柴 外一	1901-1973	軍艦置物	1939年頃	キャスト・ガラス	北海道立近代美術館	30.3×3.5×5.3
9	国吉 康雄	1889-1953	横たわる裸婦	1929年	油彩・キャンバス	北海道立近代美術館	101.6×203.2
10	阿部 典英	1939-	ネエ ダンナサン あるいは 否・非・悲	2002-2003年	アクリル絵具・木、ステンレススチール	北海道立近代美術館	49.0×95.2×212.6
11	行武 治美（制作協力：森崎かおる）	1966-	凍景	2024年	ガラス、ワイヤー、製油（北海道産トドマツ）、モーター駆動	作家蔵	840.0×480.0×400.0
II ゆだねる							
1	スタンレイ・ウィリアム・ヘイター	1901-1988	サーカス	1933年	エングレーヴィング・紙	北海道立近代美術館	21.9×30.5
2	スタンレイ・ウィリアム・ヘイター	1901-1988	手相術	1935年	エングレーヴィング・紙	北海道立近代美術館	19.7×14.9
3	スタンレイ・ウィリアム・ヘイター	1901-1988	第三の人	1938年	エングレーヴィング・紙	北海道立近代美術館	14.6×10.8
4	ジュアン・ミロ	1893-1983	『デリエール・ル・ミロワール Nos. 125-126』より	刊行:1961年	リトグラフ・紙	北海道立近代美術館	38.0×114.0
5	難波田 龍起	1905-1997	軌跡	1956年	油彩・キャンバス	北海道立近代美術館	130.8×97.0
6	難波田 龍起	1905-1997	秋の詩	1961年	油彩、エナメル・キャンバス	北海道立近代美術館	112.1×193.9
7	一原 有徳	1910-2010	S. M. 円 (A)	1986年	蛍光塗料、アセチレンバーナー焼付け・ステンレス	北海道立近代美術館	50.0×50.0他
8	李 禹煥	1936-	線より #80057	1980年	岩絵具・キャンバス	北海道立近代美術館	193.9×259.1
9	宮田 彩加	1985-	WARP II -エルンスト・ハッケルへのオマージュ-	2012-2023年	ミシン糸・綿布・木製パネル	作家蔵	158.3×209.4×厚さ6.0
10	宮田 彩加	1985-	MRI SM20110908	2016年-	ミシン刺繍・ミシン糸	作家蔵	各約110.0×90.0
11	宮田 彩加	1985-	MRI SM20121122	2021年	ミシン刺繍・ミシン糸	作家蔵	約340.0×500.0
III シンプルに							
1	ジョーゼフ・アルバース	1888-1976	フォーミュレーション：アーティキュレーションI・II	1972年	シルクスクリーン・紙	北海道立近代美術館	各17.5×17.5他
2	スタニスラフ・リベンスキー/ヤロスラヴァ・プリフトヴァ	1921-2002/1924-2020	柱	1989-1990年	キャスト、研磨・ガラス	北海道立近代美術館	20.0×33.3×165.4
3	ヴィクトル・ヴァザルリ	1908-1997	C-LAPIDAIRE-C	1962年	コラージュ・紙	北海道立近代美術館	16.5×16.5
4	リチャード・アヌスキウィッツ	1930-2020	ライト・カドミウム・レッド・スクウェア	1979年	アクリル絵具・キャンバス	北海道立近代美術館	122.5×122.5
5	ブリジット・ライリー	1931-	ファイアバード	1971年	シルクスクリーン・紙	北海道立近代美術館	66.4×94.6
6	花田 和治	1946-2017	空と斧	1977年	油彩・キャンバス	北海道立近代美術館	130.0×130.1
7	花田 和治	1946-2017	海 I	1990年	油彩・キャンバス	北海道立近代美術館	77.0 ×385.0
8	杉山 留美子	1942-2013	WORK 9704-1,2,3	1997年	アクリル絵具・綿キャンバス	北海道立近代美術館	各193.9×112.1

9	ニルス・ランドベリィ／ オレフォッシュ社	1907-1991/ 創業:1868	チューリップグラス	1950年代末 (デザイン: 1957年)	被せガラス、宙吹き・ガラ ス	北海道立近代美術館	11.0×44.2
IV つながる							
1	バラック装飾社	1923-	開進食堂	1923年	デジタルデータによるイン クジェットプリント	工学院大学	
2	バラック装飾社	1923-	東條書店	1923年	デジタルデータによるイン クジェットプリント	工学院大学	
3	バラック装飾社	1923-	銀座 カフェーキリン	1923年	デジタルデータによるイン クジェットプリント	工学院大学	
4	バラック装飾社	1923-	堀商店	1923年	デジタルデータによるイン クジェットプリント	工学院大学	
5	バラック装飾社	1923-	米国メーン商会看板	1923年	デジタルデータによるイン クジェットプリント	工学院大学	
6	今 和次郎	1888-1973	帝国大学・U・セツルメント、南・西面立面図、1・2 階平面図	1924年	デジタルデータによるイン クジェットプリント	工学院大学	
7	今 和次郎	1888-1973	東京帝国大学セツルメントハウス	1924年	デジタルデータによるイン クジェットプリント	『東京帝国大学セツルメン ト十二年史』より引用	
8	石井 亨	1981-	東京景_鑑賞する人々	2022年	糸目友禪染・絹、酸性染 料、顔料、フオイル	作家蔵	43.0×43.0×厚さ3.6
9	石井 亨	1981-	東京景_待ち合わせ	2022年	糸目友禪染・絹、酸性染 料、顔料、フオイル	作家蔵	47.5×67.2×厚さ4.0
10	石井 亨	1981-	東京景_駅前	2022年	糸目友禪染・絹、酸性染 料、顔料、フオイル	作家蔵	67.2×47.5×厚さ4.0
11	石井 亨	1981-	東京景_帰宅する人々	2022年	糸目友禪染・絹、酸性染 料、顔料、フオイル	作家蔵	47.5×67.2×厚さ4.0
12	石井 亨	1981-	東京景_滝前	2023年	糸目友禪染・絹、酸性染 料、顔料、フオイル	作家蔵	63.5×63.5×厚さ5.8
13	石井 亨	1981-	東京景_センター街	2022年	糸目友禪染・絹、酸性染 料、顔料、フオイル	作家蔵	82.3×82.3×厚さ4.0
14	石井 亨	1981-	東京景_マンデイ・フットボール	2023年	糸目友禪染・絹、酸性染 料、顔料、フオイル	作家蔵	67.2×82.3×厚さ4.0
15	石井 亨	1981-	東京景_In the Garden	2023年	糸目友禪染・絹、酸性染 料、顔料、フオイル	作家蔵	82.3×67.2×厚さ4.0
16	石井 亨	1981-	雪結晶	2023年	糸目友禪染・絹、札幌の雪 解け水、酸性染料、顔料	作家蔵	82.3×82.3×厚さ4.0
17	石井 亨	1981-	東京景_携帯ジャンキー	2023年	糸目友禪染・絹、酸性染 料、顔料、フオイル	作家蔵	40.0×47.5×厚さ3.6
18-41 北海道立北方民族博物館所蔵「イヌイットの壁掛け」							
18	パウリナ・ウルルクシク・コリト	1929-	ぼくのパーカはいつ出来るの	制作年不明	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	ライキンインレット／カン ギクリニク	80.7×143.0
19	オリーブ・ママク・インナカトシ ク	1915-1994	刺し方いろいろ	1979年	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	ベーカーレイク／カマニ トゥアク	78.0×73.8
20	カルリクサク	1928-1980	たのしい氷の家	制作年不明	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	ベーカーレイク／カマニ トゥアク	61.6×93.0
21	M・キルラーク	不詳	ベーカーレイクのワッペン	制作年不明	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	ベーカーレイク／カマニ トゥアク	97.4×126.0
22	作者不詳	不詳	ハンターと獲物	制作年不明	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	不詳	47.0×149.0
23	作者不詳	不詳	犬ぞりをけたてて行く狩りの旅	制作年不明	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	不詳	85.2×149.0
24	エヴァ・ヤーカ	不詳	あざらしを解体する	1991年	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	ウェイクハムバイ／カンギ クスジュアク	45.8×71.0
25	メアリー・K・オクヘーナ	1955-	そり遊び	1990年	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	ホルマン／ウルクハクトク	96.0×46.0
26	マーサ・コグヴィク	不詳	春の兆し	1992年	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	ジョアヘブン／ウクス トゥーク	39.6×72.0
27	作者不詳	不詳	ブルーベリーを摘む	制作年不明	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	不詳	72.0×46.8
28	ナンシー・ブギングルナク・アウ パウルクトゥク	1940-	水汲みに	1979年	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	ベーカーレイク／カマニ トゥアク	43.3×47.0
29	マーサ・ティクタク・アナウタリ ク	1928-1987	群れ飛ぶ鳥	1979年	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	ベーカーレイク／カマニ トゥアク	43.0×142.0
30	メイ・ケナリク	1941-	大きな角をもつカリブー	1991年	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	ベーカーレイク／カマニ トゥアク	138.0×75.0
31	ヴィクトリア・カユルユク	1930-2016	三匹の北極フクロウ	1984年	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	ベーカーレイク／カマニ トゥアク	96.0×70.2
32	マーサ・ティッキク	1935-2015	二匹の北極熊が氷原に行く	1979年	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	ベーカーレイク／カマニ トゥアク	72.0×55.6
33	マーサ・アブサク	1930-	太ったおおかみ	1979年	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	ベーカーレイク／カマニ トゥアク	41.2×53.0
34	R・ヴォスアク/B・ロデ	不詳	魔法を使っているシャーマン	1979年	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	不詳	72.0×71.5
35	H・マノンク	不詳	黒いダッフルの上の顔と化身	1979年	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	ベーカーレイク／カマニ トゥアク	49.2×76.0
36	アニー・アクルクユク・キラブク	1991-	ドラムダンサー	制作年不明	ダッフル地・刺繍、アッ プリケ	パンニルツーク／パングニ ルトウング	57.0×38.0

37	アイリーン・アヴァーラーキア ク・ティクターラーク	1941-	力の精たち	制作年不明	ダッフル地・刺繍、アップ リケ	ベーカーレイク／カマニ トゥアク	68.0×88.0
38	アイリーン・アヴァーラーキア ク・ティクターラーク	1941-	人と動物の顔に囲まれた精	制作年不明	ダッフル地・刺繍、アップ リケ	ベーカーレイク／カマニ トゥアク	95.0×124.0
39	ヴェラ・アヴァーラ	1949-2011	ボール遊び	制作年不明	ダッフル地・刺繍、アップ リケ	ベーカーレイク／カマニ トゥアク	65.4×88.0
40	作者不詳	不詳	イヌイットのまあるい世界	制作年不明	ダッフル地・刺繍、アップ リケ	ライキンインレット／カン ギクリニク	85.4×145.0
41	マーサ・ヒクニク	1934-	一族の顔	1990年	ダッフル地・刺繍、アップ リケ	ジョアヘブン／ウクスク トゥーク	80.0×72.0
42	ダナ・ザーメチニーコヴァ	1945-	私の家族	1997年	着色・板ガラス、ミクスト メディア	北海道立近代美術館	56.1×120.0×210.0
43	中村 木美	1934-	エジプトの月	2009年	マクラメ技法・木綿撚り 糸、金属枠	北海道立近代美術館	43.5×49.0×183.5
44	中村 木美	1934-	港の商人	2009年	マクラメ技法・木綿撚り 糸、金属枠	北海道立近代美術館	33.5×55.0×184.5
45	中村 木美	1934-	鳩を食べる少女	2009年	マクラメ技法・木綿撚り 糸、金属枠	北海道立近代美術館	33.5×43.0×168.0
46	国松 登	1907-1994	星月夜	1991年	油彩・キャンバス	北海道立近代美術館	162.0×162.0
47	レオナルド・フジタ（藤田嗣治）	1886-1968	「平和の聖母礼拝堂」ステンドグラス：聖チェチリア	2008年再制作 （オリジナル：1966年）	ガラス、鉛	北海道立近代美術館	140.2×65.0
48	あべ弘士（作・絵）	1948-	旭山動物園日誌	1981	ペン、水彩、鉛筆・紙	作家蔵／出版工房ミル	27.7×38.0
49	あべ弘士（作・絵）	1948-	旭山動物園日誌	1981	ペン、鉛筆・紙	作家蔵／出版工房ミル	29.6×90.5
50	あべ弘士（作・絵）	1948-	旭山動物園日誌	1981	ペン、鉛筆・紙	作家蔵／出版工房ミル	26.7×37.3
51	あべ弘士（作・絵）	1948-	旭山動物園日誌	1981	ペン、水彩、鉛筆・紙	作家蔵／出版工房ミル	26.6×37.1
52	あべ弘士（作・絵）	1948-	雪の上のどうぶつえん なぞのあしあとのまき	1989	ガッシュ、ペン・紙	作家蔵／福音館書店	39.6×54.5
53	あべ弘士（作・絵）	1948-	雪の上のどうぶつえん なぞのあしあとのまき	1989	ガッシュ、ペン、色鉛筆・ 紙	作家蔵／福音館書店	42.0×29.5
54	あべ弘士（作・絵）	1948-	雪の上のどうぶつえん なぞのあしあとのまき	1989	ガッシュ・紙	作家蔵／福音館書店	33.0×50.0
55	あべ弘士（作・絵）	1948-	雪の上のどうぶつえん なぞのあしあとのまき	1989	ガッシュ、ペン・紙	作家蔵／福音館書店	39.5×54.5
56	あべ弘士（作・絵）	1948-	どうぶつえん物語	1994	ペン、水彩・紙	作家蔵／絵本館	24.1×29.1
57	あべ弘士（作・絵）	1948-	どうぶつえん物語	1994	ペン、水彩・紙	作家蔵／絵本館	20.7×27.5
58	あべ弘士（作・絵）	1948-	どうぶつえん物語	1994	ペン、水彩・紙	作家蔵／絵本館	21.0×27.5
59	木村裕一（作）あべ弘士（絵）	1948-/1948-	あらしのよるに	1994	ペン、染料インク、白黒反 転・紙	作家蔵／講談社	21.5×35.5
60	木村裕一（作）あべ弘士（絵）	1948-/1948-	あらしのよるに	1994	ペン、染料インク、白黒反 転・紙	作家蔵／講談社	23.1×36.2
61	木村裕一（作）あべ弘士（絵）	1948-/1948-	あらしのよるに	1994	ペン、染料インク、白黒反 転・紙	作家蔵／講談社	23.0×33.5
62	木村裕一（作）あべ弘士（絵）	1948-/1948-	あらしのよるに	1994	ペン、白黒反転・紙	作家蔵／講談社	21.5×30.5
63	あべ弘士（作・絵）	1948-	ライオンのよいいちにち	2001	ガッシュ、色鉛筆・紙	作家蔵／佼成出版社	25.8×55.7
64	あべ弘士（作・絵）	1948-	ライオンのよいいちにち	2001	ガッシュ、色鉛筆・紙	作家蔵／佼成出版社	25.9×56.0
65	あべ弘士（作・絵）	1948-	ライオンのよいいちにち	2001	ガッシュ、色鉛筆、パステ ル・紙	作家蔵／佼成出版社	26.0×55.8
66	あべ弘士（作・絵）	1948-	ライオンのよいいちにち	2001	ガッシュ・紙	作家蔵／佼成出版社	24.7×55.8
67	あべ弘士（作・絵）	1948-	ライオンのへんないちにち	2002	ガッシュ、色鉛筆、パステ ル・紙	作家蔵／佼成出版社	24.5×52.0
68	あべ弘士（作・絵）	1948-	ライオンのへんないちにち	2002	ガッシュ・紙	作家蔵／佼成出版社	24.5×52.0
69	竹田津実（作）あべ弘士（絵）	1937-/1948-	どうぶつさいばん ライオンのしごと	2004	ガッシュ、クレヨン・紙	作家蔵／偕成社	23.7×57.4
70	あべ弘士（作・絵）	1948-	ライオンの風をみたいちにち	2018	ガッシュ、色鉛筆、ひっか き・紙	作家蔵／佼成出版社	28.0×55.0
71	あべ弘士（作・絵）	1948-	ライオンの風をみたいちにち	2018	ガッシュ、色鉛筆、クレヨ ン・紙	作家蔵／佼成出版社	28.0×55.0
72	あべ弘士（作・絵）	1948-	ライオンの風をみたいちにち	2018	ガッシュ・紙	作家蔵／佼成出版社	27.0×55.0
73	あべ弘士（作・絵）	1948-	ライオンの風をみたいちにち	2018	ガッシュ、色鉛筆・紙	作家蔵／佼成出版社	28.0×55.0
74	あべ弘士（作・絵）	1948-	かわうそ3きょうだい	2009	ガッシュ・紙	作家蔵／小峰書店	22.5×52.5

75	あべ弘士（作・絵）	1948-	かわうそ3きょうだい	2009	ガッシュ、色鉛筆・紙	作家蔵／小峰書店	22.7×52.7
76	あべ弘士（作・絵）	1948-	かわうそ3きょうだい	2009	ガッシュ、色鉛筆・紙	作家蔵／小峰書店	22.5×52.5
77	あべ弘士（作・絵）	1948-	かわうそ3きょうだい	2009	ガッシュ、パステル・紙	作家蔵／小峰書店	22.5×52.5
78	あべ弘士（作・絵）	1948-	かわうそ3きょうだい ふゆのあさ	2010	ガッシュ・紙	作家蔵／小峰書店	26.0×56.3
79	あべ弘士（作・絵）	1948-	かわうそ3きょうだい ふゆのあさ	2010	ガッシュ、色鉛筆・紙	作家蔵／小峰書店	25.6×57.4
80	あべ弘士（作・絵）	1948-	かわうそ3きょうだい そらをゆく	2013	ガッシュ、パステル・紙	作家蔵／小峰書店	22.0×50.0
81	あべ弘士（作・絵）	1948-	かわうそ3きょうだい そらをゆく	2013	ガッシュ、色鉛筆、パステル・紙	作家蔵／小峰書店	22.0×50.0
#####	あべ弘士（作・絵）	1948-	かわうそ3きょうだい とらのまき	2017	ガッシュ、パステル・紙	作家蔵／小峰書店	25.0×53.0
83	あべ弘士（作・絵）	1948-	かわうそ3きょうだい とらのまき	2017	ガッシュ、色鉛筆・紙	作家蔵／小峰書店	25.0×53.0
84	あべ弘士（作・絵）	1948-	かわうそ3きょうだい とらのまき	2017	ガッシュ、色鉛筆・紙	作家蔵／小峰書店	25.0×53.0
85	あべ弘士（作・絵）	1948-	かわうそ3きょうだい とらのまき	2017	ガッシュ、色鉛筆・紙	作家蔵／小峰書店	25.0×53.0
86	あべ弘士（作・絵）	1948-	こんちき号北極探検記	2012	鉛筆・紙	作家蔵／講談社	21.0×13.5
87	あべ弘士（作・絵）	1948-	こんちき号北極探検記	2012	ペン、水彩・紙	作家蔵／講談社	19.0×26.0
88	あべ弘士（作・絵）	1948-	こんちき号北極探検記	2012	水彩、鉛筆・紙	作家蔵／講談社	21.0×13.5
89	あべ弘士（作・絵）	1948-	こんちき号北極探検記	2012	鉛筆・紙	作家蔵／講談社	20.0×13.5
90	あべ弘士（作・絵）	1948-	こんちき号北極探検記	2012	鉛筆、水彩・紙	作家蔵／講談社	19.8×13.8
91	あべ弘士（作・絵）	1948-	ふたごのしろくま ねえ、おんぶのまき	2012	ガッシュ、クレヨン・紙	作家蔵／講談社	24.0×19.5
92	あべ弘士（作・絵）	1948-	ふたごのしろくま ねえ、おんぶのまき	2012	ガッシュ、クレヨン、色鉛筆・紙	作家蔵／講談社	19.8×54.5
93	あべ弘士（作・絵）	1948-	ふたごのしろくま ねえ、おんぶのまき	2012	ガッシュ、クレヨン、色鉛筆・紙	作家蔵／講談社	19.5×54.5
94	あべ弘士（作・絵）	1948-	ふたごのしろくま ねえ、おんぶのまき	2012	ガッシュ、クレヨン、色鉛筆・紙	作家蔵／講談社	19.5×54.5
95	あべ弘士（作・絵）	1948-	きょうのシロクマ	2013	ガッシュ、クレヨン、色鉛筆・紙	作家蔵／光村教育図書	24.8×41.3
96	あべ弘士（作・絵）	1948-	きょうのシロクマ	2013	ガッシュ、クレヨン、色鉛筆・紙	作家蔵／光村教育図書	25.1×41.4
97	あべ弘士（作・絵）	1948-	新世界へ	2012	ペン、ガッシュ、パステル・紙	作家蔵／偕成社	23.0×61.0
98	あべ弘士（作・絵）	1948-	新世界へ	2012	ガッシュ・マット紙	作家蔵／偕成社	23.0×61.0
99	あべ弘士（作・絵）	1948-	新世界へ	2012	ガッシュ、ペン・マット紙	作家蔵／偕成社	23.0×60.6
100	あべ弘士（作・絵）	1948-	新世界へ	2012	ガッシュ、ペン・マット紙	作家蔵／偕成社	23.0×61.0
101	あべ弘士（作・絵）	1948-	新世界へ	2012	ペン、色鉛筆・マット紙	作家蔵／偕成社	23.0×61.0
102	あべ弘士（作・絵）	1948-	新世界へ	2012	ガッシュ、パステル・マット紙	作家蔵／偕成社	23.0×61.0
103	あべ弘士（作・絵）	1948-	新世界へ	2012	ガッシュ、パステル・マット紙	作家蔵／偕成社	23.0×61.0
104	あべ弘士（作・絵）	1948-	よあけ	2021	ガッシュ、ペン、インク、パステル・紙	作家蔵／偕成社	27.0×54.5
105	あべ弘士（作・絵）	1948-	よあけ	2021	ガッシュ、ペン、インク・紙	作家蔵／偕成社	27.0×54.5
106	あべ弘士（作・絵）	1948-	よあけ	2021	ガッシュ、色鉛筆・紙	作家蔵／偕成社	27.0×54.5
107	あべ弘士（作・絵）	1948-	よあけ	2021	ガッシュ、ペン、パステル・紙	作家蔵／偕成社	27.1×22.6
108	あべ弘士（作・絵）	1948-	よあけ	2021	ガッシュ、パステル、クレヨン・紙	作家蔵／偕成社	27.2×54.5
109	あべ弘士（作・絵）	1948-	よあけ	2021	ガッシュ、ペン、パステル・紙	作家蔵／偕成社	27.0×54.5
110	あべ弘士（作・絵）	1948-	よあけ	2021	ガッシュ、クレヨン・紙	作家蔵／偕成社	27.0×54.5
111	ビアンキ（原作）澤口たまみ（再話）あべ弘士（絵）	1894-1959/1960-1948-	そらいろのけもの	2004	ガッシュ・マット紙	作家蔵／福音館書店	30.0×50.0

112	ビアンキ（原作）澤口たまみ（再話）あべ弘士（絵）	1894-1959/1960-/1948-	そらいろのけもの	2004	ガッシュ・マット紙	作家蔵／福音館書店	30.0×50.0
113	ビアンキ（原作）澤口たまみ（再話）あべ弘士（絵）	1894-1959/1960-/1948-	そらいろのけもの	2004	ガッシュ・マット紙	作家蔵／福音館書店	30.0×50.0
114	ビアンキ（原作）澤口たまみ（再話）あべ弘士（絵）	1894-1959/1960-/1948-	そらいろのけもの	2004	ガッシュ・マット紙	作家蔵／福音館書店	30.0×50.0
115	あべ弘士（作・絵）	1948-	宮沢賢治「旭川。」より	2015	ガッシュ、ペン、白黒反転・紙	作家蔵／BL出版	21.0×16.8
116	あべ弘士（作・絵）	1948-	宮沢賢治「旭川。」より	2015	ペン、マーカー、コラージュ、白黒反転・紙	作家蔵／BL出版	27.3×44.0
117	あべ弘士（作・絵）	1948-	宮沢賢治「旭川。」より	2015	ペン、マーカー、コラージュ、白黒反転・紙	作家蔵／BL出版	27.2×41.5
118	あべ弘士（作・絵）	1948-	宮沢賢治「旭川。」より	2015	ガッシュ、マーカー、コラージュ、白黒反転・紙	作家蔵／BL出版	27.2×41.2
119	あべ弘士（作・絵）	1948-	宮沢賢治「旭川。」より	2015	ガッシュ、ペン、マーカー、白黒反転・紙	作家蔵／BL出版	27.2×44.0
120	あべ弘士（作・絵）	1948-	宮沢賢治「旭川。」より	2015	ガッシュ、ペン、マーカー・紙	作家蔵／BL出版	27.0×44.0
121	あべ弘士（作・絵）	1948-	クマと少年	2018	ガッシュ、パステル・紙	作家蔵／ブロンズ新社	31.0×57.0
122	あべ弘士（作・絵）	1948-	クマと少年	2018	ガッシュ、クレヨン、パステル、紙	作家蔵／ブロンズ新社	30.0×49.0
123	あべ弘士（作・絵）	1948-	クマと少年	2018	ガッシュ、色鉛筆・紙	作家蔵／ブロンズ新社	30.0×49.0
124	あべ弘士（作・絵）	1948-	クマと少年	2018	ガッシュ、パステル・紙	作家蔵／ブロンズ新社	30.0×49.0
125	あべ弘士（作・絵）	1948-	クマと少年	2018	ガッシュ、ペン・紙	作家蔵／ブロンズ新社	30.0×49.0
126	あべ弘士（作・絵）	1948-	クマと少年	2018	ガッシュ、ペン、パステル・紙	作家蔵／ブロンズ新社	30.0×49.0
127	あべ弘士（作・絵）	1948-	クマと少年	2018	ガッシュ、パステル、クレヨン・紙	作家蔵／ブロンズ新社	30.0×49.0
128	あべ弘士（作・絵）	1948-	クマと少年	2018	ガッシュ・紙	作家蔵／ブロンズ新社	30.0×49.0
129	あべ弘士（作・絵）	1948-	氷上カーニバル	2020	ガッシュ、ペン、マーカー、ホワイト、白黒反転・紙	作家蔵／のら書店	28.7×41.2
130	あべ弘士（作・絵）	1948-	氷上カーニバル	2020	ガッシュ、ペン、マーカー、コラージュ、白黒反転・紙	作家蔵／のら書店	28.5×41.2
131	あべ弘士（作・絵）	1948-	氷上カーニバル	2020	ガッシュ、ペン、マーカー、白黒反転・紙	作家蔵／のら書店	28.4×41.3
132	あべ弘士（作・絵）	1948-	氷上カーニバル	2020	ガッシュ、ペン、マーカー、白黒反転・紙	作家蔵／のら書店	26.8×41.5
133	あべ弘士（作・絵）	1948-	氷上カーニバル	2020	ガッシュ、ペン、マーカー、白黒反転・紙	作家蔵／のら書店	28.3×40.8
134	あべ弘士（作・絵）	1948-	氷上カーニバル	2020	ガッシュ、ペン、マーカー、白黒反転・紙	作家蔵／のら書店	29.8×21.0
135	あべ弘士	1948-	北極スケッチ帳No.1/No.2	2012	鉛筆、水彩・紙	作家蔵	20.3×15.2×厚さ1.7
136	あべ弘士	1948-	北極スケッチ帳No.1（複製）		コピー	作家蔵	20.3×15.2×厚さ1.7
137	あべ弘士	1948-	こんちき号探検カレンダー	2011	ペン、色鉛筆・紙	作家蔵	42.1×25.2
138	あべ弘士	1948-	こんちき号旗	2011	布	作家蔵	71.4×98.8
139	あべ弘士	1948-	アフリカの光と風(18) キリンの頭の上 雲の子ども生まれる日。	2009	油性クレヨン、ポスターカラー・紙	作家蔵	330.0×90.0
140	あべ弘士	1948-	アフリカの光と風(19) シロサイ ひとり草原にて。	2009	油性クレヨン、ポスターカラー・紙	作家蔵	330.0×90.0
141	あべ弘士	1948-	アフリカの光と風(20) インパラあぶれゐの群れ。	2009	油性クレヨン、ポスターカラー・紙	作家蔵	330.0×90.0
142	あべ弘士	1948-	アフリカの光と風(21) イボイノシシの母子がアンテナたてて歩いてく。	2009	油性クレヨン、ポスターカラー・紙	作家蔵	330.0×90.0
143	あべ弘士	1948-	フラミンゴ	2009	水性ペイント、ポスターカラー・アクリル	作家蔵	各40.0×40.0×100.0
144	あべ弘士	1948-	キリン彫刻（赤、黒）	2007	着色・鉄	作家蔵	80.0×67.0×180.0他
145	あべ弘士	1948-	アリューシャン・マジック	2024	水彩、鉄筆、鉛筆、水彩、ペン・紙ペン・紙	作家蔵	74.5×550.0

2-B-3 美術作品の貸出

貸出先	会期	作品	目的（会場）
1 本郷新記念札幌彫刻美術館	令和5年4月29日～8月27日	鈴木吾郎《石あたま》他 計2点	「彫刻60年 鈴木吾郎展」のため（本郷新記念札幌彫刻美術館）
2 北海道立旭川美術館	令和5年年7月8日～9月10日	高橋禎彦《花のような》他 計52点	「こころ・おどる・ものがたり」展のため（北海道立旭川美術館）
3 北海道庁舎内知事室等	令和5年7月9日～令和6年7月末日	松島正幸《新緑の札幌》他 計7点	知事室および知事公館で展示するため
4 北海道立帯広美術館	令和5年7月15日～8月20日	金沢健一《音のかけら N5》他 計20点	「見えない音を描く」展のため（北海道立帯広美術館）
5 京都国立近代美術館、岐阜県美術館、岡山県立美術館、菊池寛実記念智美術館	令和5年7月19日～9月24日、12月19日～令和6年2月18日、2月27日～4月7日、4月20日～9月1日	高野基夫《ノンセンシカルムード》 計1点	「開館60周年記念 走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代」展のため（京都国立近代美術館、岐阜県美術館、岡山県立美術館、菊池寛実記念智美術館）
6 神田日勝記念美術館	令和5年8月11日～10月28日	神田日勝《死馬》他 計3点	「神田日勝×岡田敦 幻の馬」展のため（神田日勝記念美術館）
7 北海道立釧路芸術館	令和5年9月1日～令和7年3月31日	中原悌二郎《若きカフカス人》 計1点	ロビー展示のため
8 北海道立釧路芸術館	令和5年9月16日～11月26日	林竹治郎《朝の祈り》他 計27点	「かもめのももちゃんと見る Cats&Dogs」展のため（北海道立釧路芸術館）
9 北海道立三岸好太郎美術館	令和5年10月7日～12月5日	ジョルジュ・ルオー《聖なる顔》他 計6点	「三岸好太郎再発見！」展のため（北海道立三岸好太郎美術館）

2 - C 教育普及活動

2 - C - 1 教育普及活動一覧

①展覧会関連事業

展覧会ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
トリック×イリュージョン！ 4月22日（土）～6月11日（日）	アーティスト・トーク	4月22日（土）11:00-12:00	講堂	須田悦弘（美術家、本展出品作家）	65	
	見どころトーク	①5月13日（土）14:00-14:40 ②6月3日（土）14:00-14:40	講堂	野田佳奈子（当館学芸員）	160	①51 ②109
	特別講演会「見ることの不確かさと面白さ」	5月27日（土）11:00-12:00	講堂	金子沙永（北海道大学大学院 文学研究院 准教授）	69	
	ワークショップ「手作りスリットアニメーション」	①5月20日（土）10:30～11:30 ②5月28日（日）10:30～11:30	映像室	フジ森（アートユニット、本展出品作家）	18	①10 ②8
揺さぶる絵 変貌する日本画のイメージ 9月16日（土）～11月12日（日）	見どころ解説	①9月23日（土）14:00-14:40 ②9月30日（土）14:00-14:30 ③10月21日（土）14:00-14:30 ④11月11日（土）14:00-14:30	①講堂 ②映像室 ③講堂 ④講堂	①土岐美由紀（当館学芸統括官） ②門間仁史（当館主任学芸員） ③門間仁史（当館主任学芸員） ④飯田花織（当館学芸員）	80	①25 ②13 ③20 ④22
	講演会「中村正義、挑む！！」	10月14日（土）14:00-15:30	講堂	丸地加奈子（豊橋市美術館学芸専門員）	52	
	講座	10月28日（土）14:00-15:30	講堂	土岐美由紀（当館学芸統括官）	35	
揺さぶる絵展同時開催 アール・ヌーヴォー 自然を映しだすガラス 9月16日（土）～11月12日（日）	見どころ解説	①9月30日（土）14:30-15:00 ②10月21日（土）14:30-15:00	①映像室 ②講堂	河本真夕（当館学芸員）	34	①14 ②20
揺さぶる絵展同時開催 アートギャラリー北海道 小川原脩記念美術館コレクション展 9月16日（土）～11月12日（日）	学芸員によるギャラリートツアー	①11月3日（祝金）14:00-14:30 ②11月5日（日）14:00-14:30	展示室A 2F	光岡幸治（当館上席専門員）	9	①6 ②3
札幌テレビ放送創立65周年記念 足立美術館所蔵近代日本画と北大路魯山人展 一和の美、再発見。 9月16日（土）～11月12日（日）	講演会「足立美術館のコレクションと庭園の魅力」	9月16日（土）13:30-15:00	講堂	安部則男（足立美術館学芸部長）	90	
	講演会「北大路魯山人の人と作品」	9月17日（日）13:30-15:00	講堂	松原龍一（企画協力・美術工芸史家）	63	
	見どころ解説	①9月30日（土）14:00-15:00 ②10月7日（土）14:00-15:00 ③10月29日（日）10:30-11:30 ④11月6日（木）10:30-11:30	講堂	①熊谷麻美（当館学芸員）／瀬戸厚志（当館主任学芸員） ②星野靖隆（当館学芸員） ③熊谷麻美（当館学芸員）／瀬戸厚志（当館主任学芸員） ④星野靖隆（当館学芸員）／瀬戸厚志（当館主任学芸員）	177	①44 ②40 ③42 ④51
	上映会「炎の料理人 北大路魯山人」	①10月22日（日）10:00-11:35 ②11月1日（水）13:30-15:05 ③11月2日（木）10:00-11:35 ④11月3日（祝金）10:00-11:35 ⑤11月7日（火）13:30-15:05	講堂		387	①45 ②70 ③77 ④78 ⑤117
AINU ART—モレウのうた 1月13日（土）～3月10日（日）	トゥレップン with キンビkids ①トゥレップンとあそぼう！アイヌ語巨大カルタ ②アイヌ刺繍&トンコリ・ムックリちらっと体験	1月13日（土）10:30-12:00	1Fホール	②刺繍…西田香代子/西山知花 トンコリ…Pette ムックリ…邊泥文絵	123	①8 ②115

	アーティスト・トーク「ものづくりの現場から」	1月27日(土)①11:00-11:40 ②14:00-14:40 2月17日(土)③11:00-11:40／④14:00-14:40 3月2日(土)⑤11:00-11:40／⑥14:00-14:40	1Fホール、展示室A	講師： ①貝澤徹②下倉洋之③結城幸司④藤戸康平⑤関根真紀⑥小笠原小夜 聞き手：五十嵐聡美	339	①57②42 ③50④70 ⑤65⑥55
	アイヌ文化ちらっと体験「ふれてみよう・着てみよう」	①2月11日(日) ②2月12日(月祝) 10:30-12:00	2F東側コーナー		73	①41 ②32
札幌国際芸術祭2024 1月20日(土)～2月25日(日)	学芸員と巡る深掘りガイドツアー	①1月27日(土) ②2月3日(土) ③2月10日(土) 13:00-13:50	展示室B	①②中村聖司(当館学芸副館長) ③河本真夕(当館学芸員)	140	①45 ②50 ③45人
	ワークショップ「あべ弘士さんと作る！北極の動物モビール」 ※アートギャラリー北海道～みんなのアートプロジェクト 夏休みこどもワークショップ2022 共催事業 ※(公財)日本教育公務員弘済会 共催事業	1月28日(日) ①11:00-13:00 ②14:00-16:00	造形室	講師：あべ弘士(作家)	24	①13 ②11
AINU ARTーモレウのうた 1月13日(土)～3月10日(日) 札幌国際芸術祭2024 1月20日(土)～2月25日(日)	FRAGILE AINU ART 連携トーク「あっちもこっちも面白い」	2月17日(土)13:00-14:00	1Fホール	中村聖司(当館学芸副館長) 五十嵐聡美(当館学芸部長)	55	

②解説活動

事業名等	タイトル・内容等	日時	会場	講師名他	人数	内訳・他
学芸員によるミュージアム・トーク	伊藤隆介の「Realistic Virtuality」について	4月2日(日) 14:00-14:30	展示室A	講師／久米淳之(当館上席専門員)	133	10
	第二次世界大戦前後の田辺三重松の制作をめぐって	4月9日(日) 14:00-14:30	展示室A	講師／星野靖隆(当館学芸員)		16
	友田多喜雄コレクションについて	4月23日(日) 14:00-14:30	展示室A	講師／星野靖隆(当館学芸員)		11
	藤田喬平の飾宮	4月30日(日) 14:00-14:30	展示室A	講師／瀬戸厚志(当館主任学芸員)		6
	日本の現代ガラス	5月7日(日) 14:00-14:30	展示室A	講師／門間仁史(当館主任学芸員)		5
	〈ミセレーレ〉の光	5月14日(日) 14:00-14:30	展示室A	講師／久米淳之(当館上席専門員)		12
	田中忠雄ー聖書の物語をみつめて	5月21日(日) 14:00-14:30	展示室A	講師／光岡幸治(当館上席専門員)		11
	小柴外一のガラス	5月28日(日) 14:00-14:30	展示室A	講師／瀬戸厚志(当館主任学芸員)		11
	ピカソとクラークヴェのリトグラフ	6月4日(日) 14:00-14:30	展示室A	講師／村山美波(当館学芸員)		11
	〈ミセレーレ〉の光	6月11日(日) 14:00-14:30	展示室A	講師／久米淳之(当館上席専門員)		22
	バスキンー足跡をだどって	3月24日(日) 14:00-14:30	展示室A	講師／菌部容子(当館リサーチ推進課長)		12
	岩田久利と現代ガラス	3月31日(日) 14:00-14:30	展示室A	講師／飯田花織(当館学芸員)		6
ギャラリー・ツアー	〈近美コレクション〉において、北海道美術館協力会ボランティア解説部によるギャラリー・ツアー(展示解説)を行う。火～土曜日3回の定時実施に加え、希望する団体には時間調整のうえ適宜実施した。	日曜・祝日を除く毎日(各回約30分) 火～土曜日(1日3回) 11:30-、13:00-、14:00-	展示室A	講師／北海道美術館協力会ボランティア解説部	1,026	個人利用 875名、212回 団体利用 151名、9回

③その他の教育普及事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
電子ガイド	スマートフォンのアプリ「ポケット学芸員」を通じて、野外彫刻や各館内の展示作品について文字と音声による電子版のガイドを公開し、同エリアの魅力向上と作品鑑賞を促進した。	11月3日（金）～	北海道立近代美術館、三岸好太郎美術館、知事公館	（コンテンツ） ① ブールデル《力》 ② 瀧川嘉子《ゼロ夢幻》 ③ 流政之《雲の砦Jr.》 ④ 三岸好太郎《オーケストラ》 ⑤ 三岸好太郎《飛ぶ蝶》 ⑥ 三岸好太郎《のんびり貝》 ⑦ 木田金次郎《落暉》 ⑧ 国松登《夕風》 ⑨ 安田侃《意心帰》		
アートギャラリー北海道～みんなのアートプロジェクト 夏休みこどもワークショップ2022 ※(公財)日本教育公務員弘済会 共催事業	当年度は札幌国際芸術祭2024ワークショップ「あべ弘士さんとする！北極の動物モバイル」の共催事業として実施した。	1月28日(日) ①11:00-13:00 ②14:00-16:00	映像室	講師：あべ弘士(作家)		参加人数は札幌国際芸術祭2024ワークショップに計上
北海道リモート・ミュージアム	展覧会やコレクション等を学芸員が紹介・解説する動画をWEB配信	①6月26日(月) ②10月20日(金) ③2月15日(木)	WEB配信（Youtube）	〈コンテンツ／解説／編集〉 ①「昭和のガラス」／瀬戸厚志(当館主任学芸員)／飯田花織(当館学芸員) ②「アートギャラリー北海道小川原脩記念美術館コレクション展」／光岡幸治(当館上席専門員)／飯田花織(当館学芸員) ③「AINU ARTーモレウのうた」／村山美波(当館学芸員)／飯田花織(当館学芸員)		

④学校教育との連携・協力事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
オンラインアート教室	遠隔地の学校を対象に、オンラインで当館および三岸好太郎美術館の収蔵作品の鑑賞と解説を行った。	①8月22日(火) 15:40-16:30 北海道中標津高等学校 ②8月29日(火) 13:20-14:10 北海道札幌豊学校中等部 ③9月26日(火) 10:40-11:30 北海道幕別清陵高等学校 ④11月8日(水) 10:25-11:15 北海道余市養護学校高等部 ⑤11月14日(火) 14:10-14:45 北海道岩内高等学校 ⑥12月13日(水) 13:25-14:15 北海道余市紅志高校 ⑦12月19日(火) 11:35-12:25/13:15-14:05/14:10-15:00 北海道千歳高等支援学校	収蔵庫前および三岸好太郎美術館展示室	①野田佳奈子(当館学芸員) ②熊谷麻美(当館学芸員) ③星野靖隆(当館学芸員) ④井内佳津恵(三岸美術館学芸員) ⑤熊谷麻美(当館学芸員) ⑥久米淳之(当館上席専門員) ⑦熊谷麻美(当館学芸員) 野田佳奈子(当館学芸員)	135	①10 ②6 ③31 ④7 ⑤14 ⑥20 ⑦47
博物館実習（館園実習）	学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、7日間のカリキュラムで美術館における実務実習を受け入れた。	8月2日(水)-8月9日(水) 各日10:00-17:00	映像室、展示室、収蔵庫ほか	講師／当館職員、北海道美術館協力会ボランティア	14	
博物館実習（見学実習）	学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、美術館の見学実習を受け入れた。	①5月23日(火)札幌学院大学 ②6月10日(土)札幌大学 ③8月31日(木)北海道教育大学岩見沢校 ④9月26日(火)札幌国際大学 ⑤10月19日(木)東海大学	展示室、収蔵庫ほか	対応／当館学芸員	78	①13 ②18 ③23 ④11 ⑤13
職場体験等の受け入れ	学校からの依頼により、職場体験学習として美術館での業務を希望する生徒を受け入れた。	① 9月28日(木)札幌市立新川中学校 ②10月24日(火)-10月25日(水)星槎国際高等学校 ③1月13日(土)札幌市立札幌南高等学校	館内各室		9	①4 ②4 ③1
自主研修等の受け入れ	修学旅行や研修旅行、総合的な学習の時間などの一環として当館を訪問する児童・生徒に対して、美術館活動の説明や質問への回答、施設見学などを行った。	①5月16日(火) 恵庭市立恵庭中学校 ②5月16日(火) 南幌町立南幌中学校 ③5月17日(水) 余市町立西中学校 ④5月25日(木) 小樽市立銭函中学校 ⑤6月2日(金) 札幌市立新陵中学校 ⑥10月18日(水) 雨竜町立雨竜中学校	映像室、展示室、ARSほか	対応／当館学芸員、北海道美術館協力会ボランティア解説部	79	①6 ②10 ③4 ④4 ⑤20 ⑥4
教員研修	道立近代美術館・道立三岸好太郎美術館を活用した学習の充実及び学校と道立近代美術館・道立三岸好太郎美術館との一層の連携を図るため、長期休業期間中に、教員を対象に研修を実施した。	①7月27日(木)13:00-17:00 ②1月11日(木)13:00-17:00	映像室ほか	対応／当館学芸員、三岸好太郎美術館学芸員	5	①2 ②3

2－C－2 資料・情報関係

特別観覧

当館所蔵の作品や写真資料等について、印刷物掲載やインターネット上の公開等を目的にした撮影や写真または画像データの借用希望等、ならびに研究目的の熟覧希望等に対し、特別観覧として対応した。

(令和6年3月31日現在。単位は件)

	撮影	模写	熟覧	写真原板 使用	デジタル データ	掲載承諾	合計
研究	1		3				4
展示					2		2
出版					19	4	23
放送					2	1	3
上映					1		1
配信	1				4	1	6
合計	2	0	3	0	28	6	39

(うち重複7件)

主な申請者

撮影 / 株式会社モーニング、北海道立北方民族博物館

熟覧 / 国内外個人研究者、作家遺族

写真原板又はデジタルデータの使用 / 北海道新聞社、阿部出版株式会社、NHKエデュケーショナル、(公財)札幌交響楽団 ほか

ウェブサイト

ホームページにおける情報提供を行なった。

令和5年度の年間アクセス件数(令和6年3月31日現在) : 571,976件

開設(平成11年4月)以来のアクセス件数 : 7,254,926件

所蔵作品データ公開

Web上で令和4年1月7日よりサムネイル画像及び基本データ(作家名、作品名、制作年等)を検索可能なデータベースとして公開。

(現時点で令和4年度末までの全収蔵作品5,908点を公開)

ソーシャルメディア

ソーシャルメディア(ツイッターおよびフェイスブック)を活用して、逐次的な情報提供と広報活動に取り組んだ。

ツイッターへの投稿数 : 146回

ツイッターのフォロワー数(定期通知者数) 令和6年3月31日現在 : 12,625名

フェイスブックへの投稿数 : 127回

フェイスブックのいいね数(定期通知者数) 令和6年3月31日現在 : 5,893名

刊行物

種別	刊行物名	出版時期	備考
図録	トリック×イリュージョン！	令和５年４月	編集：北海道立近代美術館、北海道新聞社 発行：北海道新聞社
図録	揺さぶる絵 変貌する日本画のイメージ	令和５年９月	編集：北海道立近代美術館 発行：中西出版株式会社
図録	足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展 ー和の美、再発見。	令和５年９月	編集：北海道立近代美術館 発行：札幌テレビ放送株式会社
図録	AINU ARTーモレウのうた Contemporary AINU ART and Crafts 2023-2024	令和６年１月	編集：北海道立近代美術館・一宮市三岸節子記念美術館・公益財団法人アイヌ民族文化財団 発行：公益財団法人アイヌ民族文化財団
会場ガイドブック	LAST SNOW 札幌国際芸術祭 SIAF2024 会場ガイドブック 北海道立近代美術館 1924-2024 FRAGILE [こわれもの注意]	令和６年１月	編集：北海道立近代美術館、札幌国際芸術祭実行委員会事務局、STORK 発行：札幌国際芸術祭実行委員会事務局
図録 ライヴ版	AINU ARTーモレウのうた Contemporary AINU ART and Crafts 2023-2024 LIVE	令和６年１月	編集：北海道立近代美術館、公益財団法人アイヌ民族文化財団 発行：公益財団法人アイヌ民族文化財団
展示記録集	札幌国際芸術祭2024 北海道立近代美術館会場・展示記録集	令和６年３月	編集：北海道立近代美術館 発行：北海道立近代美術館
紀要	北海道立美術館・芸術館紀要 第33号 2024	令和６年3月	編集・発行：北海道立近代美術館ほか

2-D 調査研究

1 学芸員の調査研究活動

当館は、地域の研究機関としての役割を果たし、美術に関する総合的な調査・研究を行って、その成果を展覧会や普及事業、教育支援等、広く美術館活動に反映させるとともに地域社会に還元している。

とくにコレクションの柱である北海道の美術、ガラス、エコール・ド・パリ関係については重点的に調査研究を推進するよう努めているほか、各学芸員はそれぞれコレクションの各分野、所蔵品特別研究、展覧会（特別展・コレクション展・その他プロジェクト）、教育支援、美術館学、地域文化振興等を担当して関連する調査研究、また個別的研究課題や重点分野に関して継続的な調査研究を行っている。

本項には、各員ごとの担当および研究成果等を記した（なお、コレクション分野のうち、北海道の美術、ガラス、エコール・ド・パリについては、担当者以外にも全員が調査研究対象とすることとしている）。

○飯田花織（学芸員）

[担当分野（コレクション）]

- ・日本画
- ・版画

[担当展覧会]

- ・揺さぶる絵—変貌する日本画のイメージ
- ・現代ガラスのオノマトベ

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代日本画
- ・京都画壇、特に国画創作協会

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講話]「揺さぶる絵—変貌する日本画のイメージ」見どころ解説（令和 5/11/11）
- ・[講話]「岩田久利と現代ガラス」（令和 6/3/31 近美コレクション・ミュージアム・トーク）

<執筆・発表>

- ・作家・作品解説『揺さぶる絵—変貌する日本画のイメージ』展図録、北海道立近代美術館、中西出版（令和 5/9/16）
- ・作品解説 門脇むつみ、芳澤勝弘編『若冲画賛 賛を読んで知る若冲画の秘密』朝日新聞出版（令和 5/3/7）

<展示>

- ・揺さぶる絵—変貌する日本画のイメージ 解説執筆
- ・現代ガラスのオノマトベ 解説執筆

<教育支援>

- ・ワークショップ「あべ弘士さんと作る！北極の動物モビール」（令和 6/1/28 アートギャラリー北海道～みんなのアートプロジェクト 2023×札幌国際芸術祭 2024）

<調査活動>

- ・現代作家調査（札幌）

○五十嵐聡美（学芸部長）

[担当分野（コレクション）]

- ・日本画
- ・彫刻
- ・書
- ・ネイティブアート
- ・三岸好太郎

[担当展覧会]

- ・AINU ART—モレウのうた

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・アイヌ絵（小玉貞良、蠣崎波響、平澤屏山）
- ・アイヌ・アート
- ・北海道の木彫（藤戸竹喜、瀧口政満、岡沼淳一、砂澤ビッキ）

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講座]「アイヌ絵を読む-蠣崎波響、小玉貞良、平澤屏山を中心に」（令和 5/5/11 北海道美術館協力会美術講座 2023）
- ・[講義]「学芸員に求められるもの」（令和 5/6/13 北海道教育委員会新採用研修）
- ・[講話]「ギャラリーツアー」（令和 5/6/16 大和ジャパン・ハウス主催「TENTACLE by Bikky Sunazawa」展 ジャパンハウスギャラリー ロンドン）
- ・[講演]「絵で見る北海道の歴史～小玉貞良・蠣崎波響・松浦武四郎を中心に～」（令和 5/10/12 旧相馬家住宅主催歴史講演会）
- ・[講座]「近代美術館の活動（1）展示会の企画と運営」（令和 5/11/2 北海道美術館協力会ボランティア研修部共通研修）
- ・[講話]「あっちもこっちも面白い」（令和 6/2/17 AINU ART-モレウのうた×札幌国際芸術祭連携トーク）
- ・[報告]「漁場風景を描く-今昔」（令和 6/3/24 小樽市総合博物館ゼミナール 小樽学『鯨盛業図を読む』）

<執筆・発表>

- ・書評「反戦と西洋美術」『北海道新聞』（令和 5/4/23）
- ・エッセイ「木彫家・藤戸竹喜 北のいのちを謳う」『大塚薬報』（2023 年 5 月号）
- ・書評「女性画家たちと戦争」『北海道新聞』（令和 5/9/24）
- ・小論「序 AINU ART-モレウのうた」『AINU ART-モレウのうた』展図録（令和 6/1/13）
- ・寄稿「AINU ART-モレウのうた」『新美術新聞』（令和 6/1/5）

<展示>

- ・AINU ART 展-モレウのうた 展示構成・解説執筆

<調査活動>

- ・砂澤ビッキ作品調査
- ・藤戸竹喜作品調査
- ・アイヌ・アート作家・作品調査
- ・平沼深雪作品調査
- ・アイヌ絵作品調査「えぞ絵」（個人蔵）

<社会貢献活動>

- ・札幌大学非常勤講師（アイヌ工芸 B1）
- ・市立小樽美術館協議会委員
- ・市立小樽美術館資料収蔵委員会委員
- ・小樽市総合博物館協議会委員
- ・公益財団法人アイヌ民族文化財団令和 5 年度アイヌ工芸品展企画委員
- ・公益財団法人アイヌ民族文化財団令和 5 年度助成事業審査委員会委員
- ・公益財団法人アイヌ民族文化財団令和 6 年度助成事業審査委員会委員
- ・公益財団法人アイヌ民族文化財団令和 5 年度アイヌ工芸品展中長期計画策定委員会委員
- ・公益財団法人アイヌ民族文化財団令和 5 年度アイヌ関係資料評価委員会委員
- ・国立アイヌ民族博物館令和 5 年度運営会議研究推進ワーキング会議構成員
- ・国立アイヌ民族博物館令和 5 年度文化財買取評価委員及び寄贈委員
- ・令和 5 年度札幌芸術の森等作品選定委員会委員
- ・札幌市令和 5 年度「アイヌ工芸品等販売」検討会議委員
- ・「札幌市（仮称）大通観光案内・アイヌ文化 PR コーナー」設え・デザイン等検討業務企画競争実施委員会委員

○河本真夕（学芸員）

[担当分野（コレクション）]

- ・油彩
- ・版画
- ・エコール・ド・パリ

[担当展覧会]

- ・アール・ヌーヴォー 自然を映しだすガラス（近美コレクション）
- ・札幌国際芸術祭 SIAF2024・北海道立近代美術館会場 1924-2024 FRAGILE[こわれもの注意]
- ・星の瞬間-アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・北海道の美術
- ・西洋（スペイン）美術
- ・近代日本キリスト教美術
- ・ナバレーテ・エル・ムード
- ・青山熊治

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講話]「友田コレクション」オリエンテーション(令和 5/6/3 クラーク記念国際高等学校)
- ・[講話]「アール・ヌーヴォー 自然を映しだすガラス」見どころ解説(令和 5/9/30, 10/21)
- ・[トーク]「学芸員と巡る深掘りガイドツアー」(令和 6/2/10 札幌国際芸術祭 SIAF2024・北海道立近代美術館会場 1924-2024 FRAGILE[こわれもの注意])

<執筆・発表>

- ・「ナバレーテ・エル・ムード作《聖家族》について」『鹿島美術研究』第 39 号別冊（令和 5/7/31）
- ・作品解説『札幌国際芸術祭 2024 会場ガイドブック北海道立近代美術館』（令和 6/1/20）
- ・「栗谷川健一《北洋博》の人魚像」「今和次郎と関東大震災」、作品解説『札幌国際芸術祭 2024 北海道立近代美術館会場・展示記録集』中西出版（令和 6/3/29）

<展示>

- ・アール・ヌーヴォー 自然を映しだすガラス 解説執筆
- ・札幌国際芸術祭 SIAF2024・北海道立近代美術館会場 1924-2024 FRAGILE[こわれもの注意] 解説執筆

<教育支援>

- ・ワークショップ「あべ弘士さんと作る！北極の動物モビール」(令和 6/1/28 アートギャラリー北海道～みんなのアートプロジェクト 2023×札幌国際芸術祭 2024)

<調査活動>

- ・青山熊治資料調査（大阪、中之島中央図書館）
- ・#みまのめ作家調査（札幌）

<社会貢献活動>

- ・スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会会報委員
- ・北海道芸術学会編集委員

<受賞>

- ・令和 5 年度『美術史』論文賞（令和 5/5/26 美術史學會）
- ・令和 5 年度学生表彰（令和 6/3/13 神戸大学）

○熊谷麻美（学芸員）

[担当分野（コレクション）]

- ・版画
- ・デザイン
- ・浮世絵

[担当展覧会]

- ・足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展 一和の美、再発見。

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・北海道の仏教美術史
- ・オンラインを活用した鑑賞教育

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講座]「足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展 一和の美、再発見。」見どころ解説（令和 5/9/30、10/29）

<執筆・発表>

- ・「展覧会ピックアップ① 厚岸・国泰寺の 200 年」『NORTHERN OWLS』第 32 号（令和 5/2/28）
- ・『足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展 一和の美、再発見。』展公式展覧会ムック 北海道立近代美術館（令和 5/9）
- ＜展示＞
- ・足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展 一和の美、再発見。 展示構成・解説執筆
- ＜教育支援＞
- ・オンラインアート教室（令和 5/8/29 北海道札幌聾学校）
- ・ワークショップ「あべ弘士さんと作る！北極の動物モビール」（令和 6/1/28 アートギャラリー北海道～みんなのアートプロジェクト 2023×札幌国際芸術祭 2024）
- ＜教育支援＞
- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド（令和 5/11/3 公開）
- ＜調査活動＞
- ・北海道における仏教美術の基礎的研究（令和 5 年度鹿島美術財団 美術に関する調査研究助成）

〇久米淳之（上席専門員）

[担当分野（コレクション）]

- ・彫刻
- ・現代美術
- ・映像・写真

[担当展覧会]

- ・友田コレクションの精華（近美コレクション）
- ・新収蔵品展
- ・アール・ヌーヴォー 自然を映しだすガラス（近美コレクション）

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代美術
- ・彫刻
- ・北海道の美術
- ・安田侃（作家作品研究）
- ・北海道の彫刻庭園調査

[研究成果・発表活動]

＜講演・講座・トーク等＞

- ・[講話]伊藤隆介の「Realistic Virtuality」について（令和 5/4/2 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
- ・[講話]「友田コレクション」オリエンテーション（令和 5/5/26 北海道高等学校文化連盟）
- ・[講話]「友田コレクション」「新収蔵品展」オリエンテーション（令和 5/6/10 札幌大学学芸員課程博物館実習）
- ・[講話]「ミセレーレの光」（令和 5/6/11 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
- ・[講座]「北の美術のゆくえに想いを」（令和 6/2/5 北海道美術館協力会ボランティア解説部新年特別研修会）

＜執筆・発表＞

- ・「【虫文花器】エミール・ガレ」『第 655 回札幌交響楽団定期演奏会プログラム』（令和 5/9/9）
- ・「季評美術 4 月～6 月」『北海道新聞朝刊』（令和 5/7/26）
- ・「第 97 回「道展」評」『道展ニュース』No. 152（令和 5/12/16）

＜展示＞

- ・友田コレクションの精華 展示構成・解説執筆
- ・新収蔵品展 展示構成・解説執筆
- ・アール・ヌーヴォー 自然を映しだすガラス 展示構成・解説執筆

＜教育支援＞

- ・オンラインアート教室「凸凹？ ゆらゆら？ 眼の錯覚を生むアート」（令和 5/12/13 北海道余市紅志高等学校）

＜調査活動＞

- ・小寺真知子文献調査（札幌）
- ・奈良美智作品調査（苫小牧、青森）

＜教育支援＞

- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド（令和 5/11/3 公開）

＜社会貢献活動＞

- ・札幌市 2024 紺綬褒章の上申に伴う美術作品の評価

- ・「JR タワー・アートプラネッツ・ラスト展」実行委員会委員 作品審査
- ・「2024 さっぽろ雪まつりスノーオブジェコンテスト」審査会・表彰式(令和 6/2/5)

○瀬戸厚志（主任学芸員）

[担当分野（コレクション）]

- ・ガラス
- ・工芸（陶磁・染織）

[担当展覧会]

- ・昭和のガラス工芸（近美コレクション）
- ・足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展 一和の美、再発見。
- ・現代ガラスのオノマトペ（近美コレクション）

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代日本美術
- ・陶磁
- ・北海道の野外彫刻（作品調査）
- ・アイヌ民族の木彫（作家作品研究）
- ・北海道各地域の公募展史

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講話]「藤田喬平の飾篭」（令和 5/4/23 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
- ・[講話]「小柴外一のガラス」（令和 5/5/28 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
- ・[講座]「足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展 一和の美、再発見。」見どころ解説（令和 5/9/30、10/7、10/29、11/6）
- ・[講話]「ガラス作家が語る!現代ガラスのオノマトペ」（令和 6/3/23 北海道立近代美術館 美術講座）

<執筆・発表>

- ・『足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展 一和の美、再発見。』展公式展覧会ムック 北海道立近代美術館(令和 5/9)

<展示>

- ・昭和のガラス工芸 展示構成・解説執筆
- ・足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展 一和の美、再発見。 展示構成・解説執筆
- ・現代ガラスのオノマトペ 展示構成・解説執筆

<教育支援>

- ・オンラインアート教室（令和 5/11/14 北海道岩内高等学校）

<教育支援>

- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド（令和 5/11/3 公開）

<社会貢献活動>

- ・北海道教育大学釧路校非常勤講師（美術史、釧路の美術ほか）

○蘭部容子（リサーチ推進課長）

[担当分野（コレクション）]

- ・油彩
- ・ガラス工芸
- ・現代美術

[担当展覧会]

- ・越境者パスキン（近美コレクション）

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・北海道十勝地方の美術
- ・北海道の現代美術
- ・戦前の道東美術

- ・能勢真美（作家作品研究）
- ・寺島春雄（作家作品研究）

〔研究成果・発表活動〕

＜講演・講座・トーク等＞

- ・〔講座〕「十勝美術の青春時代～1960年代を中心に～」(令和 5/7/16 神田日勝記念美術館)
- ・〔講座〕「近代美術館の活動③ コレクションの収集・管理および調査研究」(令和 5/8/3 博物館実習講義)
- ・〔講座〕「近代美術館の活動 (2) 作品の収集・保管 (3) 調査・研究」(令和 6/1/24 北海道美術館協力会ボランティア 研修部共通研修)
- ・〔講話〕「パスキン 一足跡をたどって」(令和 6/3/24 近美コレクション・ミュージアム・トーク)

＜展示＞

- ・越境者パスキン 展示構成・解説執筆

＜教育支援＞

- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド(令和 5/11/3 公開)

＜調査活動＞

- ・「皇居三の丸尚蔵館展」調査
- ・現代作家調査(札幌、帯広)

〇土岐美由紀（学芸統括官 兼 企画推進課長）

〔担当分野（コレクション）〕

- ・日本画
- ・浮世絵

〔担当展覧会〕

- ・揺さぶる絵—変貌する日本画のイメージ展

〔教育支援・美術館学〕

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネジメント

〔地域文化の振興〕

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

〔重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等〕

- ・北海道の美術
- ・近現代日本画
- ・片岡球子、岩橋英遠、福井爽人

〔研究成果・発表活動〕

＜講演・講座・トーク等＞

- ・〔講座〕「岩橋英遠 孤高のまなざしがひらく戦後日本画」(令和 5/5/25 北海道美術館協力会美術講座 2023)
- ・〔講演〕「片岡球子—“面構”創造の現場」(令和 5/6/10 岩手県立美術館)
- ・〔講座〕「揺さぶる絵—変貌する日本画のイメージ」(令和 5/9/28 北海道美術館協力会美術講座プレミアム 2023)
- ・〔講座〕「片岡球子と戦後の日本画」(令和 5/10/3 令和 5 年度第 2 期えるのす連続講座女性大学)
- ・〔講座〕「揺さぶる絵—片岡球子と中村正義を中心に—」(令和 5/10/28 特別展関連事業)
- ・〔講話〕揺さぶる絵展 見どころ解説(令和 5/10/21)

＜執筆・発表＞

- ・「岩橋英遠—応答する眼」『岩橋英遠・岩橋崇至 ふたりの目差し』展図録 相模原市民ギャラリー(令和 5/8/5)
- ・「揺さぶる絵展への誘い」『岩橋英遠—孤高のまなざし』『片岡球子 自己流に彩る日本画』、章・作品解説『揺さぶる絵—変貌する日本画のイメージ』展図録 北海道立近代美術館(令和 5/9/16 中西出版)

＜展示＞

- ・「揺さぶる絵—変貌する日本画のイメージ」展 展示構成、解説執筆

＜教育支援＞

- ・〔講話〕「美術館の教育普及活動」(令和 5/7/27 令和 5 年度道立近代美術館活用学習のための指導者研修)
- ・〔講話〕「美術館での鑑賞を深めるために」(令和 6/1/11 令和 5 年度道立近代美術館活用学習のための指導者研修)

＜調査活動＞

- ・豊橋市美術博物館日本画コレクション調査
- ・中村正義作品調査

＜社会貢献活動＞

- ・札幌市 500m美術館専門委員会委員
- ・道銀芸術文化奨励賞選考委員

中村聖司（学芸副館長）

[担当分野（コレクション）]

- ・版画
- ・デザイン
- ・エコール・ド・パリ

[担当展覧会]

- ・札幌国際芸術祭 2024・北海道立近代美術館会場「1924-2024 FRAGILE[こわれもの注意]」
- ・星の瞬間－アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代美術
- ・北海道の美術
- ・博物館学

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講座]「アンドレ・ドラネー四つの時代を生きたフランスの画家」（令和 5/5/18 北海道美術館協力会美術講座 2023）
- ・[講座]「1 美術館の沿革・活動・運営など／2 組織人として、学芸員として大切にすべきこと」（令和 5/6/14 新任学芸員研修）
- ・[講座]「近代美術館のこれまでとこれから」（令和 5/8/2 博物館実習 [館園実習]）
- ・[講座]「近代美術館のこれまでとこれから」（令和 5/9/21 北海道美術館協力会ボランティア研修部共通研修）
- ・[講座]「林縁の眼のひとたち－画家・高坂和子と日高理恵子について」（令和 6/2/10 北海道立釧路芸術館）
- ・[講話]「あっちもこっちも面白い」（令和 6/2/17 AINU ART-モレウのうた×札幌国際芸術祭連携トーク）
- ・[講座]「デイヴィッド・ナッシュと音威子府、1993-94 年の思い出」（令和 6/2/24 北海道立旭川美術館）
- ・[トーク]「SIAF2024 オープニング・ディレクター・キャラバン：北海道立近代美術館会場解説」（令和 6/1/20 北海道立近代美術館）
- ・[トーク]「学芸員と巡る深掘りガイドツアー」（令和 6/1/27、2/3 札幌国際芸術祭 SIAF2024・北海道立近代美術館会場 1924-2024 FRAGILE[こわれもの注意]）

<執筆・発表>

- ・「フラジャイルな 100 年間の箱を、開けてみる」『札幌国際芸術祭 2024 会場ガイドブック北海道立近代美術館』（令和 6/1/20）
- ・趣旨文、「フラジャイルな 100 年間の箱を、開けてみる」「北洋漁業と平野禎邦の写真」「イヌイットの壁掛け」「国松登の《星月夜》」「あべ弘士の旅」『札幌国際芸術祭 2024 北海道立近代美術館会場・展示記録集』中西出版（令和 6/3/29）
- ・「国松登の《星月夜》」『第 658 回札幌交響楽団定期演奏会プログラム』札幌交響楽団（令和 6/1/27）

<展示>

- ・SIAF2024・北海道立近代美術館会場「1924-2024 FRAGILE[こわれもの注意]」展示構成・解説執筆

<調査活動>

- ・SIAF2024・北海道立近代美術館会場出品作家の調査
- ・令和 6 年度特別展関係作家、収集活動関係作家に関する調査

<社会貢献活動>

- ・札幌大谷大学・大谷短期大学非常勤講師（北海道の美術）
- ・札幌芸術の森事業部美術館専門委員会委員
- ・北海道立釧路芸術館運営協議会委員
- ・神田日勝記念美術館運営協議会委員
- ・北海道博物館協会副会長
- ・道央地区博物館等連絡協議会監事
- ・北海道学芸員研究協議会副会長
- ・JR タワー・アートプラネッツ・ラスト展実行委員会委員

○野田佳奈子（学芸員）

[担当分野（コレクション）]

- ・油彩
- ・エコール・ド・パリ
- ・デザイン

[担当展覧会]

- ・トリック×イリュージョン！
- ・＃みまのめ VOL.9（北海道立三岸好太郎美術館）

- ・星の瞬間－アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学、美術館学

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代美術
- ・近現代北海道美術史
- ・居串佳一
- ・栗谷川健一
- ・美術館における保存業務

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講座]「見破れる？トリック×イリュージョン！」(令和 5/4/27 北海道新聞社オンライン講座)
- ・[講座]「トリック×イリュージョン！展」みどころ解説(令和 5/5/13, 6/3)
- ・[講話]「大野アナ×野田学芸員 スペシャルトーク」(令和 5/6/3 北海道立近代美術館「トリック×イリュージョン！」展)

<執筆・発表>

- ・「梶田みなみ」「中村まり子」『＃みまのめ VOL.9 リーフレット』(北海道立三岸好太郎美術館 令和 5/12)

<展示>

- ・トリック×イリュージョン！ 展示構成・解説執筆
- ・＃みまのめ VOL.9 展示構成・解説執筆

<教育支援>

- ・オンラインアート教室「凸凹？ ゆらゆら？ 眼の錯覚を生むアート」(令和 5/8/22 北海道中標津高等学校、12/19 北海道千歳高等支援学校)
- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド(令和 5/11/3 公開)

<調査活動>

- ・現代作家調査

○星野靖隆(学芸員)

[担当分野(コレクション)]

- ・日本画
- ・ガラス工芸
- ・浮世絵

[担当展覧会]

- ・足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展一和の美、再発見。
- ・この一点を見てほしい。山口蓬春《向日葵》

[教育支援・美術館学]

- ・博物館学、博物館経営論
- ・博物館教育、鑑賞教育、学校連携

[地域文化の振興]

- ・ガラス工芸を中心とする北海道の美術の現況調査
- ・道内の小中高等学校との連携

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代日本画(京都画壇／金鈴社／山口蓬春／片岡球子と岩橋英遠の歴史人物画)
- ・ガラス工芸

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・「友田コレクションについて」(令和 5/4/23 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
- ・「足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展一和の美、再発見。」見どころ解説(令和 5/10/7, 11/6)
- ・講座「近代日本画のあゆみ『足立美術館所蔵近代日本画と北大路魯山人展一和の美、再発見。』から」(いわみざわ市民大学 令和 5/10/22)

<執筆・発表>

- ・[論文]「福田平八郎と「宋元風」一大正後期の京都画壇における花鳥画の一動向」筒井忠仁編『根立研介先生退職記念論集 仏師と絵師 日本・東洋美術の制作者たち』思文閣出版(令和 5/3/30)
- ・[執筆] 作品解説『足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展一和の美、再発見。』公式展覧会ムック
- ・[執筆] 作品解説「この一点を見てほしい。山口蓬春《向日葵》」

＜展示＞

- ・足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展—和の美、再発見。 展示構成、解説執筆
- ・この一点を見てほしい。山口蓬春《向日葵》 展示構成・解説執筆

＜教育支援＞

- ・オンラインアート教室「浮世絵をクローズアップ！」（令和 5/8/23 幕別青陵高等学校）

＜調査活動＞

- ・ガラス工芸作家に関する調査

○光岡幸治（上席専門員）

〔担当分野（コレクション）〕

- ・油彩
- ・版画
- ・浮世絵
- ・映像・写真
- ・三岸好太郎

〔担当展覧会〕

- ・トリック×イリュージョン！
- ・小川原脩記念美術館コレクション展〔アートギャラリー北海道〕（近美コレクション）
- ・＃みまのめ VOL. 9（北海道立三岸好太郎美術館）
- ・第 90 回記念独立展北海道展（貸館）

〔教育支援・美術館学〕

- ・美術館教育、鑑賞教育
- ・博物館学、美術館額、アート・マネジメント

〔地域文化の振興〕

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

〔重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等〕

- ・近代美術
- ・挿絵
- ・浮世絵

〔研究成果・発表活動〕

＜講演・講座・トーク等＞

- ・〔講話〕「田中忠雄—聖書の物語をみつめて」（令和 5/5/21 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
- ・〔講話〕「小川原脩記念美術館コレクション展」ギャラリー・ツアー（令和 5/11/3）

＜執筆・発表＞

- ・「岡崎莉望」「川尻舜」『＃みまのめ VOL. 9』展リーフレット 北海道立三岸好太郎美術館（令和 5/12）

＜展示＞

- ・小川原脩記念美術館コレクション展 展示構成・解説
- ・＃みまのめ VOL. 9 展示構成・解説

＜教育支援＞

- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド（令和 5/11/3 公開）

＜調査活動＞

- ・小川原脩作品調査（小川原脩記念美術館）

○村山美波（学芸員）

〔担当分野（コレクション）〕

- ・現代の美術
- ・版画
- ・ネイティブアート

〔担当展覧会〕

- ・AINU ART—モレウのうた
- ・星の瞬間—アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido

〔教育支援・美術館学〕

- ・美術館におけるデジタル・アーカイブ

〔地域文化の振興〕

- ・学校機関との連携・相互協力

〔重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等〕

- ・スペイン（カタルーニャ）近現代美術

- ・日本近現代美術とスペイン美術
- ・北海道の美術

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講話]「ピカソとクラークのグラフィック」(令和 5/6/4 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
- ・[講話] 史学科での学びと「美術館学芸員」という仕事 (令和 5/10/2 上智大学文学部史学科 歴史学入門演習)
- ・[講話] 道銀文化財団 Art Ensemble #19, 20 美術展プレトーク (令和 6/3/2、3/8)

<展示>

- ・AINU ARTーモレウのうた 解説執筆

<教育支援>

- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド (令和 5/11/3 公開)

〇門間仁史 (主任学芸員)

[担当分野 (コレクション)]

- ・日本画
- ・写真、映像
- ・現代美術

[担当展覧会]

- ・揺さぶる絵―変貌する日本画のイメージ

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・日本画
- ・戦後の美術雑誌、美術批評
- ・旭川の美術・日本美術

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講座]「日本の現代ガラス」(令和 5/5/7 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
- ・[講座]「二次資料収集の現状と課題」(令和 5/5/17 北海道美術館協力会ボランティア資料部会)
- ・[講座]「国宝《鳥獣人物戯画》の魅力」(令和 5/6/1 北海道美術館協力会美術講座 2023)
- ・[講座]「ARS のこれまでとこれから」(令和 5/9/21 北海道美術館協力会ボランティア解説部専門研修)
- ・[講座]「揺さぶる絵―変貌する日本画のイメージ」(令和 5/9/30、10/21 見どころ解説)
- ・[講座]「北海道の現代美術」(令和 5/11/11 苫小牧市美術博物館 美術博物館大学講座 2023)

<執筆・発表>

- ・章解説、作家・作品解説『揺さぶる絵―変貌する日本画のイメージ』展図録 北海道立近代美術館 中西出版 (令和 5/9/16)

<展示>

- ・揺さぶる絵―変貌する日本画のイメージ展解説

<教育支援>

- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド (令和 5/11/3 公開)

<調査活動>

- ・名古屋市における現代美術運動の調査 (名古屋市美術館)
- ・高山寺典籍文書総合調査団調査外部参加 (京都・高山寺)
- ・木路毛五郎の美術運動についての調査 (釧路市立美術館)
- ・林司馬による「明恵上人像模本」調査 (京都・高山寺、京都市立芸術大学、嵯峨美術大学)

<社会貢献活動>

- ・北海道芸術学会委員

2ーE 地域との協力事業

①解説活動

事業名等	タイトル・内容等	日時	会場	講師名他	人数	内訳・ほか
ギャラリー・ツアー	〈近美コレクション〉において、北海道美術館協会ボランティア解説部によるギャラリー・ツアー（展示解説）を行う。火～土曜日3回の定時実施に加え、希望する団体には時間調整のうえ適宜実施した。	日曜・祝日を除く毎日（各回約30分） 火～土曜日（1日3回） 11:30～、13:00～、14:00～	展示室 A	講師／北海道美術館協会ボランティア解説部	1,026	個人利用 875名、212回 団体利用 151名、9回
A R S（アート・レファレンス・サービス）	図書閲覧コーナー、映像ライブラリー、質問コーナーからなるA R S（アート・レファレンス・サービス）を設置し、美術情報の閲覧来館者からの質問に対応した。	開館日・開館時間中 （質問コーナーは、日曜・祝日を除く毎日：10:30～15:00）	1階ホール奥	質問コーナー対応／北海道美術館協会ボランティア解説部	3,521	質問件数 236件 映像利用 11件

②その他の教育普及事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
ミュージアム・コンサート （展覧会関連事業以外）	道銀文化財団Art Ensemble #19 北海道立近代美術館コンサート 歌で紡ぐうららかな物語	3月2日（土）18:30-19:10	1Fホール	ソプラノ：櫻井綾乃 バリトン：大野祐司 ピアノ：山田結花	109	
	道銀文化財団Art Ensemble #20 北海道立近代美術館コンサート 夜空に響くピアノデュオ～きらめく音の贈りもの～	3月8日（金）18:30-19:10	1Fホール	ピアノ：川辺美穂&杉原彩香	114	

③一般社団法人 北海道美術館協会との連携・協力事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
美術講座2023 「日本・西洋の美術家シリーズ」	美術に関する基礎知識を学ぶ連続講座（全10回）に協力し、講師を派遣した。	①5月11日（木） 10:00-11:30 ②5月18日（木） 10:00-11:30 ③5月25日（木） 10:00-11:30 ④6月1日（木） 10:00-11:30 ⑤6月8日（木） 10:00-11:30	講堂	実施／北海道美術館協会ボランティア研修部 ①ガイダンス アイヌ絵を読む 小玉貞良・蠣崎波響・平澤屏山を中心に／五十嵐聡美（当館学芸部長） ②アンドレ・ドラン 四つの時代を生きたフランスの画家／中村聖司（当館学芸副館長） ③岩橋英遠 孤高の眼ざしがひらく戦後日本画／土岐美由紀（当館学芸統括官） ④国宝《鳥獣人物戯画》の魅力／門間仁史（当館主任学芸員） ⑤世紀末パリ・モンマルトル キャバレー『シャ・ノワール』をめぐる芸術と大衆文化／柴勤（前小川原脩記念美術館長）	472	①97 ②88 ③100 ④97 ⑤90
美術講座プレミアム	美術に関する専門的・個別的知識を学ぶ連続講座（全5回）に協力した。	①9月28日（木） 10:00-11:30 ②10月5日（木） 10:00-11:30 ③10月12日（木） 10:00-11:30 ④10月26日（木） 10:00-11:30 ⑤11月9日（木） 10:00-11:30	講堂	実施／北海道美術館協会ボランティア研修部 ①描さぶる絵＋展覧会鑑賞〔当日〕―変貌する日本画のイメージ／土岐美由紀（当館学芸統括官） ②日本美術に見る妖怪表現―近世美術を中心に（ちょこっと文学＋）／新明英仁（文学博士・前市立小樽美術館長） ③北の銅像誕生秘話／小川信行（フリーライター） ④ベラスケスの芸術―交錯する絵画と現実／山田のぞみ（札幌芸術の森美術館学芸員） ⑤北海道・北東北の縄文遺跡群の魅力／阿部千春（北海道環境生活部文化局文化振興課縄文世界遺産推進室特別研究員）	393	①87 ②70 ③78 ④79 ⑤79

美術への誘い	美術館ボランティアが、区民センター・図書館・福祉施設など外部の機関で行う解説活動に協力した。	①5月23日(火) 13:30-15:00 ②5月24日(水) 13:30-15:00 ③6月6日(火) 13:30-15:00 ④7月11日(火) 13:30-14:30 ⑤7月20日(木) 13:30-15:00 ⑥7月25日(火) 13:30-14:30 ⑦7月26日(水) 10:00-11:30 ⑧7月27日(木) 9:30-11:30 ⑨8月8日(火) 13:30-14:30 ⑩8月22日(火) 13:30-14:30 ⑪8月30日(水) 13:30-15:00 ⑫9月7日(木) 13:30-15:00 ⑬9月12日(火) 13:30-15:00 ⑭9月29日(金) 13:30-15:00 ⑮10月3日(火) 13:30-15:00 ⑯10月12日(木) 13:30-15:00 ⑰10月20日(金) 13:30-15:00	①厚別区民センター ②中央区民センター ③中央図書館 ④旭山公園通地区民センター ⑤藤野地区センター ⑥旭山公園通地区民センター ⑦中央区民センター ⑧北区民センター ⑨旭山公園通地区民センター ⑩旭山公園通地区民センター ⑪西区民センター ⑫白石区民センター ⑬北区民センター ⑭北老人福祉センター ⑮中央図書館 ⑯介護予防センタまえた ⑰中央区民センター	実施／北海道美術館協力会ボランティア特別活動部	291	①10 ②18 ③26 ④7 ⑤7 ⑥8 ⑦35 ⑧37 ⑨6 ⑩7 ⑪19 ⑫13 ⑬23 ⑭14 ⑮19 ⑯25 ⑰17
ジュニア・アートクラブ	①『つながるよ！小さな手 みえるよ！大きな絆』 ～ワックスアートをつなげて大きな作品を作ります～ ②『Enjoy ちらし アート！』～美術館のチラシが変身します～	①11月4日(土)10:00-12:30 ②2月17日(土)10:00-15:00	①映像室 ②2階ロビー	①講師：艾沢祥子 ②北海道美術館協力会ボランティア特別活動部 実施／北海道美術館協力会ボランティア特別活動部	74	①10 ②64
特別オリエンテーション	北海道美術館協力会ボランティアに対して、展覧会（特別展、近美コレクション）の概要を担当学芸員が解説した。	①5月9日(火) ②9月20日(水) ③1月23日(火)	講堂	実施／北海道美術館協力会ボランティア研修部 講師／各展覧会担当	238	①74 ②96 ③68
ボランティア養成研修（共通研修）	北海道美術館協力会ボランティアの新人養成研修に講師を派遣した。	①8月24日(木) 10:00-11:30 ②9月21日(木) 10:00-11:30 ③11月2日(木) 10:00-11:30 ④1月25日(木) 10:00-11:30 ⑤2月8日(木) 10:00-11:30	映像室	実施／北海道美術館協力会ボランティア研修部 講師／①ボランティアとその学び／木村純氏(北海道大学名誉教授) ②近代美術館のこれまでとこれから／中村聖司(当館学芸副館長) ③近代美術館の活動(1)展覧会の企画と運営／五十嵐聡美(当館学芸部長) ④近代美術館の活動(2)作品の収集・保管、(3)調査・研究／茵部容子(当館リサーチ推進課長) ⑤近代美術館の活動(4)教育普及／土岐美由紀(当館学芸統括官兼企画推進課長)	192	①46 ②36 ③39 ④34 ⑤37
ボランティア専門研修	北海道美術館協力会ボランティアの専門研修に講師を派遣した。	①5月17日(水) 10:15-11:15 ②9月21日(木) 13:00-14:00	①映像室 ②講堂	①資料部専門研修 「二次資料収集の現状と課題」／飯田花織（当館学芸員、門間仁史（当館主任学芸員） ②解説部専門研修「解説とは、ARSとは」／野田佳奈子（当館学芸員）、門間仁史（当館主任学芸員）	46	①22 ②26

④その他の連携・協力事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
北海道立近代美術館・北海道立図書館連携展示	特別展の会期中に美術館にて、北海道立図書館の蔵書から展覧会関係の図書を展示し、来館者への閲覧サービスを行った。	①トリック×イリュージョン！展 4月22日(土)～6月11日(日) ②足立美術館所蔵近代日本画と北大路魯山人展 9月16日(土)～11月12日(日) ③AINU ART—モレウのうた 1月13日(土)～3月10日(日) 札幌国際芸術祭2024 1月20日(土)～2月25日(日)	当館展示室B出口、展示室A出口、ARSコーナー	①北海道立図書館蔵書29冊 ②北海道立図書館蔵書29冊 ③北海道立図書館蔵書28冊		
札幌交響楽団定期演奏会配布用プログラム制作	『札幌交響楽団定期演奏会プログラム』に当館のコレクションから画像を提供し、学芸員が作品紹介を執筆した。	①『第655回札幌交響楽団定期演奏会プログラム』 9月9日(土)、10日(日)発行 ②『第658回札幌交響楽団定期演奏会プログラム』 1月27日(土)、28日(日)発行	札幌コンサートホールkitara	①「9月：夜の黒で写す 【虫文花器】エミール・ガレ」／久米淳之（当館上席専門員） ②「10月：星月のまなざし 【星月夜】国松登」／中村聖司（当館学芸副館長）		

⑤貸館事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
道央地区博物館等連絡協議会	令和5年度総会	6月6日(火) 13:00-17:00	講堂		200	
絵本作家 宇梶静江の講演と古布絵の展示	古布絵やアイヌ刺繍の展示、講演、ムックリ演奏	10月15日(日) 9:00-17:00	講堂	講師：宇梶静枝	250	
第25回北海道韓国語弁論大会	韓国語・観光文化に関する弁論大会	11月4日(土) 9:00-17:00	講堂、映像室		100	
映画上映会	今ドキュ03「目の見えない白鳥さん、アートを見に行く」	2月17日(土) ①12:00-13:50上映／13:50-14:30監督トーク ②15:00-16:50上映	講堂	トーク：三好大輔監督	147	①101 ②46

2－F 滞在環境

2－F－1 施設の適切な維持管理

- 前年度より計画していた大規模な設備更新工事(空調設備・電気設備・エレベータ)、施設改修工事(屋上防水)を実施した。
施設・設備について、日常の点検・補修に加えて施設課技術職員による点検・研修会を実施し、必要箇所について補修工事を実施した。
- 前庭にある大木の樹木診断を行った。
- 道路にせり出し、危険な樹木・枝の一部について、伐採を実施した。

2－F－2 施設の快適性の向上

- アンケート用紙での回答のほかに、WEB上でアンケートに回答することができるQRコードを館内に掲示した。
- 実行委員会展共催者と協働し、期間限定で特設カフェの出店を行い、展覧会に関連したコーヒーやスイーツを提供した。
芸術週間(R5.11.1～7)にカフェスペースでお茶の無料サービスを実施した。
- 近代美術館、三岸好太郎美術館、知事公館を含むエリアを知ってもらうため、スタンプラリーや施設見学ツアーなどの遊歩イベントを実施した。
エリア近隣のカフェ等 17 店を掲載した「ART&EAT MAP」を作成し来館者に配付した。
- 体の不自由な方用の駐車場について、ユニバーサルデザインを取り入れた表示の改修工事を行った。
- R5年度から新たに、キャッシュレスサービスが利用できる事業者を、6社追加した。

R 5 年度 美術館評価調書

A 優れた作品の収集と適切な保管

近代美術館

【基本的運営方針】

5つの収集方針に基づいて、優れた作品を計画的に収集し、系統的で個性的なコレクションを形成します。併せて関連資料の整備を進めます。また、IPM(総合的有害生物管理)の進展や当館施設設備の特色と老朽化をふまえながら、保存環境を整備するとともに、作品の修復を計画的に行うなどしながら、作品を適切に保管します。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画〔PLAN〕	事業実施状況〔DO〕
優れたコレクションの形成	●美術の調査研究と収集方針に基づいて、美術史の視点からコレクションの欠けた部分や手薄な部分を洗い出し、それらをリストアップした収集計画を作成・更新する。 ●リストアップされた作品の入手可能性に関する情報を収集し、購入や寄贈により計画を実現する。	●R5収集作家作品候補一覧を集約し、学会会議へ提出した。本リストを今後、加除しながら収集計画の基礎資料とする。 ●購入では、収蔵作品選定評価協議会での承認を得て、アイヌアート（彫刻）1点を初めて収蔵することができた。 ●受贈では、美術作品選定会議での承認を得て、収集方針のうち「現代の美術」に含まれる油彩2点、「北海道の美術」に含まれる日本画1点、油彩1点、写真156点を収蔵した。
所蔵作品の適切な保管	●IPM（総合的有害生物管理）に関する研究の進展に学びながら、ひと月に1回程度の収蔵庫内清掃や虫トラップの設置・観察・分析等を通し、適切な展示・保存環境を保持する。 ●保存と活用のために修復が必要な作品のリストを更新し、計画的に修復を進める。 ●事務室、図書室等の狭隘化に伴い、図書の整備及び映像資料、過去の展覧会資料のデジタル化・整理に努める。 ●二次資料の幅広い活用と公開を目的とするアーカイヴ（記録・資料保管システム）のあり方について研究する。	●IPMを適切に実施するため、通年で捕虫監視を行うとともに、文化財害虫を減らすため収蔵庫等を毎月1回清掃した。その結果、害虫の早期発見と対処、捕虫数の減少が実現した。 ●修復では、野外彫刻3点、彫刻1点、油彩2点、版画3点の修復を実施した。 ●図書資料増加に伴う収納場所の確保のため、資料の再整理を進めるとともに重複資料を処分した。 ●各種資料のデジタル化・整理を推進すべく、必要な機器を調査・購入し、作業を行った。
コレクションの効果的な活用	●前年度に新たに収蔵した作品を、「新収蔵品展」により道民に紹介するほか、「この1点を見てほしい。」では1点に焦点を当てて作品の魅力を深く掘り下げる。また、年間を通じて近現代のガラス工芸を展示する。	●R4年度に新たに収蔵した作品を「新収蔵品展」で紹介したほか、「この1点を見てほしい。」では北海道ゆかりの日本画家・山口蓬春の《向日葵》をとりあげ、北海道美術に関する研究成果を展示した。 ●開館状況にかかわらず常設展示室内での展示作業が行えるよう、常設展示室の一部を改修して来館者には影響のない作業用通路を設けた。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]						今後の対応方向 [ACTION]
		前年度 実績	目標値 (a)		実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の 判定	項目評価		総合評価	
			設定の考え方					成果・課題			
優れたコレクションの 形成	収集方針に基づく収集活動 [定性]	—	—	—	—	—	①	b	収集方針「北海道の美術」において手薄であった戦後の美術を充実させるとともに、アイヌアートの収蔵も実現した。	B	●収集計画に基づき、今後も広く情報収集を行い、計画的な収蔵に努める。 ●データベースの精度を高めるために点検し、誤りを適宜修正する。 ●引き続き、適切な保存環境のもと所蔵作品を管理するとともに、必要に応じて修復を行う。 ●コレクションの調査研究等を深めることで魅力を掘り起こし、引き続き展覧会や事業等において紹介する。
所蔵作品の適切な保管	所蔵品データベースの整備率	100%	100.0%	R4年度末までに収蔵した全作品のうち、R5年度末までにIBシステムに情報登録を予定する作品の割合	100.0%	100.0%	①	a	新収蔵作品を含めデータの登録は完了した。ただし、過去データの一部に誤りが散見されるため、年次計画を立て、逐次点検を行う。また、保存環境の維持と収蔵作品の計画的な修復を実現した。		
	適切な保管環境の維持と所蔵作品の計画的な修復 [定性]	—	—	—	—	—	①				
コレクションの効果的な活用	コレクションの活用の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	b	展示、教育普及事業、情報発信等、美術館活動の多くの場面に活用することができた。		

R 5 年度 美術館評価調書

B 多彩で特色ある展示活動の充実

近代美術館

【基本的運営方針】

収蔵作品を紹介する「近美コレクション」展を、当館の個性を強く発信するとともに、コレクションをすべての人々に向かって開く最も重要な機会と位置づけ、コレクションの魅力や調査研究の進展を伝えます。また、「特別展」では、様々な鑑賞のニーズに応えるとともに、人間と文化の多様性について理解を深める機会となるように、幅広い時代と分野のアートを紹介します。併せて、個性の異なる誰もがアートに親しむことができる展示について研究を進めます。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画〔PLAN〕	事業実施状況〔DO〕
多様なニーズに応える 展示会の開催	●国内外の優れた作品を紹介する「特別展」については、江戸時代の浮世絵、近現代の油彩・日本画・陶芸、アイヌアート、メディア・アート等、幅広い時代・地域・分野に渡る6つの展示会を開催する。 ●「近美コレクション」については、2018年から調査を始め2022年に受け入れを完了した526点に及ぶ友田多喜雄コレクションをまとまった形で展覧する「友田コレクションの精華 魅惑の版画と詩」や、アートギャラリー北海道事業として倶知安町にある小川原脩記念美術館の所蔵作品の紹介、近現代のガラス工芸の展示等を行う。	●特別展では、当館コレクションを生かしつつ近現代の美術動向を掘り下げた「トリック×イリュージョン!」「揺さぶる絵-変貌する日本画のイメージ」「札幌国際芸術祭2024 FLAGILE」、またアイヌ文様の「モレウ（渦巻き）」をテーマに、現代のアイヌアートを紹介する「AINU ART-モレウのうた」等、5つの展示会を開催した。 ●近美コレクションでは、「友田コレクションの精華 魅惑の版画と詩」において詩人・友田多喜雄氏の活動と氏が当館に寄贈した版画を紹介。また「昭和のガラス」や「現代ガラスのオノマトペ」等3つのガラス展により、年間を通じてガラスを展示した。さらにアートギャラリー北海道「小川原脩記念美術館コレクション展」では、同館と当館のコレクションをあわせることで小川原脩の足跡をより深く紹介した。
観覧者拡充のための工夫	●チラシやポスターなどの紙媒体のほか、道立美術館ポータルサイト、ホームページ、ツイッター、フェイスブックを通じて、展示会情報や見どころを丁寧に発信する。 ●アイヌ民族文化財団、札幌国際芸術祭実行委員会との共催展においては、各団体との連携により広報の充実やインバウンド対応の強化に取り組む。 ●人気のある「だまし絵」を取り上げた「トリック×イリュージョン」展や、近美コレクションにおけるワークシートの配布などによって、子どもたちにも美術に親しむ機会を提供する。 ●障害者、子どもを対象とした展示について研究を深める。	●チラシやポスター等のほか、ホームページ、X（旧ツイッター）、フェイスブックを通じ、展示会情報や見どころを細やかに発信した。 ●「AINU ART」展では、出品作家によるアーティスト・トークのほか、刺繍やトンコリ、ムックリの体験会、札幌国際芸術祭との連携トークを実施。「札幌国際芸術祭」においても、小学生を対象に日本教育公務員弘済会共催による「あべ弘士さんと作る！北極の動物モビール」を行った。 ●近美コレクションでは2期にわたって作品鑑賞のための7種類のワークシートを展示室内に配置。また、次年度の活用に向けて新たに3種のワークシートを作成した。 ●おもに小学生を対象にした新事業「ウィズ・キッズ 24」の令和6年度開催に向けて、準備を進めた。
館外における鑑賞機 会の提供	●道内外の美術館からの作品借用希望に協力し、当館来館者以外にもコレクションの鑑賞機会を提供する。主な貸出予定は、道立帯広美術館「見えない音を描く」展に20点、道立釧路芸術館「ももちゃんと道立美術館のCATS&DOGS」展に25点等。	●道立帯広美術館「見えない音を描く」展に20点、道立釧路芸術館「かもめのももちゃんを見る CATS & DOGS」展に27点、道立旭川美術館「こころ・おどる・ものがたり」に52点を貸出したほか、本郷新記念札幌彫刻美術館「鈴木吾郎展」に2点、神田日勝記念美術館「幻の馬」展に3点、京都国立近代美術館ほか4館の全国巡回展「走泥社再考」展に1点の貸出しを行った。このほか知事公館、知事室に例年通り7点を貸出した。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定〔PLAN〕			評価〔CHECK〕						今後の対応方向 〔ACTION〕
		前年度 実績	目標値(a)		実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の 判定	項目評価	総合評価		
			設定の考え方							成果・課題	
多様なニーズに応える 展示会の開催	展示会の観覧者数（※展示会毎の内訳は下表のとおり）	(常) 27,648 (特) 391,879	(常) 12,060 (特) 140,640	(常)過去最高1日当たり人数× 日数 (特)主催者申出又は予算 要求上の人数	(常) 10,143 (特) 121,401	(常) 84.1% (特) 86.3%	③	c	札幌市との共催により実現した札幌国際芸術祭では、観覧者目標を大きく上 回り、成功裏に終了した。また、他の特別展においても、集客や満足度にお いてほぼ目標を達成できた。年間を通じて日本画、現代美術、アイヌアート など多彩なジャンルを紹介したことで、様々な志向を持つ観客のニーズに応 えることができた。	B	ウェブを活用した情報提供に努めるとともに、道民の多様な ニーズや幅広い世代の関心に応えられるよう、国内外の優れた 美術品の紹介はもとより、コレ クションを活用した子どもから 大人までが気軽に参加できる事 業や、手で直接作品に触れて鑑 賞体験を深める視覚障がい者も 楽しめる展示会、さらには学芸 員と作家の協働により北海道美 術を読み直す企画など、引き続 き多彩なジャンルの魅力あふれ る展示会活動を実施する。
	観覧者の満足度	(常) 88.7% (特) 88.0%	(常) 90.0% (特) 93.3%	来館者アンケートによる過去5 年間の最高値	(常) 91.4% (特) 85.9%	(常) 101.6% (特) 92.1%	①				
観覧者拡充のための 工夫	観覧者に占めるリピーターの割合	(常) 63.7% (特) 71.9%	(常) 72.5% (特) 73.9%	過去5年間の最高値	(常) 64.0% (特) 73.8%	(常) 88.3% (特) 99.9%	②	b	関連事業として「トリック×イリュージョン」展ではワークショップ「手作 りスリットアニメーション」を実施、AINU ART展では「あっちもこっちも面 白い」と題し同時期開催の札幌国際芸術祭と連携して、両展担当の学芸員が それぞれの展示会の見どころをリレー形式で紹介。このほか同展ではアイヌ 刺繍によるコースター作りや、トンコリとムックリの演奏体験イベント、子 どもを対象にアイヌ語の巨大カルタを楽しむイベントを行い、幅広い観客層 の動員につなげた。		
	観覧者に占める児童生徒の割合	(常) 8.3% (特) 9.6%	(常) 10.0% (特) 10.0%	各展示会の児童生徒の見込割合	(常) 13.1% (特) 7.7%	(常) 131.0% (特) 77.0%	①				
	展示の企画構成やPR等の工夫〔定性〕	—	—	—	—	—	①				
館外における鑑賞機 会の提供	館外における展示活動の状況〔定性〕	—	—	—	—	—	①	b	移動美術館を実施しなかったことで館外における展示活動は減ったが、今後 も貸出やウェブ上での作品紹介等により、鑑賞機会の提供に努める。		

【展示会開催状況】

区分		展覧会名	計 画				実 績				
			会期	開催日数	観覧者見込数 (うち児童生徒)	1日当たり観覧者数	会期	開催日数	観覧者見込数 (うち児童生徒)	1日当たり観覧者数	特記事項
常設展		シャガール・イン・プリント／戦時下の北海道美術 ほか	4／1～9	8	1,608 (160)	201	4/1～9	8	1,507 (96)	188	
		友田コレクション／日本のガラス／新収蔵品展	4／22～6／11	44	8,844 (884)	201	4/22～6/11	44	7,489 (1,105)	170	
		北海道の美術（仮）／現代ガラスのオトマトベ ほか	3／23～31	8	1,608 (160)	201	3/23～31	8	1,147 (131)	143	
		常設展計	－	60	12,060 (1,206)	201	－	60	10,143 (1,332)	169	
特別展	館単独主催展	揺さぶる絵－変貌する日本画のイメージ	9／16～11／12	51	10,000 (1,000)	196	9／16～11／12	51	9,094 (470)	178	
	共催展	AINU ART-モレウのうた	1／13～3／10	50	10,000 (1,000)	200	1／13～3／10	50	9,556 (316)	191	
		札幌国際芸術祭	1／20～2／25	32	11,840 (1,184)	370	1／20～2／25	32	13,679 (2,123)	427	
	実行委員会展	足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展	9／16～11／12	51	55,000 (5,500)	1,078	9／16～11／12	51	38,649 (707)	757	
	貸館展	サンリオ展	4／1～2	2	2,000 (200)	1,000	4／1～2	2	7,071 (1,291)	3,535	
		トリック×イリュージョン！	4／22～6／11	44	50,000 (5,000)	1,136	4／22～6／11	44	41,137 (5,570)	934	
		第90回記念独立展 北海道展	3／23～31	8	1,800 (180)	225	3／23～31	8	2,215 (165)	276	
	特別展計		－	238	140,640 (14,064)	591	－	238	121,401 (10,642)	6,968	
合 計		－	298	152,700 (15,270)	512	－	298	131,544 (11,974)	6,968		

R 5 年度 美術館評価調書

C 学習の場と情報提供の充実	近代美術館
----------------	-------

【基本的運営方針】

コレクション、展示、調査研究に結びつけながら、個人の成長・年齢や個性に応じたラーニング・プログラムを企画し、実施します。特に鑑賞学習支援ツールとオンラインについて、効果的な活用を進めます。また、コレクションのデジタル・データ化や、ホームページとSNSの活用によって、発信する情報の魅力アップに取り組みます。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画〔PLAN〕	事業実施状況〔DO〕
教育普及活動の充実	●平成23年度から実施してきた「ぐるっと三館鑑賞ツアー」を、スマートフォンのアプリを利用したテキスト、音声、動画ガイドによる自由参加型のツアーへと変更し、時間、場所、参加人数等の制限なく参加可能な事業として新たに展開する。 ●設備修繕工事に伴うコレクション展の本数減少により、ミュージアム・トークの実施回数が例年より減る見込みだが、コレクションの展示も含んだ特別展において学芸員による「見どころ解説」の回数を増やすことで、道民の学習機会を確保する。 ●特別展に関連した外部研究者によるトーク、美術館の雰囲気を活かしたホールでのコンサート等を実施する。	●スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」を用いて、当館内外の彫刻、知事公館内外の彫刻、絵画、三岸好太郎美術館の絵画あわせて9点について画像・テキスト・音声による作品解説を公開した。なお音声ガイドは北海道札幌北陵高等学校と連携し、同校放送局の生徒の協力により制作した。 ●ミュージアム・トークは、工事休館のため昨年度より3回減って12回となったが、代わりに学芸員によるトーク（講座、見どころ解説、ギャラリー・ツアー等）を18回実施し、昨年度の8回から10回増となった。 ●「トリック×イリュージョン!」「揺さぶる絵」等4つの特別展で外部講師による講演会を開催したほか、近美コレクションでも「現代ガラスのオノマトベ」の開催中に道内ガラス作家による講演会を行った。また、道銀文化財団との連携によるミュージアム・コンサートを2回実施した。
情報提供の充実	●設備修繕工事による休館中に、次回展覧会の出品作品や美術関連情報について、SNSを通じて積極的に発信する。 ●一般のインターネット利用者に向けた展覧会紹介動画「北海道リモート・ミュージアム」の新規コンテンツを作成する。 ●ARSコーナーで上映している「北海道リモート・ミュージアム」のアーカイブ動画について、最新動画を加えて内容を更新し、提供情報をいっそう充実させる。 ●コレクションのデータベースを着実に整備し、所蔵作品に関する基本情報を公開する。	●年間を通じて週2～3回投稿するなど、積極的にSNSによる情報発信を行った。工事休館中においても次回展の見どころや学芸員おすすめの書籍等について投稿した。 ●近美コレクション「昭和のガラス工芸」「アートギャラリー北海道 小川原脩記念美術館展」並びに特別展「AINU ART—モレウのうた」において、「北海道リモート・ミュージアム」の動画を制作、公開した。 ●ARSコーナーで上映している「北海道リモート・ミュージアム」のアーカイブ動画について、2021年度以前の古いデータを削除し、2022年度から23年度に制作された最新の動画が見られるよう入れ替えを行った。 ●コレクションのデータベース整備について、日々の学芸業務で判明した軽微な修正を反映させることで精度を高めるとともに、令和5年度新収蔵品の登録を行った。また、日本の版画と日本画約600点については、作品の実物再確認と資料調査に基づきデータ内容の見直しを行った。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]					今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値 (a)		実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の判定	項目評価			総合評価
			設定の考え方					成果・課題			
教育普及活動の充実	教育普及プログラムの実施件数	70件	32件	特別展開連4件×5本+近コレ関連10件+その他2件	60件	187.5%	①	b	●実施件数については、学芸員による解説事業を積極的に行った結果、大幅に伸びた。 ●参加人数については、2度にわたる計5ヶ月の工事休館により事業周知の不足が懸念されたが、HPやSNSを通しての積極的な情報発信により参加人数は目標値の80%を達成した。	B	●教育プログラムについては、今後も展覧会のチラシ、HP、SNS等を通じて、積極的な広報展開を進める。 ●HPによる情報発信は、引き続き利用者目線に立って迅速な更新に努めるとともに、必要に応じて仕様やシステムの改善を行う。SNSの投稿にあたっては、メディアの特質を理解した上で、適切な情報発信に努める。 ●「北海道リモート・ミュージアム」や所蔵作品データベースの情報更新を適宜行い、展覧会や所蔵作品の情報発信に引き続き取り組む。
	教育普及プログラムの参加者数	3,350人	2,920人	特別展開連1件あたり140人+近コレ関連1件あたり10人+その他20人	2,349人	80.4%	③				
	教育普及プログラムの企画・実施状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				
情報提供の充実	ARS、図書コーナーの利用件数	7,986件	4,495人	H30、R1、R4の1日あたりの平均利用者数29.0人×開館日数155日	3,521人	75.4%	④	c	●工事休館のため開館日数が減り、特に夏季の大型展がなかった影響から、ARSおよび図書コーナーの利用者（21人／日）やHPアクセス数が減少したが、HPを整備して音声ガイドの案内や、リモート・ミュージアム等のデジタルコンテンツに関するページを増設したことで、利用者の関心をより高めるような情報発信ができた。また、HP更新作業時に生じる不具合解消のためCMSの改修を行った。 ●SNSについては、計画的かつ積極的な発信を行うことで、投稿数で目標値を大幅に上回った。一方で、Xに批判的なコメントが数多く寄せられるなどの事案も発生したことから、適切な情報発信を行うため、発信内容のチェック体制を強化した。 ●「北海道リモート・ミュージアム」は計画した3件の動画を制作、公開することができ好評を得た。 ●コレクションに関するデータを整備し、データベース上で公開することで、一般の利用者や研究者がアクセスできる情報の質を向上させた。	B	
	利用しやすい図書・資料コーナーの整備	—	—		—	—	①				
	HPアクセス件数	977,098件	714,614件	リニューアル以降（R3/7/1～R5/3/31）の1日あたりのセッション（訪問数）1957.8件×366日	571,976件	80.0%	③				
	SNSの投稿数	255回	124回	フェイスブック、ツイッターとも週1回+AGH月間10回	273回	220.0%	①				
	リモートミュージアムの公開件数	5件	3件	昭和のガラス工芸、小川原脩記念美術館展、AINU ARTで制作	3件	100.0%	①				
	情報発信の工夫改善 [定性]	—	—	—	—	—	①				

R 5 年度 美術館評価調書

【基本的運営方針】

美術及び美術館に関する調査研究を、これまでの蓄積と新たな知見の上に立って推進するとともに、学芸員の資質向上を目的とした研修を行うことにより、活動全般の信頼性や企画における創造性を向上させます。また、調査研究の成果を、様々な形で発信し社会に還元します。併せて、リニューアルに向けた活動、施設、運営等に関する調査研究を進めます。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画〔PLAN〕	事業実施状況〔DO〕
調査・研究の推進	●来年度以降開催が検討されている「高山寺展」や「三の丸尚蔵館展」及び再来年度以降の自主企画展、あるいは作品収集について、調査・研究を着実に進める。 ●コレクション研究を推進し、成果をわかりやすく示すため、「この一点をみてほしい。」では、研究と直結した展示を行う。リニューアルに向けて他館のリニューアル事例の情報収集や視察を進める。 ●新しいLED照明、展示ケースなど展示用具や設備について情報収集を行い、見やすさや作品保全機能の向上のための研究を進める。 ●主に新採用学芸員を対象とした研修を行う。	●今年度の近美コレクションをはじめ、次年度の「高山寺展」、「三の丸尚蔵館展」、「星の瞬間」展に関連し出品作品等の調査・研究を進めた。また収集作品については、掛川源一郎156点をはじめ片岡球子1点、富田幸衛1点、福田美蘭2点を調査し、R6年5月からの「新収蔵品展」で作品解説を付して展示予定。 ●「この1点を見てほしい。」を1回開催した。リニューアルに向けて情報収集を行うとともに、総務部・学芸部の職員が文化財・博物館課とともにのワークショップを行い知見を深め、また、大阪・鳥取・福岡の美術館を視察した。 ●新しいLED照明についての情報収集を経て30基購入し、おもにガラス作品の展示に活用した。 ●新採用学芸員を対象とした研修を6月に実施した。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]						今後の対応方向 [ACTION]
		前年度実績	目標値 (a)		実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の判定	項目評価(※定量指標がないため最高評価はb)		総合評価	
			設定の考え方					成果・課題			
調査・研究の推進	学芸員による調査・研究の報告や発表の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	b	●調査・研究においては、各学芸員が担当展覧会や所蔵品に関連した調査・研究を進め、「揺さぶる絵」「AINU ART」「札幌国際芸術祭2024」等では、関連図録においてもその成果を発表。「この一点を見てほしい。」では、所蔵品研究の成果を展示紹介した。また、R6年度の展覧会に向けても各学芸員が調査・研究に意欲的に取り組んでいる。 ●研修においては、新採用学芸員研修を実施し、道教委の学芸員としての基本的な心構えや専門知識・技能を習得する機会を設けた。	B	●引き続き、展覧会や所蔵品に関係する調査研究をすすめ、その成果を展示や紀要等により公開する。
	学芸員の研修等の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				

R 5 年 度 美 術 館 評 価 調 書

E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

近代美術館

【基本的運営方針】

地域の文化活動や学校の教育活動と連携・協働することで、美術に対する関心を高め、美術館の利用促進を図り、地域のアートの活性化に寄与します。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画〔PLAN〕	事業実施状況〔DO〕
多様な機関との連携・協力	●北海道美術館協会およびボランティアとの取り組みを継続し、図録や美術関連グッズの販売、ギャラリー・ツアー、アート・レファレンス・サービス、資料整理、美術講座など、きめ細やかで幅広い普及活動に協力する。 ●北海道の中核的美術館として、北海道美術館学芸員研究協議会等と協力して道内美術館のネットワークを強化する。 ●北海道内にある多様な美術館などが相互に連携し、本道全体がアートの舞台となることを目指す「アートギャラリー北海道」事業として、倶知安町の小川原脩記念美術館のコレクション展の実施、来年度以降の展示の企画、ネットワーク参加館への様々な協力などを行う。 ●アイヌ民族文化財団及び札幌国際芸術祭実行委員会との共催による展覧会を実施する。 ●札幌国際芸術祭のイニシアティブ・パートナーとなる企業と協力し、展覧会会場の造作における環境への配慮の向上に取り組む。	●協会会及びボランティアの日常的な活動に協力、助言を行ったほか、ARSコーナーにタブレット（コンピューター端末）を配置し、質問対応の利便性を向上させた。ボランティア資料部が整理する図書カードの収納場所が不足してきたため、カードを整理した。コロナ禍を経て再開したボランティアによる事業「アート・クラブ」「ジュニア・アート・クラブ」の実施方法について助言し、展示用具を貸与する等した。 ●第32回北海道美術館学芸員研究協議会の開催にあたり運営および会場の提供等に協力した。 ●「アートギャラリー北海道」事業として小川原脩記念美術館のコレクション展を開催するとともに、同館学芸員の出演や同館撮影を含む「北海道リモート・ミュージアム」（動画）を制作する等、連携してコレクションの周知に努めた。また、AGH月間では、SNSでの集中的な広報展開に加え、道内の主要個人作家美術館に原稿を依頼し、紹介パネル展を開催する等、活発な広報活動を展開した。 ●アイヌ民族文化財団及び札幌国際芸術祭実行委員会との共催で展覧会を開催した。 ●500m美術館専門委員会や道銀文化財団に協力し、地域の芸術文化振興および地域作家の顕彰に寄与した。 ●札幌交響楽団定期演奏会に際し、当館のコレクションからプログラムに掲載する画像を提供し、学芸員が作品解説を執筆した。
学校等の教育機関との連携・支援	●児童生徒の自主研修や職場体験の要望に応じた細やかな教育プログラムの提供や鑑賞学習支援ツールの貸出を行う。学校との連携を促進するため、利用案内チラシを配布して積極的な広報を行う。 ●実施2年目を迎えた「オンライン・アート教室」について、児童生徒の学習段階に合わせた効果的なプログラムを作成し、学校現場と連携して実施する。 ●道立図書館と連携し、特別展ごとに関連図書の閲覧コーナーを設け、来館者の学習意欲向上に資する。 ●学校教育における美術館活用を促すため、指導者研修を実施する。 ●道内外の大学からの要請により、博物館実習を実施する。 ●「学芸員インターンシップ制度」によって、学芸業務に携わる実務研修生を広く募集し、受け入れる。	●自主研修・職場体験を随時受け入れた。年度当初に利用案内チラシ（お役立ちシート）、8月には「鑑賞学習支援ツール活用の手引き」を配布・公開した。 ●「オンライン・アート教室」はZOOM等を用い、7校10件に対し、各校・各学級の実態、教員の要望に応じた授業を行った。 ●「トリック×イリュージョン!」「足立美術館展」「SIAF2024 1924-2024 FRAGILE／AINU ART—モレウのうた」の各展覧会開催時に道立図書館の閲覧コーナーを設け、来館者の閲覧に供した。 ●指導者研修を2回実施し、鑑賞学習支援ツールやオンライン・アート教室を実際に体験してもらった。 ●博物館実習では8校14名の参加を受け入れた。大学の見学実習も随時受け入れた。 ●「ポケット学芸員」用の音声ガイドを、北海道札幌北陵高等学校と連携し、同校放送局の生徒の協力のもと制作した。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]						今後の対応方向 [ACTION]
		前年度実績	目標値 (a)		実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の判定	項目評価		総合評価	
			設定の考え方					成果・課題			
多様な機関との連携・協力	地域の団体やイベント等と連携した取組の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	b	●地域や団体やイベントとの連携では、アイヌ民族文化財団及び札幌国際芸術祭実行委員会との共催により、地域文化に根ざした展覧会を年度内に2本開催し、併せて23,000人を超える来場者を迎え、成功裏に終了できた。また「揺さぶる絵」展では出版社との連携で展覧会図録を編集し、広く普及できた。 ●ボランティアとの連携・協力については、北海道美術館協力会と共催で美術講座を開催して受講者からの好評を得たほか、ボランティア養成講座に協力したり、日常活動に助言を行ったりする等、積極的に連携・協力を行之、美術館活動の活発化につなげた。	B	●引き続き外部団体等との連携や協働に取組み、良質な展覧会や事業の実現を目指す。 ●オンライン・アート教室においては、学校側の要望等を聞き取りながら、より良い内容となるよう努める。
	企業や団体等と連携したPR活動 [定性]	—	—	—	—	—	①				
	道内美術館等との連携・協力の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				
	ボランティアとの連携・協力の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				
学校等の教育機関との連携・支援	学校教育と連携した取組の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	c	●学校教育と連携した取組では、自主研修や職場体験を11件88名受け入れ、児童生徒に美術館活動への関心を深めてもらうことができた。 ●児童生徒向けの鑑賞教室では、オンライン・アート教室での撮影機材を見直し画質、音質を改善するとともに、学校現場のニーズを細やかに把握することで、各学校の児童生徒の状況に配慮した参加しやすい内容の授業を展開することができ好評を得た。特に並学校においては、はじめて音声認識アプリ (UDトーク) を導入し、学芸員の発言をリアルタイムで字幕化することで、学校や生徒が積極的に参加することができた。 ●キャンパスパートナーシップの参加校が目標に満たないのは、工事休館により近美コレクションの期間が短かったことが原因と考えられるが、今後もこれまで同様に各学校に参加を働きかけていきたい。 ●指導者研修は鑑賞学習支援ツールやオンライン・アート教室等を体験できる内容へと刷新した結果、R5の鑑賞学習支援ツールの貸出件数が、R4の7件に対し15件に増加した。		
	児童生徒向け鑑賞教室 (オンラインを含む) の実施件数	7件	10件	実施可能期間 (8月～12月) に月当たり2校	9件	90.0%	②				
	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	1校	1校	R4実績と同数 (近コレ開催日数 R4:137日>R5:60日)	0校	0.0%	④				
	教員を対象とした研修の実施状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				

R 5 年度 美術館評価調書

【基本的運営方針】

道立近代美術館を、くつろぎの空間としての魅力を向上させるよう環境の整備・充実に努めます。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画〔PLAN〕	事業実施状況〔DO〕
施設の適切な維持管理	●来館者が安全・安心に過ごせるよう、施設・設備の点検を実施し、計画的な工事の実施に努めるほか、必要な補修を速やかに行う。 ●前庭にある倒木の可能性のある樹木を伐採する等、自然環境を活かしながら、植栽の適切な維持管理に努める。	●前年度より計画していた大規模な設備更新工事（空調設備・電気設備・エレベータ）、施設改修工事（屋上防水）を実施した。 施設・設備について、日常の点検・補修に加えて施設課技術職員による点検・研修会を実施し、必要箇所について補修工事を実施した。 ●前庭にある大木の樹木診断を行った。 ●道路にせり出し、危険な樹木・枝の一部について、伐採を実施した。
施設の快適性の向上	●来館者アンケートの方法や内容を工夫し、より多くの方々から意見等を聞くことができるよう努めるとともに、アンケート結果を館内職員で共有し、ホスピタリティの向上に努める。また、アンケートに対する回答を定期的に掲示する。 ●カフェやミュージアム・ショップが利用者にとってより魅力あるものとなるよう、事業者と協働した取組について検討・実施する。 ●三岸好太郎美術館、知事公館を含むエリアを、魅力ある空間としてよりいっそう楽しんでもらえるよう、情報発信に努めるとともに、都心の緑の中にある美術館として、各館との連携事業や野外彫刻の適切な管理を行う。 ●ユニバーサルデザインの視点を取り入れながら、館内表示等の工夫を行う。 ●来館者の利便性向上のため、関係機関や事業者と連携しながら、キャッシュレスサービスの運用拡大に向けた検討を行う。	●アンケート用紙での回答のほかに、WEB上でアンケートに回答することができるQRコードを館内に掲示した。 ●実行委員会展共催者と協働し、期間限定で特設カフェの出店を行い、展覧会に関連したコーヒーやスイーツを提供した。 芸術週間（R5.11.1～7）にカフェスペースでお茶の無料サービスを実施した。 ●近代美術館、三岸好太郎美術館、知事公館を含むエリアを知ってもらうため、スタンプラリーや施設見学ツアーなどの遊歩イベントを実施した。 エリア近隣のカフェ等17店を掲載した「ART&EAT MAP」を作成し来館者に配付した。 ●体の不自由な方用の駐車場について、ユニバーサルデザインを取り入れた表示の改修工事を行った。 ●R5年度から新たに、キャッシュレスサービスが利用できる事業者を、6社追加した。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定〔PLAN〕			評価〔CHECK〕						今後の対応方向 〔ACTION〕
		前年度 実績	目標値(a)		実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の 判定	項目評価		総合評価	
			設定の考え方					成果・課題			
施設の適切な維持管理	施設の安全性確保のための必要な措置の状況〔定性〕	—	—	—	—	—	①	b	●施設・設備の更新や点検・補修を行ったことにより、施設・設備の不具合が減少した。 ●危険樹木等の一部伐採により、来館者はもとより通行人の安全の確保につながった。 ●引き続き、老朽化が進んでいる設備等の計画的な更新や前庭植栽の適切な管理が必要である。	B	●来館者が安全・安心に過ごせるよう、施設・設備の点検を実施し、計画的な工事の実施に努めるほか、必要な補修を速やかに行う。 ●前庭にある落枝の可能性のある樹木の剪定、樹高の調整をするなど、自然環境を活かしながら、植栽の適切な維持管理に努める。 ●来館者へのホスピタリティ向上のため、来館者アンケートにおいて、より多くの方から意見等を聴取できるよう、方法を工夫する。 ●ミュージアム・ショップが利用者にとってより魅力あるものとなるよう、事業者と協議した取組や情報発信について検討する。 ●現在、カフェスペースは出店者がいない状況ではあるが、来館者の増加やホスピタリティ向上の観点から、短期間での出店など活用方法を検討する。 ●来館者の利便性向上のため、関係機関や事業者と連携しながら、キャッシュレスサービスの運用拡大に向けた検討を行う。
	誰もが安心して利用できる施設設備の状況〔定性〕	—	—	—	—	—	①				
施設の快適性の向上	鑑賞環境に対する満足度	—	87.9%	来館者アンケート「施設内外の環境への満足度」過去5年間の最高値	85.9%	97.7%	②	b	●館内にQRコードを掲示したことなどにより、アンケートの回答数が増加し、より多くの利用者のニーズを把握することができた。 ●来館者へのホスピタリティ向上のため、アンケート回答率を高める検討が必要である。 ●期間限定の特設カフェや芸術週間のお茶の無料サービスを実施することで、アンケートにおいても、好意的な意見が書かれるなど、カフェの重要性について改めて認識することができた。 ●カフェスペースは出店者がいない状況となっているため、カフェスペースの活用の検討が必要である。 ●キャッシュレスサービスの導入について、機器導入経費や手数料の負担等があるため、事業者が難色を示しているものと認識。		
	レストラン・喫茶に対する満足度	54.7%	62.9%	来館者アンケートによる過去5年間の最高値	57.5%	91.4%	②				
	ミュージアムショップに対する満足度	67.1%	69.8%	来館者アンケートによる過去5年間の最高値	68.5%	98.1%	②				
	ボランティアや事業者と協力してのサービス向上に向けた取組の状況〔定性〕	—	—	—	—	—	①				
	館内スタッフの対応に対する利用者満足度	77.9%	82.9%	来館者アンケートによる過去5年間の最高値	81.5%	98.3%	②				
	ホスピタリティー向上に向けた取組の状況〔定性〕	—	—	—	—	—	①				

4 リニューアル

検討経過

時 期	内 容	備 考
5 月	○ 第 10 回これからの北海道立近代美術館検討会議 ・近代美術館リニューアル基本構想（中間報告）案	5 月 24 日（水）
7 月	○北海道立近代美術館リニューアル基本構想（中間報告）決定	
10 月	○第 1 回キンビの未来を描く～美術館運営方法検討ワークショップ～	10 月 26 日（木）
11 月	○第 2 回キンビの未来を描く～美術館運営方法検討ワークショップ～	11 月 30 日（木）
12 月	○第 3 回キンビの未来を描く～美術館運営方法検討ワークショップ～	12 月 20 日（水）
令和 6 年（2024 年） 2 月	○第 4 回キンビの未来を描く～美術館運営方法検討ワークショップ～ ・総務企画部、学芸部による「あるべき姿」のディスカッション ○先行事例ヒアリング調査（大阪中之島美術館、鳥取県教育委員会 美術館整備局、福岡市美術館）	2 月 9 日（金）、14 （水）、16 日（金）、 22 日（木）、28 日（水） 20 日（火）～22 日（木）
3 月	○第 5 回キンビの未来を描く～美術館運営方法検討ワークショップ～	3 月 13 日（水）

その他詳細については、北海道教育委員会「北海道立近代美術館リニューアルの検討」

(<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kinbirenewal.html>) を参照。

3 名簿・職員

北海道立近代美術館職員名簿（令和6年3月31日現在）

職 名	氏 名	発令年月日	前 職 等
館 長（非）	立 川 宏	R1. 7. 1	北海道教育委員会教育長
副 館 長	松 田 俊 也	R4. 4. 1	
学 芸 副 館 長	中 村 聖 司	R4. 4. 1	
総 務 企 画 部 長 （兼事業課長）	熊 澤 栄 司	R5. 6. 1	総務政策局総務課課長補佐
学 芸 部 長	五十嵐 聡 美	R4. 4. 1	
総 務 企 画 課 長	富 田 拓 貴	R5. 6. 1	総務政策局施設課係長
学 芸 統 括 官 （兼企画推進課長）	土 岐 美 由 紀	R4. 4. 1	
主 査（総括）	田 母 神 洋 堂	R4. 4. 1	
主 査	小 林 大 樹	R5. 6. 1	渡島教育局道立学校運営支援室
専 門 主 任	北 川 昌 亨	R2. 4. 1	
専 門 主 任	矢 野 亜 矢 子	H31. 4. 1	
主 事	佐 藤 仁 美	R3. 4. 1	
主 事	杉 澤 陸 斗	R3. 4. 1	
主 事（非）	森 谷 玲 子	H3. 4. 1	
〃	三 浦 彰 子	H7. 4. 1	
〃	沼 沢 千 佳 子	H7. 4. 1	
〃	佐々木 絵 梨 子	H14. 4. 1	
〃	黒 川 亜 紀	H13. 8. 1	
〃	山 下 深 雪	H21. 4. 1	
〃	佐々木 青	H21. 4. 1	
リサーチ推進課長	藺 部 容 子	R5. 4. 1	北海道立帯広美術館主任学芸員
主 任 学 芸 員	門 間 仁 史	R4. 4. 1	
〃	瀬 戸 厚 志	R5. 4. 1	北海道立近代美術館学芸員
学 芸 員	野 田 佳 奈 子	R2. 4. 1	
〃	星 野 靖 隆	R2. 4. 1	
〃	熊 谷 麻 美	R5. 4. 1	北海道立釧路芸術館学芸員
〃	河 本 真 夕	R5. 4. 1	新採用
〃	村 山 美 波	R5. 4. 1	新採用
〃	飯 田 花 織	R5. 4. 1	新採用
上 席 専 門 員	久 米 淳 之	R4. 4. 1	
〃	光 岡 幸 治	R5. 4. 1	北海道立文学館学芸主幹

※（非）は非常勤であることを示す

※発令年月日：職名の発令年月日

2 沿革

昭和 46 年 7 月	新北海道立美術館建設調査費計上
昭和 46 年 10 月	新北海道立美術館建設調査委員会、道外の美術館を調査
昭和 46 年 12 月	新北海道立美術館建設調査委員より、建設に対する意見と道外美術館調査報告 を北海道教育委員会に提出
昭和 47 年 3 月	新北海道立美術館建設敷地、北 1 条西 17 丁目に決定
昭和 47 年 3 月	新北海道立美術館建設調査設計費計上
昭和 47 年 7 月	新美術館建設協議会発足
昭和 48 年 1 月	北海道教育庁内に新美術館建設準備室を設置
昭和 48 年 2 月	基本設計終了
昭和 48 年 10 月	実施設計終了
昭和 49 年 8 月	新美術館建設工事起工式
昭和 52 年 3 月	北海道立美術館条例一部改正、 新美術館の名称を「北海道立近代美術館」と決定
昭和 52 年 4 月	条例制定（常設展観覧料）
昭和 52 年 6 月	北海道立近代美術館建設工事完成
昭和 52 年 6 月	北海道立近代美術館職員の発令組織発足 北海道立近代美術館長（兼務）一気境公男教育長
昭和 52 年 7 月	北海道立近代美術館落成・開館記念式、一般公開
昭和 52 年 10 月	北海道立近代美術館長（兼務）一中川利若教育長
昭和 53 年 4 月	北海道立近代美術館長一倉田公裕
昭和 55 年 4 月	条例一部改正（常設展観覧料）
昭和 55 年 6 月	観覧者数 100 万人
昭和 58 年 4 月	機構改正（学芸部課名変更・主任学芸員新設）
昭和 59 年 4 月	条例一部改正（常設展観覧料）
昭和 59 年 8 月	観覧者数 200 万人
昭和 61 年 7 月	北海道立近代美術館長（兼務）一植村 敏教育長
昭和 62 年 3 月	第 2 収蔵庫工事完成
昭和 62 年 5 月	北海道立近代美術館長（兼務）一澤 宣彦教育長
昭和 62 年 7 月	北海道立近代美術館長一佐藤雅彦
昭和 62 年 8 月	開館 10 周年記念式
昭和 62 年 12 月	観覧者数 300 万人
昭和 63 年 5 月	北海道立近代美術館長一井関正昭
平成 2 年 4 月	機構改正（参事新設）

平成 6 年 4 月 北海道立近代美術館長（兼務）－阿部 茂教育長

平成 7 年 6 月 北海道立近代美術館長－阿部 茂
機構改正（学芸副館長新設）

平成 7 年 8 月 観覧者数 500 万人

平成 8 年 4 月 条例一部改正（常設展観覧料）

平成 9 年 4 月 北海道立近代美術館長（兼務）－南原一晴教育長

平成 9 年 7 月 開館 20 周年記念式

平成 11 年 4 月 北海道立近代美術館長（兼務）－鎌田昌市教育長

平成 11 年 5 月 観覧者数 600 万人

平成 11 年 7 月 北海道立近代美術館長－水上武夫

平成 12 年 4 月 条例一部改正（常設展観覧料）

平成 14 年 7 月 観覧者数 700 万人

平成 16 年 4 月 機構改正（学芸第三課新設）条例一部改正（常設展観覧料）

平成 17 年 7 月 観覧者数 800 万人

平成 18 年 7 月 北海道立近代美術館長－相馬秋夫

平成 19 年 10 月 開館 30 周年記念式

平成 20 年 4 月 条例一部改正（常設展観覧料）

平成 21 年 4 月 観覧者数 900 万人

平成 23 年 4 月 条例一部改正（三岸好太郎美術館を分館として設置・常設展共通観覧料新設）

平成 24 年 4 月 条例一部改正（年間観覧料追加）

平成 25 年 4 月 北海道立近代美術館長－高橋教一

平成 25 年 7 月 観覧者数 1,000 万人

平成 26 年 4 月 機構改正（総務企画部 2 課を 1 課に統合、学芸部 3 課を 2 課に再編）
条例一部改正（常設展観覧料）

平成 27 年 4 月 北海道立近代美術館長（兼務）－立川 宏教育長

平成 27 年 6 月 北海道立近代美術館長（兼務）－山本広海教育部長

平成 27 年 7 月 北海道立近代美術館長－嵐田 昇

平成 28 年 4 月 条例一部改正（使用料）

平成 29 年 8 月 観覧者数 1,100 万人
開館 40 周年記念式

平成 30 年 4 月 機構改正（学芸部 2 課を 1 課に統合）

令和 元年 7 月 北海道立近代美術館長－立川 宏

令和 元年 10 月 条例一部改正（観覧料及び使用料）

令和 2 年 8 月 観覧者数 1,200 万人

令和 3 年 4 月 機構改正（総務企画部 1 課を 2 課に再編）

令和 4 年 4 月 機構改正（学芸部 1 課を 2 課に再編）



令和5年度 北海道立近代美術館年報



令和6年7月19日発行

編集・発行／北海道立近代美術館

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目

TEL. (011) 644-6881 (代)